

第4 県内の特定事故の発生状況

1 死亡事故

(1) 概 況

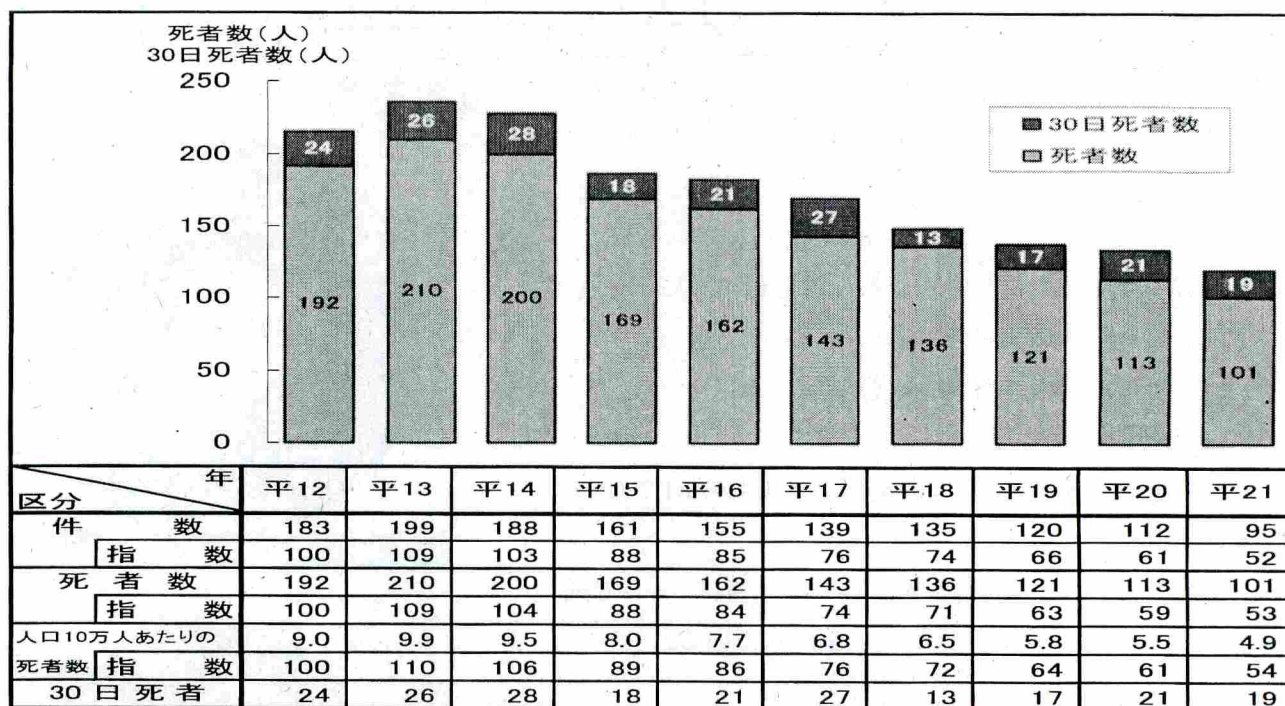
平成21年の死亡事故は

発生件数 95件（前年比 -17件 15.2%減）

死者数 101人（前年比 -12人 10.6%減）

で、発生件数、死者数とも減少した。

過去10年間の推移をみると、平成13年をピークに8年連続減少している。（単位：件・人）

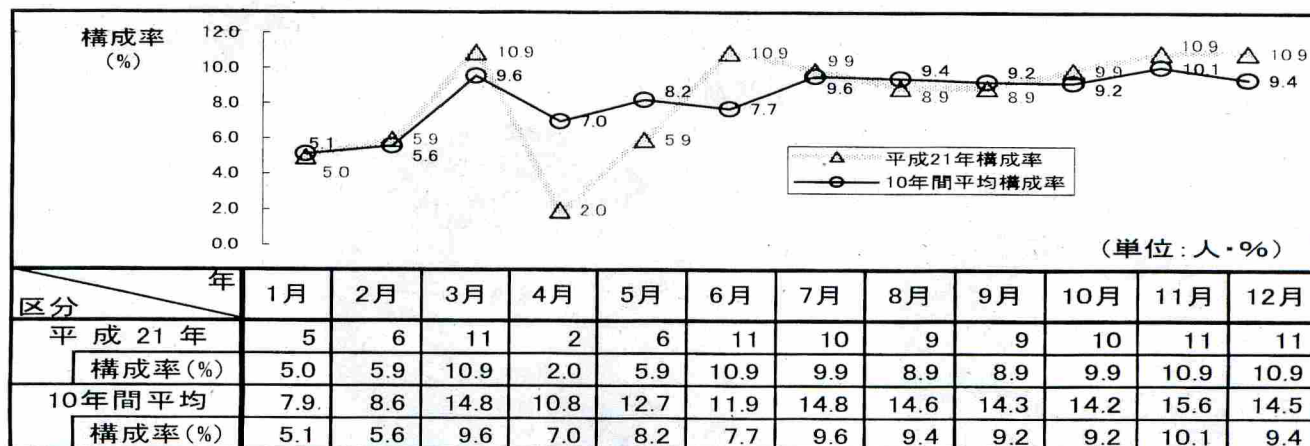


(2) 死亡事故の特徴

ア 月 別

死者が多かった月は3、6、11、12月の11人、少なかったのは4月の2人。

月間死者数の構成率が10年間の各月平均を上回ったのは2、3、6、7、10、11、12月で、1、4、5、8、9月は各月平均を下回った。



イ 時間別・曜日別

時間別では、9時～10時が12人で最も多く、次いで17時～18時が8人となっている。

曜日別では木曜日が21人で最も多く、次いで金曜日が16人となっている。（単位：人）

時間	0	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17	18	19	20	21	22	23	合
曜日	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17	18	19	20	21	22	23	24	計
日		1	1			2			1		1			1		1	2	2	1	1			1		15
月	1				1				1	1	3	1			2				1	1		1			13
火								2		5						1				1		2			12
水							3							1	1			2			1			1	9
木		1			1		1		1	3			1		1	1	1	1	1		1	3	1	3	21
金	1						1		1	2	1	3			1		2	1	1	1	1				16
土	1	1				1		1		1	1			2		1	1	1	1	1	1			1	15
合 計	3	3	1	0	2	3	2	6	4	12	6	4	1	4	5	4	6	8	5	5	4	6	2	5	101

ウ 市町村別

死者数の最も多い市町村は郡山市の18人で、次いでいわき市の9人、福島市の6人となっており、4市を合わせると39人で全死者の38.6%を占めている。

また、その他の市を含めると死者数は67人となり、全死者の66.3%を占めている。

エ 道路別、道路線形別、形状別

(7) 道路別

国道での死者が32人と多く、全死者の31.7パーセントを占めている。

さらに、国道のうち幹線国道での死者は22人で国道での死者の68.8パーセントを占めている。

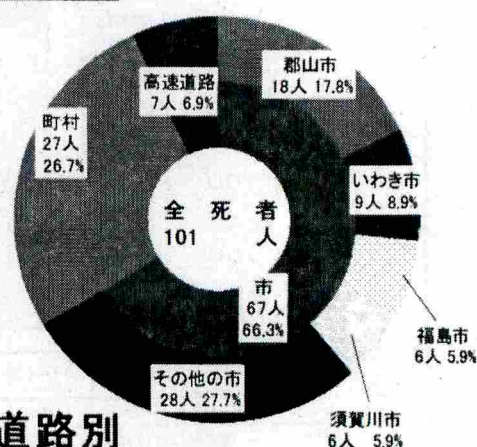
(1) 道路線形別

直線道路での死者は80人で全死者の79.2パーセントを占め、カーブでの死者は20人で、右カーブ11人、左カーブ9人となっている。

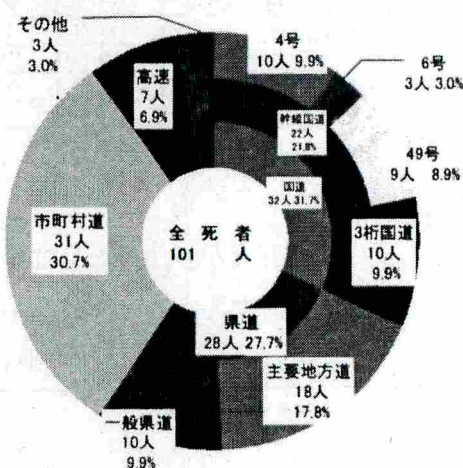
(9) 道路形状別

単路での死者は60人で全死者の59.4パーセントを占め、交差点での死者は40人で39.6パーセントを占めている。

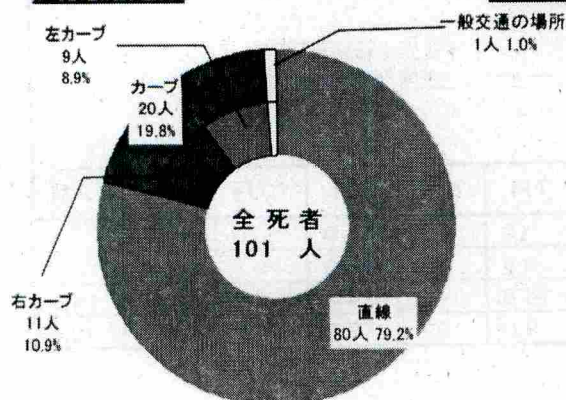
市町村別



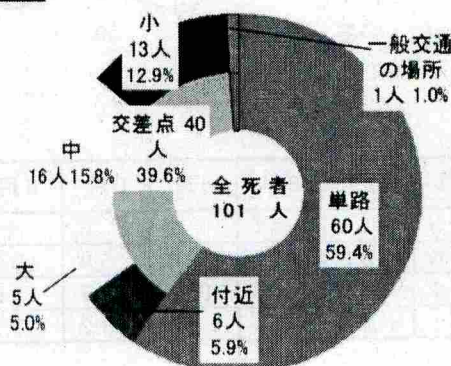
道路別



道路線形別



道路形状別



(注)
 大交差点
 道路幅員13m以上
 中交差点
 道路幅員
 5.5m以上13m未満
 小交差点
 道路幅員5.5m未満

オ 第1当事者別 (95 件)

(7) 車種別

普通乗用車の事故が 46 件で全死亡事故の 48.4 パーセントを占め最も多く、次いで軽乗用車 14 件、軽貨物 13 件の順となっている。

(1) 年齢別

20 歳代による事故が 21 件で最も多く、次いで 40 歳代が 19 件と多くなっている。

また、高齢者による事故が 19 件で昨年比 9 件減少している。

(単位：件)

当事者 年齢				乗 用 車				貨 物 車				特 殊 車	二輪車		自 転 車	歩 行 者	そ の 他	合 計
				大 型	中 型	普 通	軽	大 型	中 型	普 通	軽		自動 二輪	原 付				
16 歳 未 満																		0
16 ～ 19 歳			2	1														3
20歳代	20～24歳			9	3								1					13
	25～29歳			4	1			2	1								8	
30歳代	30～34歳			6														6
	35～39歳			4				1	1								6	
40歳代	40～44歳			2	1	1	1	2	1			2						10
	45～49歳			3	3	1	1					1					9	
50歳代	50～54歳			3	1	1			1									6
	55～59歳			4	1		1		1								7	
60歳代	60～64歳			3		1	1		3									8
	65～69歳			1					2					1			4	
70歳代	70～74歳			1	2			1					1					5
	75～79歳			3					1				1				5	
80 歳 以 上			1	1					2				1					5
その他(当事者不明)																		0
合 計				0	0	46	14	4	4	6	13	0	3	4	1	0	0	95
内 数	子 ども	幼 小 児																0
		中 学 生																0
		高 校 生			1													1
	高 齢 者	男 性	0	0	6	3	0	0	1	5	0	0	3	1	0	0		19
		女 性			32	9	4	4	6	13		3	4	1				76
		県 外 居 住 者			14	5												19
県 外 居 住 者					3		2	2	2	1		1					11	

(7) 年齢別・死亡事故発生率

免許人口 1 万人に対する死亡事故率は、全体の 0.7 に対して 10 歳代が 1.6 と高い。

性別でみた場合については、女性が 10 歳代、男性が 20~24 歳の死亡事故の割合が高い。

(単位：件・人)

区分 年齢		男 性			女 性			合 計		
		免許人口	件 数	免許人口 1万人当 たり事 故 率	免許人口	件 数	免許人口 1万人当 たり事 故 率	免許人口	件 数	免許人口 1万人当 たり事 故 率
青 年	10 歳 代	10,841	1	0.9	8,300	2	2.4	19,141	3	1.6
	20~24 歳	48,793	9	1.8	45,128	4	0.9	93,921	13	1.4
	計	59,634	10	1.7	53,428	6	1.1	113,062	16	1.4
25~29 歳		54,951	7	1.3	51,624	1	0.2	106,575	8	0.8
30 歳 代		128,275	9	0.7	120,803	3	0.2	249,078	12	0.5
40 歳 代		121,825	15	1.2	116,983	4	0.3	238,808	19	0.8
50 歳 代		147,392	10	0.7	127,561	3	0.2	274,953	13	0.5
60~64 歳		68,930	8	1.2	49,814	0	0.0	118,744	8	0.7
高 齢 者		156,692	16	1.0	63,276	2	0.3	219,968	18	0.8
合 計		737,699	75	1.0	583,489	19	0.3	1,321,188	94	0.7

(注 1) 自転車・歩行者の第 1 当事者は含まない。(注 2) 免許人口は平成 21 年 12 月末現在

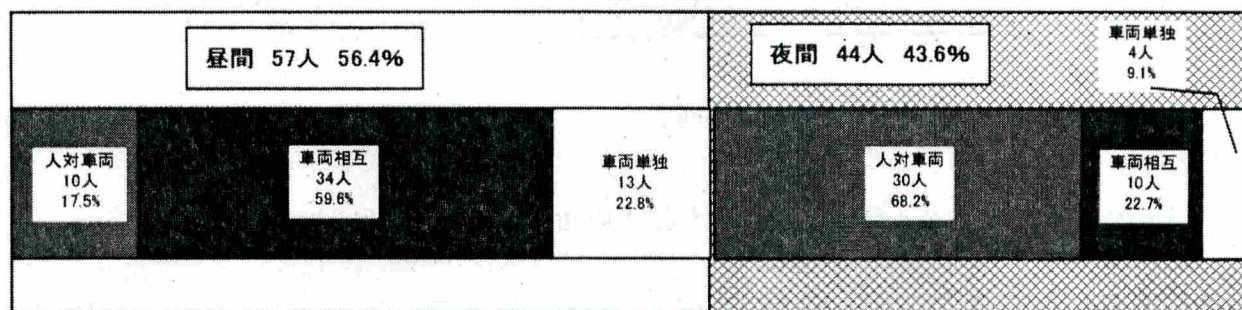
(單位：件)

- 100 -

カ 事故類型別死者数

人対車両	40 人（全死者の	39.6 パーセント）
車両相互	44 人（全死者の	43.6 パーセント）
車両単独	17 人（全死者の	16.8 パーセント）
列車	0 人（全死者の	0 パーセント）

となっており、これを昼夜別でみると、昼間には車両相互の死亡事故が多発し、夜間には人対車両の死亡事故が多発している。

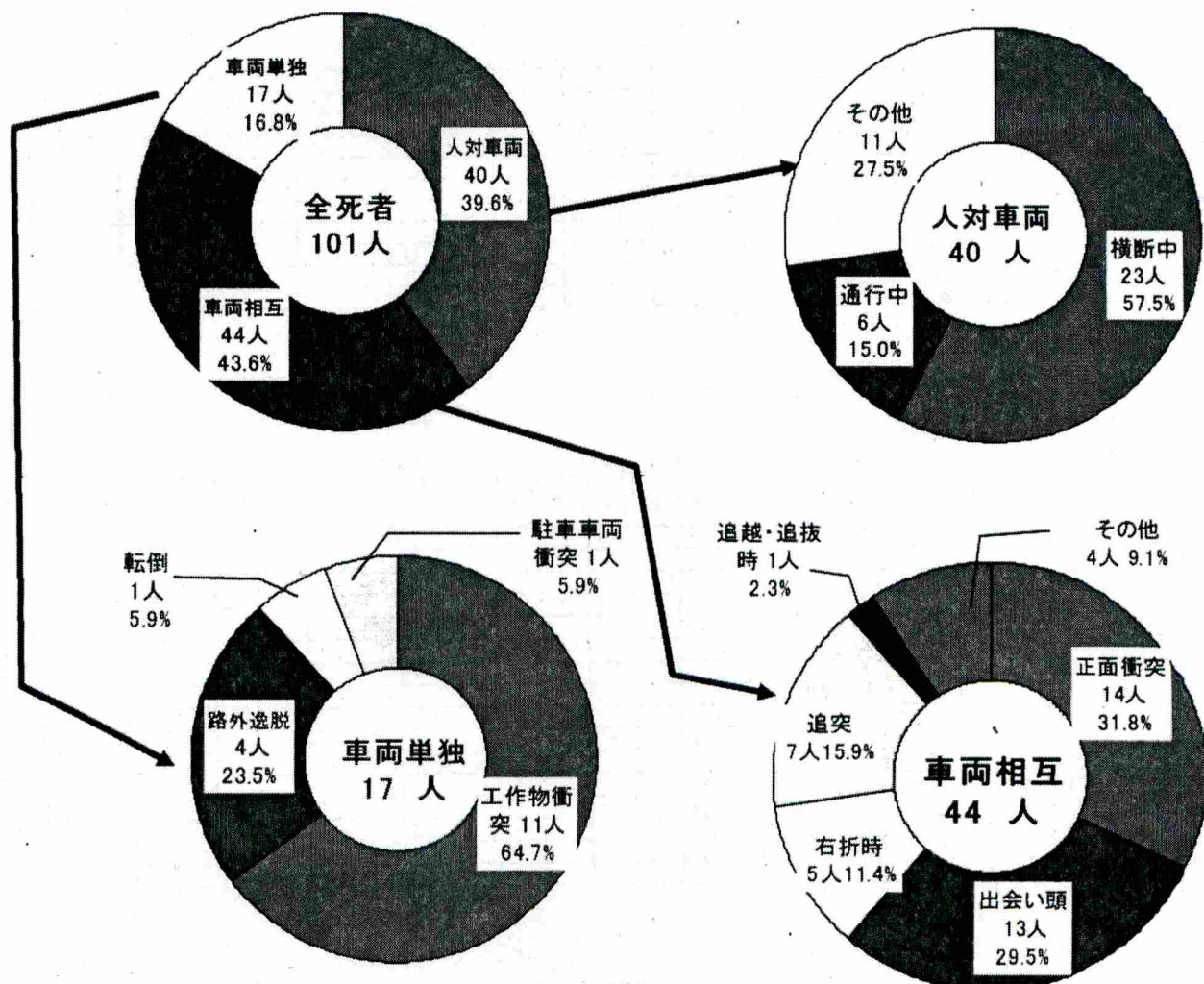


各事故類型でみると

人対車両…横断中が 23 人と最も多く 57.5 パーセントを占めている。

車両相互…正面衝突が 14 人と最も多く 31.8 パーセントを占めている。

車両単独…工作物衝突が 11 人と最も多く 64.7 パーセントを占めている。



(3) 死者の状態

ア 当事者別

自動車運転中の死者は 28 人で全死者の 27.7 パーセントとなっており、さらに同乗者を含めた場合は 36 人となり、35.6 パーセントを占めている。

(単位：人・%)

区分	状態	自動車				自動二輪			原付乗車中		自転車乗車中			歩行中			その他	合計
		運転中			同乗	運転中		同乗	1当	2当	1当	2当	3当	1当	2当	3当		
		1当	2当	3当		1当	2当											
死者		24	3	1	8	3	2		4	5	1	7			36	7		101
	構成率(%)	23.8	3.0	1.0	7.9	3.0	2.0	0.0	4.0	5.0	1.0	6.9	0.0	0.0	35.6	6.9	0.0	100.0

イ 年齢別・状態別

高齢者の死者は 51 人（全死者の 50.5%）で、うち歩行者の死者は 25 人と多く高齢死者の 49.0 パーセントを占めている。

歩行中の死者に占める高齢者の割合は 43 人中 25 人（58.1%）と構成率が高くなっている。

(単位：人)

年齢	状態	自動車				自動二輪		原乗車付中	自乗車車中	歩行中	その他	合計
		運転中			同乗	運 転	同 乗					
		乗用車	貨物車	特殊車								
16歳未満					2							2
16～19歳		2						1		1		4
20歳代	20～24	3			1	1		1		1		7
	25～29											0
30歳代	30～34	1	1		2					2		6
	35～39									1		1
40歳代	40～44		1			3			1	2		7
	45～49	1	1			1		1		1		5
50歳代	50～54									2		2
	55～59	1	2		1					1		5
60歳代	60～64	1	3							7		11
	65～69	1	1					1	1	4		8
70歳代	70～74	2						2	1	4		9
	75～79	2	1		1			2	3	7		16
80歳以上		2	2		1			1	2	10		18
合計		16	12	0	8	5	0	9	8	43	0	101
内数	子ども				2							2
	幼児											0
	小学生											0
	中学生											0
	高校生	1										1
	高齢者	7	4	0	2	0	0	6	7	25	0	51
	男性	14	11		4	5		8	5	27		74
	女性	2	1		4			1	3	16		27

ウ 職業別

無職が 50 人と最も多く全死者の 49.5 パーセントを占め、次いでサービス業の 13 人、農・林・漁業、建設業の 9 人の順となっている。

(単位：人)

職業	状態	自動車				自動二輪		原乗車付中	自乗車車中	歩行中	その他	合計
		運転中			同乗	運 転	同 乗					
		乗用車	貨物車	特殊車								
職業運転者			2			1						3
公務員										1		1
農・林・漁業		1	4					2	1	1		9
建設業		1	1			1				6		9
製造業					1					1		2
卸・小売業										1		1
飲食店		1								1		2
金融・保険業		1										1
サービス業		4			1	2		2	1	3		13
子ども					2							2
高校		1										1
学生		3								1		4
主婦					1					1		2
無職		4	5		3	1		5	6	26		50
その他										1		1
合計		16	12	0	8	5	0	9	8	43	0	101

エ 状態別の違反

(7) 歩行者

歩行者の死者 43 人のうち、34 人(歩行者死者の 79.6%)には何らかの違反があり、横断中の違反が 23 人と最も多く、違反のある歩行者死者の 67.6 パーセントを占めている。

(単位：人)

違反等 区分	信号 無視	通行 区分	横断					計	幼児 と 歩 の き	ひ い て か い い	め は 上 作 業	飛 び 出 し	そ の 他	違 反 な し	合 計
			横断 歩道 外	斜 め 横 断	駐 停 車 車 両 後	直 前 直 車 両 後	走 行 前 直 車 両 後								
1 当								0							0
2 当以下	1	4	4	1	2	16		23		6				9	43

(1) 自転車

自転車乗用中の死者 8 人のうち 7 人(87.5%)に何らかの違反があった。

安全不確認による死者は 3 人で違反のある死者の 42.9 パーセントを占めている。

(単位：人)

違反 区分	信号 無視	右 側 通 行	横 断 等 禁 止	右 折 違 反 等	優 先 通 行 妨 害	交 差 点 安 全 進 行	一 時 不 停 止	灯 火 違 反	酒 酔 い 運 転	徐 行 場 所 違 反	ハ ン ド ル 操 作 不 適	前 方 不 注 意	安 全 不 確 認	そ の 他	違 反 な し	合 計
1 当									1							1
2 当以下		1			1	1							3		1	7

(ウ) 原付

原付乗車中の死者 9 人のうち、7 人(77.8%)に何らかの違反があった。

ハンドル操作不適による死者は 2 人で違反のある死者の 22.2 パーセントを占めている。

(単位：人)

違反 区分	信号 無視	最 高 速 度	通 行 区 分	横 断 等 禁 止	右 折 違 反	一 時 不 停 止	優 先 通 行	交 差 点 安 全	徐 行	酒 酔 い 運 転	ハ ン ド ル 操 作 不 適	ブ レ ー キ 操 作 不 適	前 方 不 注 意	安 全 不 確 認	違 反 な し	合 計
1 当						1					2		1			4
2 当以下								1	1					1	2	5

(I) 自動二輪

自動二輪車乗車中の死者 5 人のうち、5 人(100%)に何らかの違反があった。

最高速度違反による死者は 2 人で違反のある死者の 40.0 パーセントを占めている。

(単位：人)

違反 区分	信号 無視	最 高 速 度	通 行 区 分	右 折 違 反	一 時 不 停 止	優 先 通 行	交 差 点 安 全	酒 酔 い 運 転	徐 行	ハ ン ド ル 操 作 不 適	前 方 不 注 意	安 全 不 確 認	安 全 速 度	そ の 他	違 反 な し	合 計
1 当		1									1		1			3
2 当以下		1					1									2
同 乗																0

(イ) 自動車

違反別では、通行区分・追い越しと前方不注意が5人で最も多く、次いでハンドル・ブレーキ操作不適、動静不注意4人となっている。

事故類型別では車両相互が25人で最も多く、自動車乗車中の死者全体の69.4パーセントを占め、うち正面衝突による死者が12人、追突による死者が6人で合計すると車両相互の死者全体の72.0パーセントを占めている。

(単位：人)

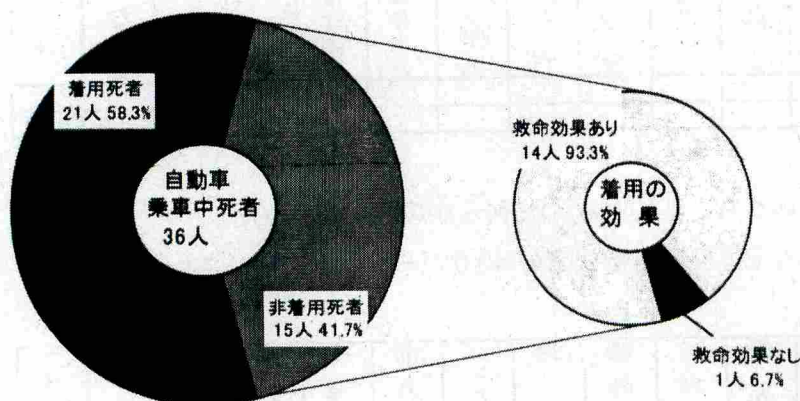
区分	違反	運 転 中															計	同乗中	合計
		信号無視	最高速度超過	通行区分・追い越し	一時不停止	酒酔い運転	優先通行妨害等	交差点安全進行	横断等禁止	過労等運転	安全運転義務					その他の			
											ハンドル・ブレーキ操作	前方不注意	動静不注意	安全不確認	安全速度	その他			
当事者	1 当		3	5	3			1	1		4	5		1	1		24		24
	2 当							1									2	3	3
	3 当以下																2	2	7
事故類型	車両相互	正面衝突		5							1						1	7	5
		追突										4					2	6	6
		出会い頭			2			1									3		3
		追越・追抜															0		0
		転回時							1								1	1	1
		右折時						1									1	2	2
		その他															0	1	1
合計		0	0	5	2	0	0	2	1	0	1	4	0	0	0	0	4	19	6
型別	車両単独		3		1						3	1		1	1		10	1	11
	車列																0		0
合計		0	3	5	3	0	0	2	1	0	4	5	0	1	1	0	4	29	7

オ シートベルト・チャイルドシート着用状況

(ア) シートベルト

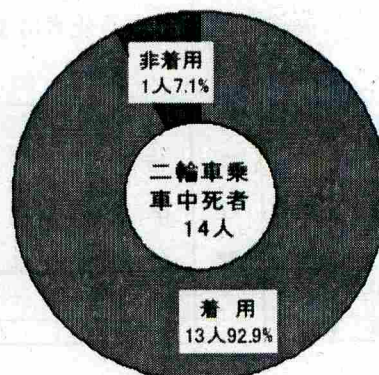
自動車乗車中の死者36人中、シートベルトを着用していたのは21人で、着用率は58.3パーセントと低調である。

また、非着用死者15人中、14人（非着用で死亡した者の93.3%）はシートベルトを着用していれば死亡するに至らなかったと思われる。



(イ) ヘルメット

二輪乗車中の死者は14人で、うち1人が非着用であった。



2 歩行者の事故

(1) 概 況

交通事故で死傷した歩行者は、

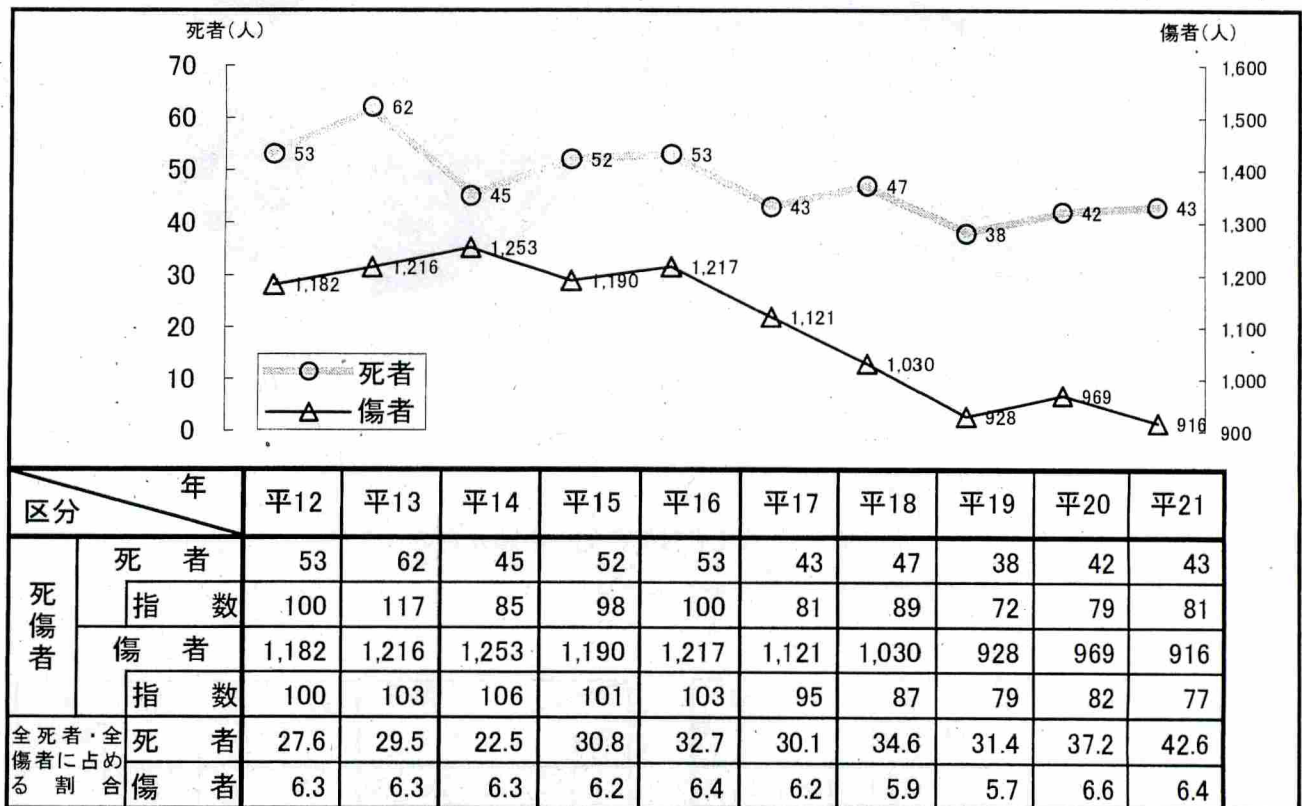
死者数 43 人 (前年比 1 人 2.4%増)

傷者数 916 人 (前年比 -53 人 5.5%減)

で、死者数は増加したが、傷者数は減少した。

全死傷者に占める割合は、死者数は 42.6 パーセントで 5.4 ポイント増加し、傷者数は 6.4 パーセントで 0.2 ポイント減少した。

(単位：人・%)



(2) 月 別

死者は 6 月、12 月が 7 人で最も多く、次いで 3 月、8 月の 5 人の順となっており、特に下半期の死者は 23 人 (53.4%) と多くなっている。

傷者数は 12 月が 107 人で最も多く、次いで 1 月の 93 人、10 月の 91 人の順となっている。

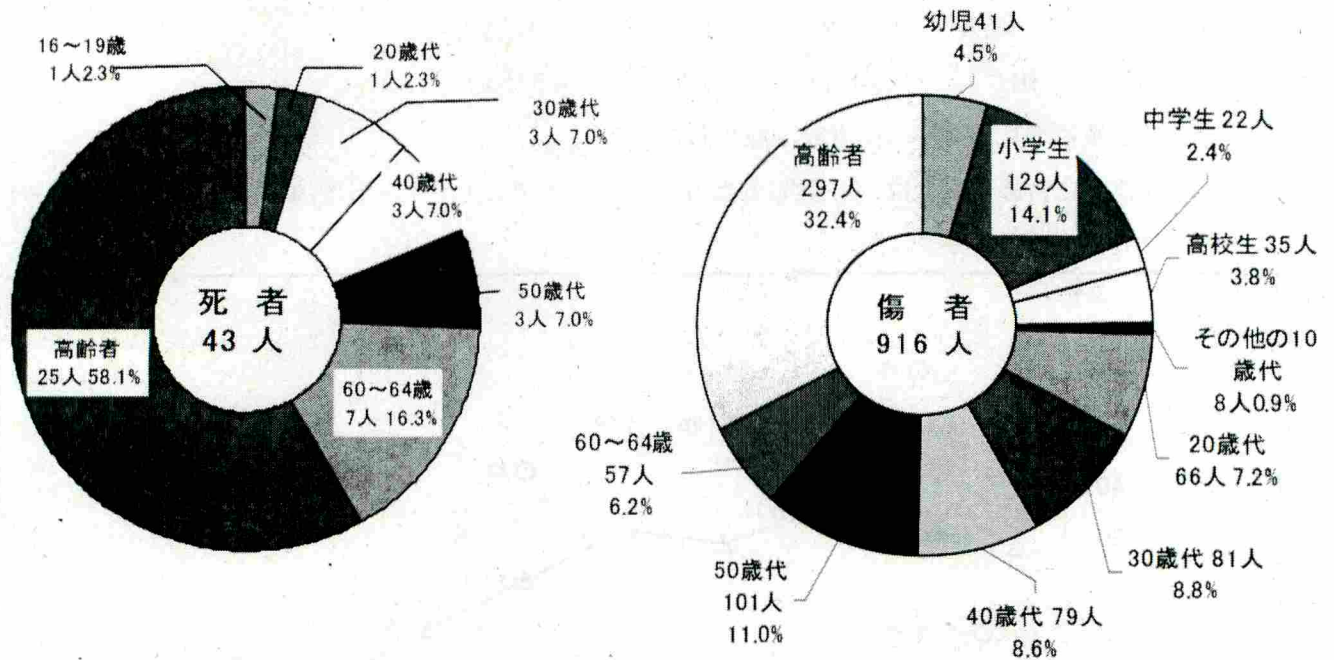
(単位：人・%)

月		1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	合計
被害	死者	4	1	5	2	1	7	2	5	3	3	3	7	43
	傷者	93	76	85	66	65	60	58	65	64	91	86	107	916
全死者・全傷者に占める割合	死者	80.0	16.7	45.5	100.0	16.7	63.6	20.0	55.6	33.3	30.0	27.3	63.6	42.6
	傷者	8.7	7.0	7.2	5.2	5.9	5.7	5.1	4.9	5.5	6.8	7.2	7.9	6.4

(3) 年齢別

ア 死者は高齢者が 25 人で最も多く、歩行者死者の 58.1 パーセントを占めている。

傷者も高齢者が 297 人と最も多く、次いで小学生 129 人となっている。



イ 歩行者とその他の死傷者の比較

構成率で比較すると、歩行者の高齢死者はその他の高齢死者の 1.3 倍となっている。

傷者は高齢者の占める割合 32.4 パーセントの次に小学生が 14.1 パーセントと高い。

(単位：人・%)

(単位：人・%)

年齢		区分	死 者		傷 者	
				構 成 率 (%)		構 成 率 (%)
歩 行 者 の 死 傷 者	16 歳 未 満			0.0	199	21.7
	16 ～ 19 歳		1	2.3	36	3.9
	20 歳 代		1	2.3	66	7.2
	30 歳 代		3	7.0	81	8.8
	40 歳 代		3	7.0	79	8.6
	50 歳 代		3	7.0	101	11.0
	60歳代	60～64	7	16.3	57	6.2
		65～69	4	9.3	73	8.0
	70歳代	70～74	4	9.3	66	7.2
		75～79	7	16.3	65	7.1
	80歳以上		10	23.3	93	10.2
合 計		43	100.0	916	100.0	
内 訳	幼 児			0.0	41	4.5
	小 学 生			0.0	129	14.1
	中 学 生			0.0	22	2.4
	高 校 生			0.0	35	3.8
	高 齢 者		25	58.1	297	32.4

年齢		区分	死 者		傷 者	
			人 数	構 成 率 (%)	人 数	構 成 率 (%)
そ の 他 の 死 者	16 歳 未 満		2	3.4	817	6.1
	16 ～ 19 歳		3	5.2	872	6.5
	20 歳 代		6	10.3	2,567	19.3
	30 歳 代		4	6.9	2,437	18.3
	40 歳 代		9	15.5	2,104	15.8
	50 歳 代		4	6.9	1,955	14.7
	60歳代	60～64	4	6.9	798	6.0
		65～69	4	6.9	634	4.8
	70歳代	70～74	5	8.6	464	3.5
		75～79	9	15.5	360	2.7
	80歳以上		8	13.8	318	2.4
合 計		58	100.0	13,326	100.0	
傷 者 の 内 訳	内	幼 児	2	3.4	204	1.5
		小 学 生	2	3.4	272	2.0
		中 学 生	0	0.0	229	1.7
		高 校 生	1	1.7	577	4.3
		高 齢 者	26	44.8	1,776	13.3

(4) 時間別・昼夜別

ア 年齢別

死者は20～22時が8人で歩行者死者の18.6パーセントを占め最も多く、次いで16～18時が7人となっている。

傷者は16～18時が188人で歩行者傷者の20.5パーセントを占め最も多く、次いで18～20時の144人、10～12時が120人となっている。

(単位：人・%)

区分	時間	0-2	2-4	4-6	6-8	8-10	10-12	12-14	14-16	16-18	18-20	20-22	22-24	合計
死者		3	1	0	3	5	3	0	2	7	5	8	6	43
	構成率(%)	7.0	2.3	0.0	7.0	11.6	7.0	0.0	4.7	16.3	11.6	18.6	14.0	100.0
傷者		19	7	10	73	69	120	82	114	188	144	62	28	916
	構成率(%)	2.1	0.8	1.1	8.0	7.5	13.1	9.0	12.4	20.5	15.7	6.8	3.1	100.0

イ 昼夜別

死者は夜間が30人と多く、歩行者死者の69.8パーセントを占めている。

傷者は昼間が569人と多く、歩行者傷者の62.1パーセントを占めている。

(単位：人・%)

区分	昼夜	薄明	昼	薄暮	計	薄暮	夜	薄明	計	合計
死者			13		13	2	28		30	43
	構成率(%)	0.0	30.2	0.0	30.2	4.7	65.1	0.0	69.8	100.0
傷者		2	541	26	569	38	307	2	347	916
	構成率(%)	0.2	59.1	2.8	62.1	4.1	33.5	0.2	37.9	100.0

ウ 年齢別・昼夜別

死者は夜間の高齢者が18人と多く、歩行者死者の41.9パーセントを占めている。

傷者は夜間における子ども、高齢者以外の者が219人と多くなっている。

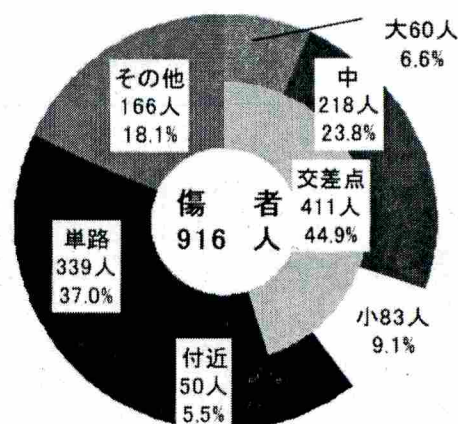
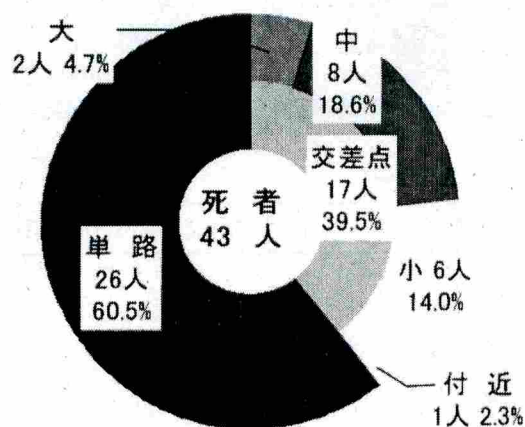
(単位：人・%)

区分	昼夜	子ども	高齢者	その他	計	子ども	高齢者	その他	計	合計
死者			7	6	13		18	12	30	43
	構成率(%)	0.0	16.3	14.0	30.2	0.0	41.9	27.9	69.8	100.0
傷者		169	192	208	569	23	105	219	347	916
	構成率(%)	18.4	21.0	22.7	62.1	2.5	11.5	23.9	37.9	100.0

(5) 場所別

ア 道路形状別

歩行中の死者は単路が26人で最も多く60.5パーセントを占め、傷者は交差点が411人と最も多く、44.9パーセントを占めており、なかでも「中」交差点の占める割合が高い。



イ 道路形状別・信号機の有無・歩車道の区分別

信号機の有無で比較すると、信号機のない単路での死者は 26 人で、歩行者死者の 60.5 パーセントを占めている。

歩車道の区分別では、区分有りでの死者が多く 36 人と歩行者死者の 83.7%を占め、傷者についても 580 人で歩行者傷者の 63.3 パーセントを占めている。

(単位：人)

道路形状 信号機、歩車道区別の有無			交 差 点				計	単路	その他	合 計
			大	中	小	付近				
信号機	信号機あり	死者	1	3	1	1	6			6
		傷者	57	139	21	12	229	2		231
	信号機なし	死者	1	5	5		11	26		37
		傷者	3	79	62	38	182	337	166	685
合 計		死者	2	8	6	1	17	26	0	43
		傷者	60	218	83	50	411	339	166	916

歩車道 区分あり	防護柵等	死者					0	1		1	
		傷者		7	1		8	7	1	16	
	縁石等	死者	2	7	4	1	14	18		32	
		傷者	60	165	47	33	305	145	6	456	
	路側帯	死者			2		2	1		3	
		傷者		25	10	8	43	64	1	108	
	区分なし	死者		1			1	6		7	
		傷者		21	25	9	55	123	158	336	
	合 計		死者	2	8	6	1	17	26	0	43
			傷者	60	218	83	50	411	339	166	916

ウ 自宅からの距離

自宅から 500 メートル以内の死傷者が 372 人と多く、歩行者死傷者の 38.8 パーセントを占めている。また、死者は 22 人で歩行者死者の 51.2 パーセントを占めている。

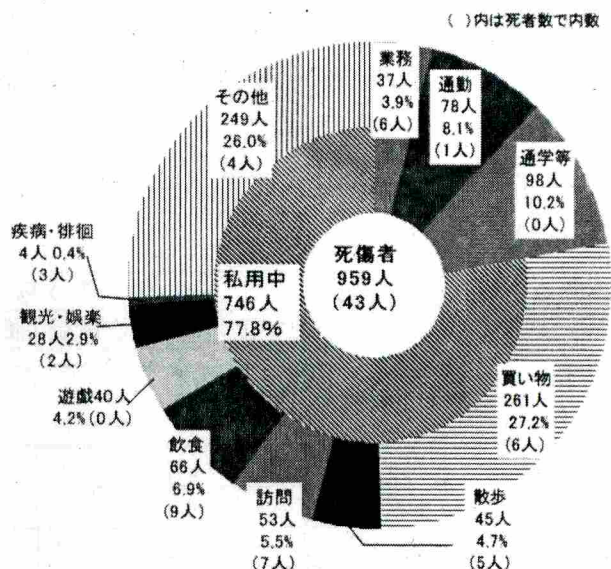
全歩行者の死傷者 959人(43人)	92人 (7人) 9.6%	78人 (6人) 8.1%	202人 (9人) 21.1%	156人 (5人) 16.3%	105人 (5人) 10.9%	326人 (11人) 34.0%	
子どもで歩行者 の死傷者 192人(0人)	39人 (0人) 20.3%	13人 (0人) 6.8%	44人 (0人) 22.9%	35人 (0人) 18.2%	20人 (0人) 10.4%	41人 (0人) 21.4%	
高齢者で歩行者 の死傷者 322人(25人)	34人 (6人) 10.6%	46人 (4人) 14.3%	97人 (9人) 30.1%	51人 (3人) 15.8%	34人 (2人) 10.6%	60人 (1人) 18.6%	
区 分	50m以下	100m以下	500m以下	1km以下	2km以下	2km超過	調査不能

()内は死者数で内数

(6) 通行目的別

歩行者の死傷者のうち私用中の事故が746人で77.8パーセントを占めている。うち買い物目的が最も多く261件、27.2パーセントとなっている。

その他、業務中については前年比、死者が4人増加し、傷者が16人減少している。



(7) 状態別等

ア 状態別

死者、傷者とも道路横断中が多く、死者は23人で歩行者死者の53.5パーセント、傷者は502人で歩行者傷者の54.8パーセントを占めている。

(単位：人・%)

状態 区分	人 対 車 両													人対車両以外	合 計
	対面 通行 中	背面 通行 中	横 断 中				計	路 上 遊 戯 中	路 上 作 業 中	路 上 停 止 中	歩 道 通 行 中	路 側 帯 通 行 中	そ の 他		
			横 断 歩 道	横 断 歩 道 付 近	横 断 歩 道 橋 付 近	そ の 他									
死 者	3	3	1	0	0	22	23	0	6	1	0	0	4	3	43
構成率(%)	7.0	7.0	2.3	0.0	0.0	51.2	53.5	0	14.0	2.3	0	0	9	7	100
傷 者	50	104	238	28	0	236	502	13	12	19	27	4	159	26	916
構成率(%)	5.5	11.4	26.0	3.1	0.0	25.8	54.8	1.4	1.3	2.1	2.9	0.4	17.4	2.8	100

イ 横断場所・道路形状別

横断中の死者23人のうち、交差点での死者は11人で横断中死者の47.8パーセントを占めている。

また、交差点内の傷者301人のうち、216人(71.8%)が横断歩道を横断中に事故に遭っている。

(単位：人・%)

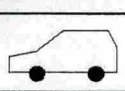
道路形状 横断場所		交 差 点						計		その他		合 計			
		交差点内		交差点付近		構 成 率(%)									
		死 者	傷 者	死 者	傷 者	死 者	傷 者	死 者	傷 者	死 者	傷 者	死 者	傷 者		
横断中	横 断 歩 道	1	216	0	11	1	227	0	11	1	238	4.3	47.4		
	横断歩道付近	0	15	0	6	0	21	0	7	0	28	0.0	5.6		
	横断歩道橋付近	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0.0	0.0		
	そ の 他	10	70	0	19	10	89	12	147	22	236	95.7	47.0		
合 計		11	301	0	36	11	337	12	165	23	502	100	100		

ウ 横断開始場所

横断中の死傷者の横断開始場所は「その他」が最も多く、死者は 10 人(58.8%)、傷者は 300 人(67.6%)となっている。

「車両の陰から」の傷者は 60 人で、うち 35 人(58.3%)は子どもの傷者となっている。

(単位：人・%)

横断場所 区分		車両の陰から			建 物	物陰から	路地から	その他
		駐車車両	停止車両	進行車両				
								
子 ど も	死 者	0	0	0	0	0	0	0
	傷 者	18	15	2	21	6	15	61
高 齢 者	死 者	0	1	0	2	0	4	7
	傷 者	3	2	8	4	1	18	104
そ の 他	死 者	0						3
	傷 者	4	8		5		14	135
合 計	死 者	0	1	0	2	0	4	10
	構成率(%)	0.0	5.9	0.0	11.8	0.0	23.5	58.8
	傷 者	25	25	10	30	7	47	300
	構成率(%)	5.6	5.6	2.3	6.8	1.6	10.6	67.6

(8) 違反別

(単位：人・%)

ア 違反状況をみると、何らかの違反があった死者は 34 人(79.1%)、傷者は 327 人 (35.7 %) となっている。

イ 死者の違反は横断中が多く、なかでも走行車両の直前・直後の横断が 16 人で、横断中死者の 69.6%を占めている。

傷者の違反も横断中が 138 人と多く違反あり傷者の 42.2 パーセントを占めている。

死傷者		死 者		傷 者	
		構成率(%)		構成率(%)	
違 反					
信 号 無 視		1	2.3	19	2.1
通 行 区 分		4	9.3	39	4.3
横 断	横 断 歩 道 外	4	9.3	66	7.2
	斜 め 横 断	1	2.3	7	0.8
	駐停車車両直前・直後	2	4.7	19	2.1
	走行車両直前・直後	16	37.2	45	4.9
	横断禁止場所		0.0	1	0.1
計		23	53.5	138	15.1
酩 酊 ・ 徘 徊		6	14.0	9	1.0
路 上 遊 戯			0.0	7	0.8
路 上 作 業			0.0	2	0.2
飛 び 出 し			0.0	90	9.8
そ の 他			0.0	23	2.5
違 反 な し		9	20.9	589	64.3
合 計		43	100.0	916	100.0

3 自転車の事故

(1) 概 況

交通事故で死傷した人は

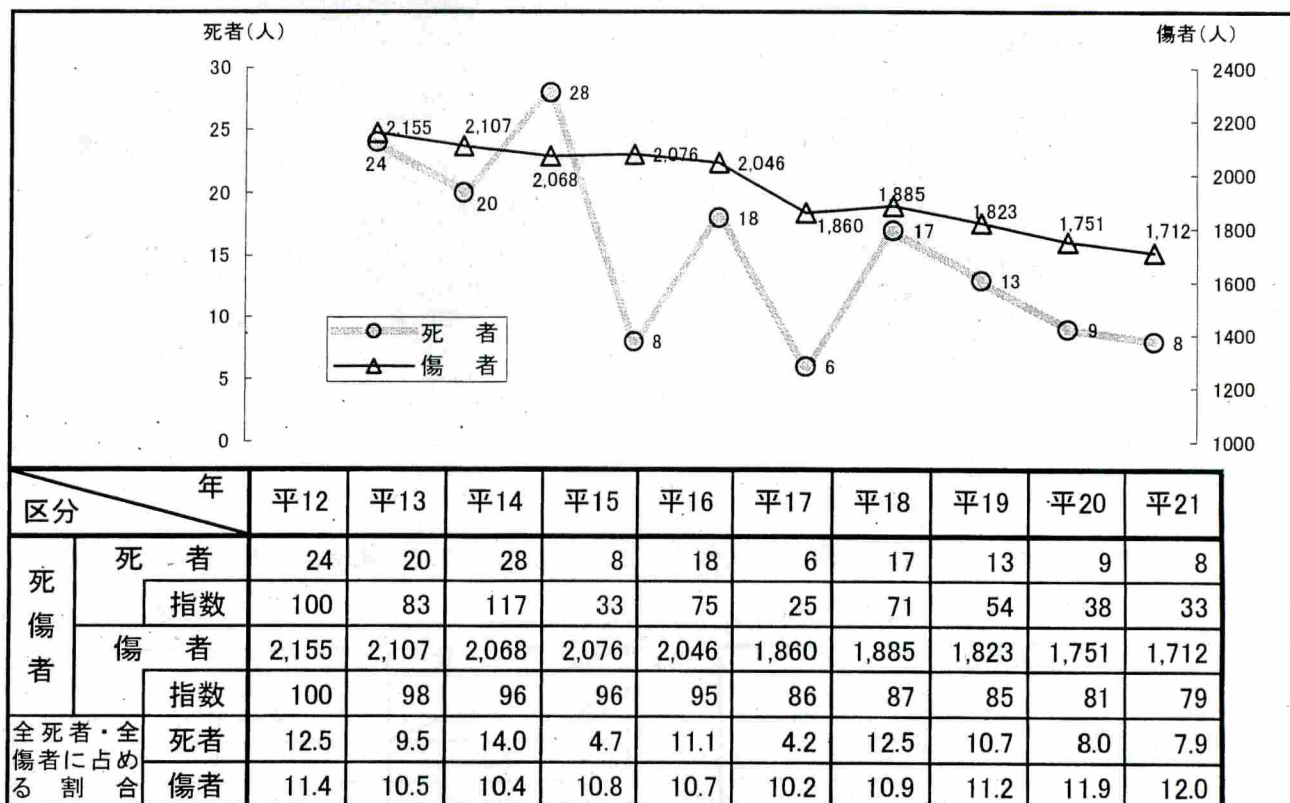
死者数 8 人 (前年比 -1 人 11.1%減)

傷者数 1,712 人 (前年比 -39 人 2.2%減)

で、死者数、傷者数とも減少した。

全死者数に占める割合は 7.9 パーセントで 0.1 ポイント減少、全傷者数に占める割合は 12.0 パーセントで 0.1 ポイント増加した。

(単位：人・%)



(2) 月 別

死者数は 7、9 月の 2 人、5、8、10、11 月の各 1 人となっている。傷者は、6 月が 169 人と最も多く、次いで 4 月の 167 人、5 月の 166 人の順となっている。

上半期、下半期で比較すると死者数、傷者数とも下半期が多く占め、死者は 87.5 パーセント、傷者は 53.6 パーセントとなっている。

(単位：人・%)

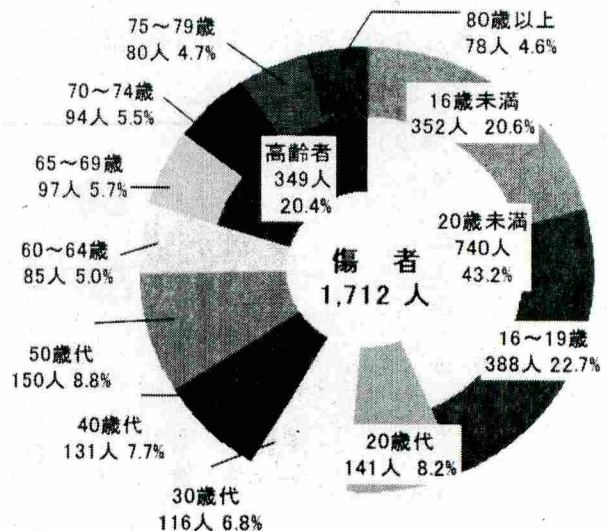
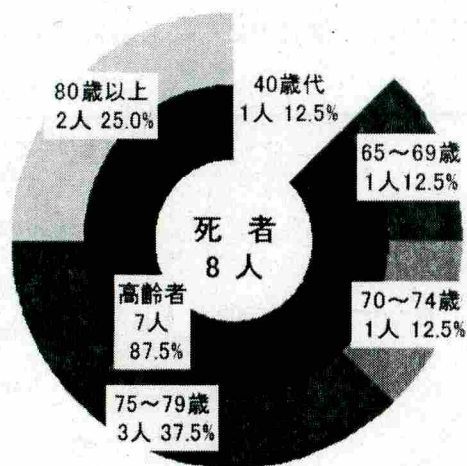
区分		月	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	合計
被害	死者					1		2	1	2	1	1			8
	傷者		86	82	124	167	166	169	145	160	156	162	151	144	1,712
全死傷者に占める割合	死者		0.0	0.0	0.0	0.0	16.7	0.0	20.0	11.1	22.2	10.0	9.1	0.0	7.9
	傷者		8.0	7.6	10.6	13.2	15.1	16.0	12.7	12.2	13.5	12.2	12.7	10.6	12.0

(3) 年齢別

ア 年齢別

死者は高齢者が7人と多く、自転車事故の87.5パーセントを占めている。

傷者は20歳未満が740人と多く、自転車傷者の43.2%を占めている。



イ 自転車とその他の死傷者の比較

自転車の死傷者とその他の死傷者を比較すると、自転車死者は高齢者、自転車傷者は20歳未満の占める割合が高い。 (単位：人・%)

(単位：人・%)

年齢		死 者		傷 者	
		構成率(%)		構成率(%)	
自 転 車 の 死 傷 者	16歳未満	0.0	352	20.6	
	16～19歳	0.0	388	22.7	
	20歳代	0.0	141	8.2	
	30歳代	0.0	116	6.8	
	40歳代	1	12.5	131	7.7
	50歳代	0.0	150	8.8	
	60歳代	0.0	85	5.0	
	70歳代	1	12.5	94	5.5
	75～79歳	3	37.5	80	4.7
	80歳以上	2	25.0	78	4.6
	合 計	8	100.0	1,712	100.0
内 訳	幼 児	0.0	13	0.8	
	小 学 生	0.0	109	6.4	
	中 学 生	0.0	140	8.2	
	高 校 生	0.0	427	24.9	
	高 齢 者	7	87.5	349	20.4

年齢		死 者		傷 者	
		構成率(%)		構成率(%)	
そ の 他 の 死 傷 者	16歳未満	2	2.2	664	5.3
	16～19歳	4	4.3	520	4.2
	20歳代	7	7.5	2,492	19.9
	30歳代	7	7.5	2,402	19.2
	40歳代	11	11.8	2,052	16.4
	50歳代	7	7.5	1,906	15.2
	60歳代	11	11.8	770	6.1
	70歳代	8	8.6	436	3.5
	75～79歳	13	14.0	345	2.8
	80歳以上	16	17.2	333	2.7
	合 計	93	100.0	12,530	100.0
内 訳	幼 児	2	2.2	232	1.9
	小 学 生	0	0.0	292	2.3
	中 学 生	0	0.0	111	0.9
	高 校 生	1	1.1	185	1.5
	高 齢 者	44	47.3	1,724	13.8

(4) 時間別・昼夜別

ア 時間別

死者は16～18時が3人で自転車死者の37.5パーセントを占め、6～8時、8～10時、10～12時、12～14時、18～20時が各1人となっている。

傷者は16～18時が302人で自転車傷者の17.6パーセントを占め最も多く、次いで8～10時の293人、6～8時の221人、14～16時の215人の順となっている。(単位：人・%)

区分\時間	0-2	2-4	4-6	6-8	8-10	10-12	12-14	14-16	16-18	18-20	20-22	22-24	合計
死者				1	1	1	1	0	3	1	0	0	8
構成率(%)	0.0	0.0	0.0	12.5	12.5	12.5	12.5	0.0	37.5	12.5	0.0	0.0	100.0
傷者	4	2	10	221	293	196	180	215	302	210	65	14	1712
構成率(%)	0.2	0.1	0.6	12.9	17.1	11.4	10.5	12.6	17.6	12.3	3.8	0.8	100.0

イ 昼夜別

死者、傷者とも昼間が多い。

(単位：人・%)

区分\昼夜	昼間				夜間				合計
	薄明	昼	薄暮	計	薄暮	夜	薄明	計	
死者		6	1	7		1		1	8
構成率(%)	0.0	75.0	12.5	87.5	0.0	12.5	0.0	12.5	100.0
傷者	8	1,294	70	1,372	62	274	4	340	1,712
構成率(%)	0.5	75.6	4.1	80.1	3.6	16.0	0.2	19.9	100.0

ウ 年齢別・昼夜別

死者は昼間の高齢者が6人と多く、自転車の死者の75.0パーセントを占めている。

傷者は、昼間のその他が841人と多く、自転車傷者の49.1パーセントを占めている。

(単位：人・%)

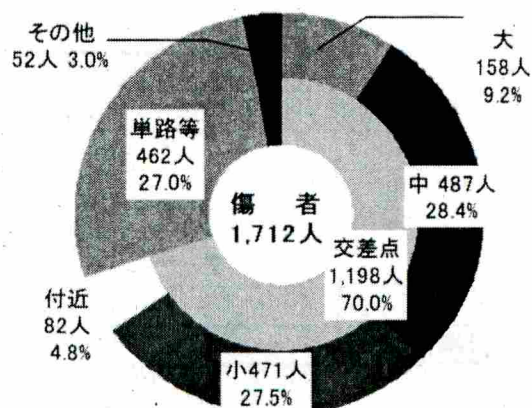
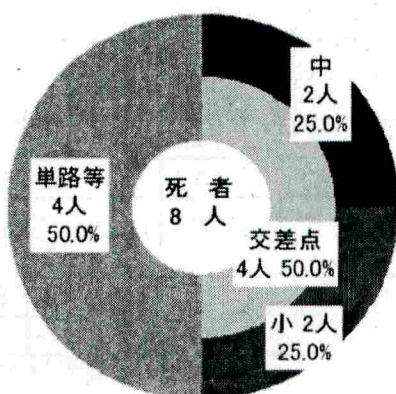
区分\昼夜	昼間				夜間				合計
	子ども	高齢者	その他	計	子ども	高齢者	その他	計	
死者		6	1	7		1		1	8
構成率(%)	0.0	75.0	12.5	87.5	0.0	12.5	0.0	12.5	100.0
傷者	224	307	841	1,372	62	274	4	340	1,712
構成率(%)	13.1	17.9	49.1	80.1	3.6	16.0	0.2	19.9	100.0

(5) 場所別

ア 道路形状別

死者は、交差点、単路等が半数ずつとなっているが、傷者は交差点が1,198人で自転車傷者の70.0パーセントを占めている。

交差点の大きさで見ると、死者、傷者とも「小」・「中」交差点での発生が多い。



イ 道路形状別・信号機の有無別

交差点での自転車死者4人のすべてが信号機のない交差点となっている。(単位：人)

道路形状 信号機の有無			交 差 点				計	単路	その他	合 計
			大	中	小	付近				
信号機	信号機あり	死者					0			0
		傷者	124	176	36	25	361	1		362
	信号機なし	死者		2	2		4	4		8
		傷者	34	311	435	57	837	461	52	1,350
合 計		死者	0	2	2	0	4	4	0	8
		傷者	158	487	471	82	1,198	462	52	1,712

(6) 道路形状別・事故類型別

自転車乗用中の死傷者は交差点に集中しており、死者4人(50.0%)、傷者1,198人(70.0%)となっている。

事故類型別では、車両相互の出会い頭の事故が多く、死者は4人(50.0%)、傷者は1,002人(58.5%)となっている。(単位：人・%)

道路形状 事故類型		交 差 点				計		その他		合 計			
		交差点内		交差点付近						構成率(%)			
		死 者	傷 者	死 者	傷 者	死 者	傷 者	死 者	傷 者	死 者	傷 者	死 者	傷 者
人 対 車 両						0	0			0	0	0.0	0.0
車	正 面 衝 突		2		4	0	6	1	27	1	33	12.5	1.9
	追 突		1		6	0	7		17	0	24	0.0	1.4
両	出 会 い 頭	3	732		35	3	767	1	235	4	1,002	50.0	58.5
	追 越 ・ 追 抜		4		5	0	9	1	34	1	43	12.5	2.5
相	転回・後退時		5		3	0	8		47	0	55	0.0	3.2
	進路変更時					0	0		1	0	1	0.0	0.1
互	すれ違い時		1		1	0	2		12	0	14	0.0	0.8
	左 折 時	1	170		8	1	178		46	1	224	12.5	13.1
	右 折 時		181		11	0	192		31	0	223	0.0	13.0
そ の 他			18		9	0	27		47	0	74	0.0	4.3
計		4	1,114	0	82	4	1,196	3	497	7	1,693	87.5	98.9
車 両 単 独			2			0	2	1	17	1	19	12.5	1.1
列 車						0	0			0	0	0.0	0.0
合 計		4	1,116	0	82	4	1,198	4	514	8	1,712	100.0	100.0

(7) 自宅からの距離

事故発生場所から自宅までの距離をみると、子どもは500m以内(101~500m)、高齢者は1Km以内(501~1,000m)が最も多い。

子ども、高齢者を除いた傷者は2km超過が最も多い。(単位：人・%)

区分	距離	50m以内	100m以内	500m以内	1km以内	2km以内	2km超過	調査不能	合 計
子 ども		21	18	69	31	57	56	0	252
	構成率(%)	8.3	7.1	27.4	12.3	22.6	22.2	0.0	100.0
高 齢 者		17	24	③ 88	③ 94	62	① 64	0	⑦ 349
	構成率(%)	4.9	6.9	25.2	26.9	17.8	18.3	0.0	100.0
そ の 他		15	33	162	225	205	① 460	0	① 1,100
	構成率(%)	1.4	3.0	14.7	20.5	18.6	41.8	0.0	100.0
合 計		53	75	③ 319	③ 350	① 324	① 580	0	⑧ 1,701
	構成率(%)	3.1	4.4	18.8	20.6	19.0	34.1	0.0	100.0

○は死者数で内数

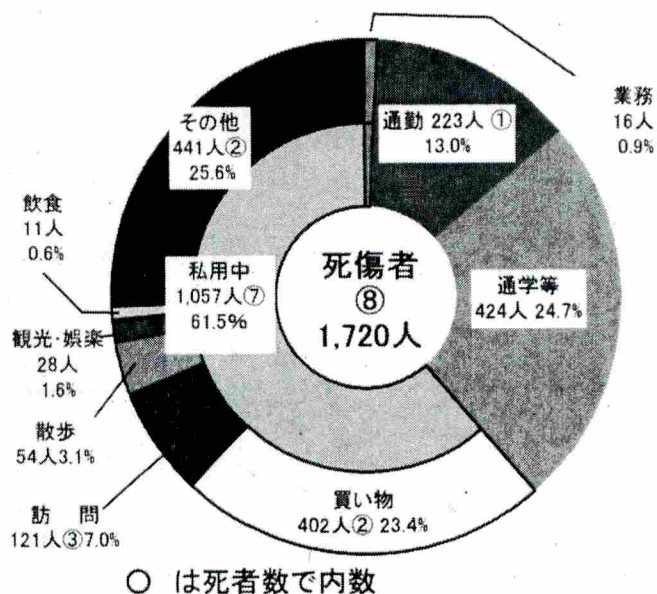
* 同乗者の死傷者は含まない

(8) 通行目的別

通行目的は、私用中が1,057人で
61.5パーセントを占めている。

なかでも買い物が402人23.4
パーセントと最も多い。

通学等、通勤における事故の発生も
多く、それぞれ、424人(24.7%)、223人
(13.0%)となっている。



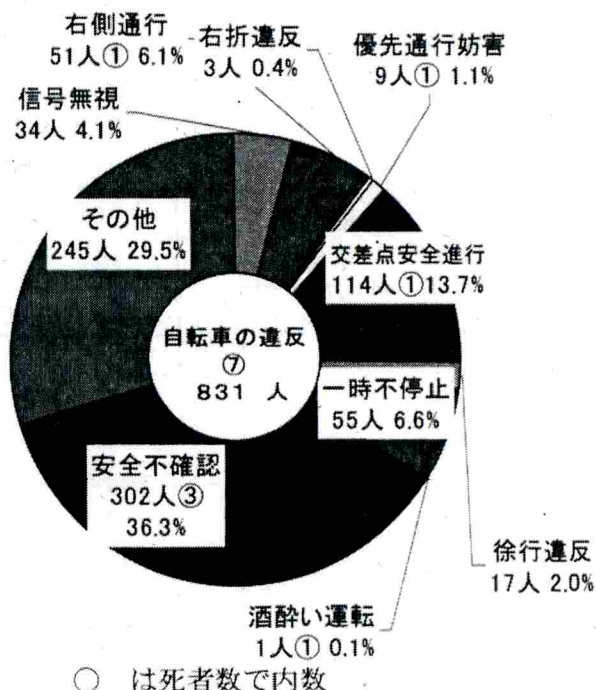
(9) 違反別

死者のうち何らかの違反があったのは7人(87.5%)、同じく傷者では835人(48.8%)とな
っている。

(単位：人・%)

違反	死 者		傷 者	
		構成率 (%)		構成率 (%)
信号無視		0.0	34	2.0
右側通行	1	12.5	50	2.9
横断等禁止		0.0		0.0
右折違反		0.0	3	0.2
優先通行妨害	1	12.5	8	0.5
交差点安全進行	1	12.5	113	6.6
徐行違反		0.0	17	1.0
一時不停止		0.0	55	3.2
酒酔い運転	1	12.5		0.0
安全不確認	3	37.5	299	17.5
その他		0.0	245	14.3
違反なし	1	12.5	877	51.2
同乗者		0.0	11	0.6
合 計	8	100.0	1,712	100.0

内 訳	夜間事故	1	12.5	338	19.7
	うち無灯火	1	12.5	78	4.6
	無灯火率	死者 100.0	傷者 23.1		



4 子どもの事故

(1) 概 況

交通事故により死傷した子どもは、

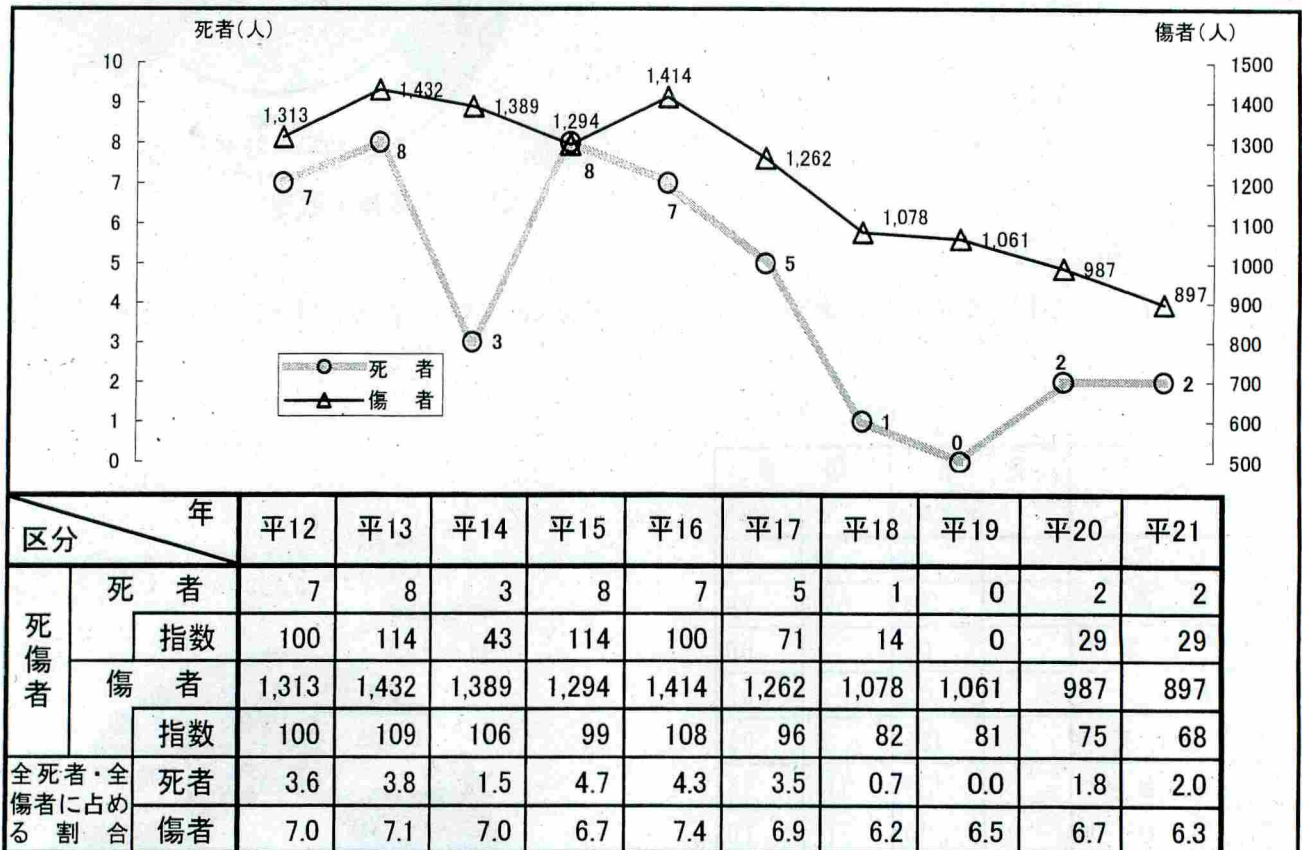
死者数 2 人 (前年比 ±0 人 ±0%)

傷者数 897 人 (前年比 -90 人 9.1%減)

で、死者数は前年同数で、傷者数は減少した。

全死者に占める割合は 2.0 パーセントで、0.2 ポイント増加し、全傷者に占める割合は 6.3 パーセントで 0.4 ポイント減少した。

(単位：人・%)



(2) 月 別

死者数は2月に2人、傷者数は10月が101人で最も多く、次いで7月、8月の96人の順となっている。

(単位：人・%)

区分		月												合計
		1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	
被害	死者		2											2
	傷者	51	53	75	88	70	64	96	96	75	101	64	64	897
全死者・全傷者に占める割合	死者	0.0	33.3	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	2.0
	傷者	4.7	4.9	6.4	7.0	6.4	6.1	8.4	7.3	6.5	7.6	5.4	4.7	6.3

(3) 状態別

傷者は自動車同乗中の 439 人(48.9%)が最も多く、次いで自転車乗用中 252 人(28.1%)、歩行者 192 人(21.4%)の順となっている。

死者の 2 人はいずれも自動車同乗中の事故となっている。

(単位：人・%)

区分	状態	自動車 同乗中	自動二輪 乗車中	原付乗車中		自転車乗用中		歩行者	その他	合計
				運 転	同 乗	運 転	同 乗			
死 者		2								2
	構成率(%)	100.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	100.0
傷 者		439				252	10	192	4	897
	構成率(%)	48.9	0.0	0.0	0.0	28.1	1.1	21.4	0.4	100.0

(4) 状態別・学齢別

(単位：人)

歩行者の傷者は、小学 1 年生が最も多く、学年が高くなるにつれて少なくなる傾向となっている。

自転車の傷者については、中学生 1 年生の 49 人が最も多いが、中学の学年による大きな開きはない。

学 齢	状態	歩行者		自転車		その他		合 計	
		死者	傷者	死者	傷者	死者	傷者	死者	傷者
幼 児	未 就 学 児		25		6	2	115	2	146
	幼 稚 園 児		16		7		76	0	99
	計	0	41	0	13	2	191	2	245
小 学 生	1 年 生		36		8		33	0	77
	2 年 生		33		12		28	0	73
	3 年 生		24		15		32	0	71
	4 年 生		15		21		26	0	62
	5 年 生		16		29		20	0	65
	6 年 生		5		24		24	0	53
	計	0	129	0	109	0	163	0	401
中 学 生	1 年 生		13		49		28	0	90
	2 年 生		8		48		30	0	86
	3 年 生		1		43		31	0	75
	計	0	22	0	140	0	89	0	251
合 計		0	192	0	262	2	443	2	897

(5) 時間別・昼夜別

昼間の傷者が多く、81.3 パーセントを占めている。

時間別では下校時間帯及び放課後となる 16～18 時の傷者が 242 人と最も多く、次いで 14～16 時、12～14 時の順となっている。

(単位：人・%)

区分	昼夜	昼 間		夜 間		合 計	
		薄 暮	薄 暮	薄 暮	薄 暮	薄 暮	薄 暮
死 者		2				2	0
	構成率(%)	100.0		0.0		100.0	0.0
傷 者		729	50	168	45	897	95
	構成率(%)	81.3	5.6	18.7	5.0	100.0	10.6

* 薄暮時は内数

(単位：人・%)

区分	時間	0-2	2-4	4-6	6-8	8-10	10-12	12-14	14-16	16-18	18-20	20-22	22-24	合 計
死 者						1				1				2
	構成率(%)	0.0	0.0	0.0	0.0	50.0	0.0	0.0	0.0	50.0	0.0	0.0	0.0	100
傷 者		2	0	3	88	62	83	116	182	242	93	22	4	897
	構成率(%)	0.2	0.0	0.3	9.8	6.9	9.3	12.9	20.3	27.0	10.4	2.5	0.4	100

(6) 学齢別・通行目的別

学齢でみると、幼児、小学生は買い物、中学生は登校が最も多い。

通行目的の中に占める通学等の割合は、幼児が 5.8 パーセント、小学生 17.0 パーセント、中学生 35.7 パーセントとなっている。

(単位：人・％)

学齢 通行目的		幼 児		小 学 生		中 学 生		合 計	
			構成率(%)		構成率(%)		構成率(%)		構成率(%)
通学等	登 校	9	3.7	29	7.2	54	21.7	92	10.3
	学 業 中		0.0		0.0	2	0.8	2	0.2
	下 校	5	2.1	39	9.7	33	13.3	77	8.6
私 用	観 光 ・ 娯 楽 ①	10	4.1	23	5.7	8	3.2	① 41	4.6
	ド ラ イ ブ	3	1.2	5	1.2	4	1.6	12	1.3
	散 歩	2	0.8	22	5.5	4	1.6	28	3.1
	飲 食	4	1.6	5	1.2	1	0.4	10	1.1
	買 物	72	29.6	74	18.5	34	13.7	180	20.2
	訪 問	20	8.2	43	10.7	21	8.4	84	9.4
	帰 省	10	4.1	3	0.7	1	0.4	14	1.6
	遊 戯 (路 上)	7	2.9	25	6.2	1	0.4	33	3.7
	疾 病 徘 徊		0.0		0.0		0.0	0	0.0
	そ の 他 ①	101	41.6	① 133	33.2	86	34.5	① 320	35.8
調 査 不 能			0.0		0.0		0.0	0	0.0
合 計		② 243	100.0	② 401	100.0	249	100.0	② 893	100.0

○は死者で内数

*(注) 通行目的が道路外の人等は除く

(7) 場所別等

(単位：人・％)

ア 道路形状別等

子どもの死傷者のうち 58.6 パーセントが
交差点で事故にあっていてる。

学齢と道路形状でみると、幼児、小・中学生
とも交差点での事故が多い。

特に中学生による自転車乗用中の交差点事故
が 101 件と多くなっている。

形状	区分	歩行者	自転車	その他	合 計
交 差 点		75	196	255	526
	構成率(%)	14.3	37.3	48.5	
単 路		98	64 ②	162 ②	324
	構成率(%)	30.2	19.8	50.0	
駐 車 場 等		19	2	26	47
	構成率(%)	40.4	4.3	55.3	
合 計		192	262 ②	443 ②	897
	構成率(%)	21.4	29.2	49.4	

○は死者で内数

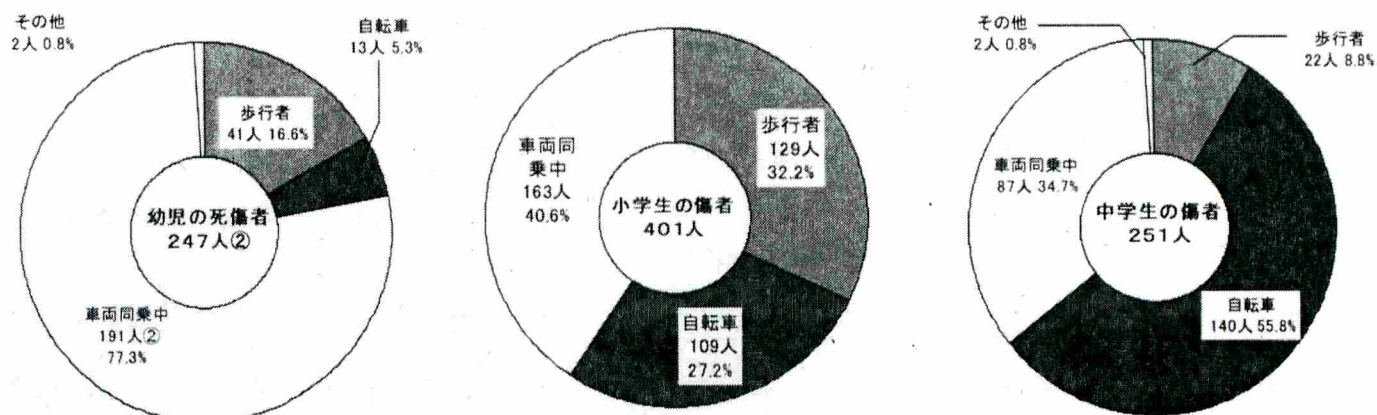
(単位：人)

区分 学 齢	交 差 点				計	単 路				計	駐 車 場 等				計
	歩行者	自転車	その他			歩行者	自転車	その他			歩行者	自転車	その他		
幼 児	8	9	115		132	21	4 ②	69 ②		94	12		7		19
小 学 生	56	86	92		234	67	22	57		146	6	1	14		21
中 学 生	11	101	48		160	10	38	36		84	1	1	5		7
合 計	75	196	255		526	98	64 ②	162 ②		324	19	2	26		47

○は死者で内数

イ 死傷者の割合等

学齢別死傷者の状況をみると、幼児については車両同乗中が圧倒的に多く 77.3 パーセントを占め、小学生、中学生についても 30 パーセントを超えるなど比率が高くなっている。



ウ 自宅からの距離

子どもの死傷者で、歩行者、自転車乗用中の事故発生場所から自宅までの距離をみると、45.9 パーセントにあたる 204 人が自宅から 500 メートル以内で事故に遭っている。(単位:人・%)

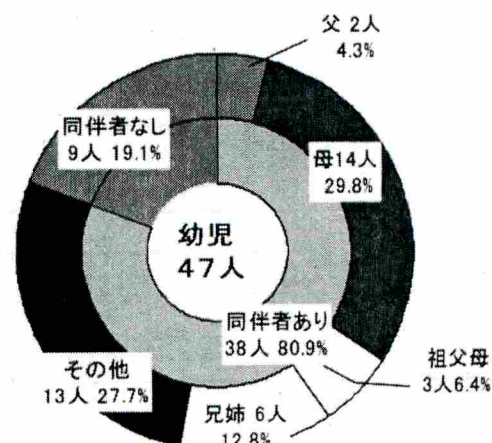
区分 距離	歩行者								自転車								合計	
	幼児		小学生		中学生		小計		幼児		小学生		中学生		小計			
	構成率 (%)		構成率 (%)		構成率 (%)		構成率 (%)		構成率 (%)		構成率 (%)		構成率 (%)		構成率 (%)		構成率 (%)	
50m 以下	16	39.0	22	17.1	1	4.5	39	20.3	2	33.3	14	13.0	5	3.6	21	8.3	60	13.5
100m 以下	3	7.3	10	7.8		0.0	13	6.8	0	0.0	14	13.0	4	2.9	18	7.1	31	7.0
500m 以下	1	2.4	37	28.7	6	27.3	44	22.9	1	16.7	40	37.0	28	20.3	69	27.4	113	25.5
1km 以下	4	9.8	25	19.4	6	27.3	35	18.2	1	16.7	8	7.4	22	15.9	31	12.3	66	14.9
2km 以下	1	2.4	14	10.9	5	22.7	20	10.4	0	0.0	20	18.5	37	26.8	57	22.6	77	17.3
2km 超過	16	39.0	21	16.3	4	18.2	41	21.4	2	33.3	12	11.1	42	30.4	56	22.2	97	21.8
調査不能	0	0.0	0	0.0	0	0.0	0	0.0	0	0.0	0	0.0	0	0.0	0	0.0	0	0.0
合計	41	100.0	129	100.0	22	100.0	192	100.0	6	100.0	108	100.0	138	100.0	252	100.0	444	100.0

*自転車同乗者10名は含まない

エ 幼児の同伴者

幼児が歩行中または自転車乗用中に事故にあった傷者のうち、自転車の同乗者等 7 人を除く 47 人の中で、80.9 パーセントが「同伴者あり」となっている。

同伴者の中で一番多いのは母親、次いで兄姉、祖父母の順となっている。



(8) 事故類型

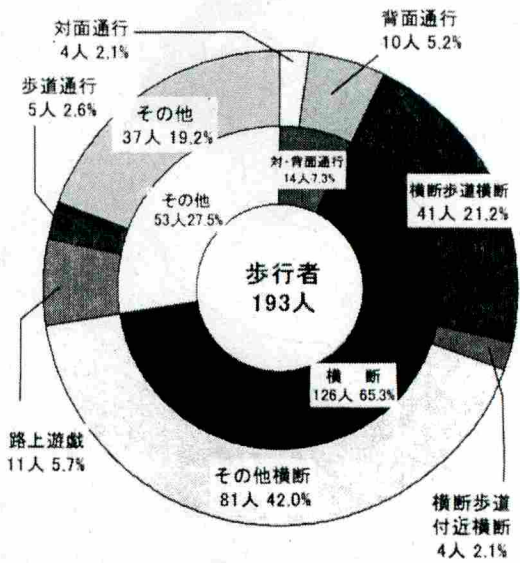
ア 歩行者

状態別では横断中が 126 人と多く歩行者被害の 65.3 パーセントを占め、特に横断歩道以外の場所が 81 人と多く横断中傷者の 64.3 パーセントを占めている。

また、横断中の事故について、学齢と横断歩道信号機の有無で比較すると、信号機のない横断歩道以外の場所での小学生の傷者が目立っている。

(単位：人)

学 齢	横断場所	横 断 歩 道		横断歩道以外	
		信号あり	信号なし	信号あり	信号なし
幼 児		4	2	1	14
小 学 生		13	14	4	58
中 学 生		4	4		8



イ 自転車

事故類型別では、出会い頭事故の傷者が 190 人で、自転車乗用中の 72.5 パーセントを占め最も多く、次いで左折時 20 件、右折時 16 件の順となっている。

また、道路形状別では、交差点での傷者が 196 人と多く、自転車乗用中傷者の 74.8 パーセントを占めている。

(単位：人・%)

事故類型	道路形状等	交 差 点		計	その他	合 計		幼児		小学生		中学生	
		交差点内	交差点付近				構成率(%)	交差点	その他	交差点	その他	交差点	その他
人 対 車 両				0		0	0.0						
車 両 相 互	正 面 衝 突			0	8	8	3.1						8
	追 突		2	2	1	3	1.1			1		1	1
	出 会 い 頭	148	10	158	32	190	72.5	7	3	77	14	74	15
	追 越 ・ 追 抜	1		1	4	5	1.9				2	1	2
	転 回 ・ 後 退 時		1	1	2	3	1.1		1	1	1		
	進路変更・すれ違い時			0	1	1	0.4				1		
	右 折 時	11	2	13	3	16	6.1	1		2	1	10	2
車 両 単 独	左 折 時	17		17	3	20	7.6	1		2		14	3
	そ の 他	3	1	4	7	11	4.2			3	1	1	6
計		180	16	196	61	257	98.1	9	4	86	20	101	37
車 両 単 独				0	5	5	1.9				3		2
列 車				0		0	0.0						
合 計		180	16	196	66	262	100.0	9	4	86	23	101	39

* 自転車同乗者10人を含む

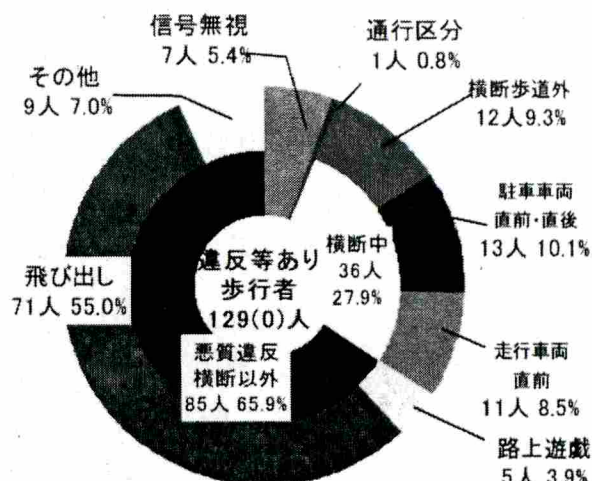
(9) 違反別

ア 歩行者

歩行者の傷者 192 人のうち、何らかの違反が認められた者は 129 人で、子どもの歩行中事故の 67.2 パーセントを占めている。

違反の内容をみると、飛び出しが 71 人と最も多く、違反のあった歩行者の 55.0 パーセントを占めている。

歩 行 者	幼 児	■違反あり ■違反なし	32人 78.0%	9人 22.0%
	小 学 生		89人 69.0%	40人 31.0%
	中 学 生		8人 36.4%	14人 63.6%
	子ども以外		229(34)人 30.0%	535人 70.0%

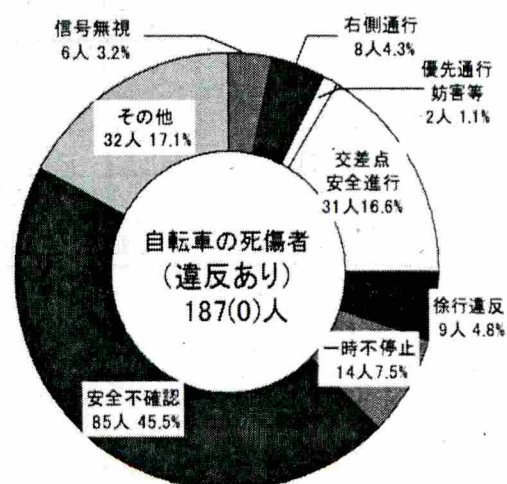


イ 自転車

自転車の傷者 252 人のうち、何らかの違反が認められたのは 187 人で自転車傷者の 74.2 パーセントを占めている。

違反の内容をみると安全不確認が最も多く 85 人で 45.5 パーセントを占めており、次いで差点安全進行義務違反が 31 人と多くなっている。

自 転 車	幼 児	■違反あり ■違反なし	5人 83.3%	1人 16.7%
	小 学 生		88人 81.5%	20人 18.5%
	中 学 生		94人 68.1%	44人 31.9%
	子ども以外		762(7)人 51.5%	717(1)人 48.5%



* 自転車同乗者 10 人を含まない

5 高校生の事故

(1) 高校生の事故

ア 概 況

高校生が第1当事者となった事故は、

発生件数 32 件 (前年比 -21 件 39.6%減)

死者数 1 人 (前年比 1 人 ——)

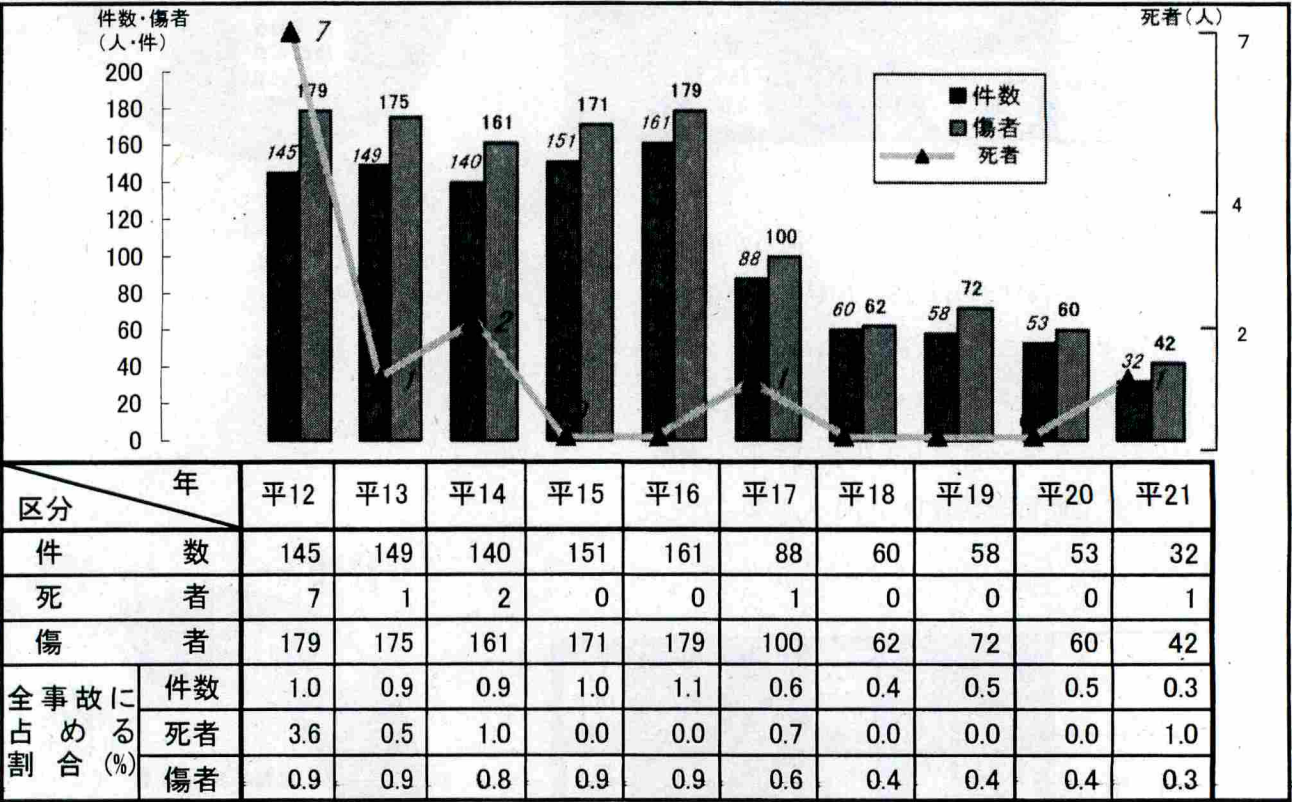
傷者数 42 人 (前年比 -18 人 30.0%減)

で、発生件数、傷者数とも減少し、死者は増加した。

過去 10 年間の推移をみると、発生件数が最も多いのは平成 16 年の 161 件、最も少ないのが平成 21 年の 32 件と 5 分の 1 以下に減少している。

死者は平成 12 年の 7 人が最も多く、平成 18 年からは 3 年連続 0 人が続いていたが、去年は死者 1 人であった。

(単位：件・人・%)

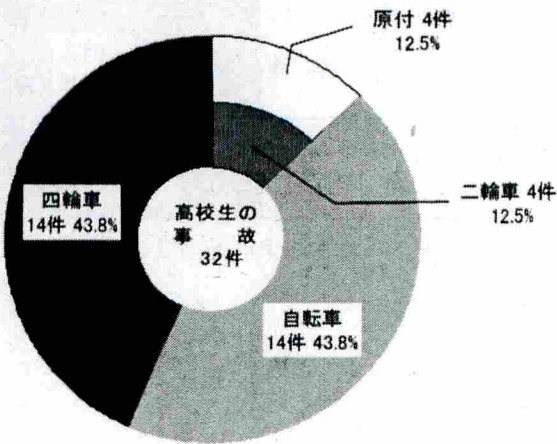


イ 当事車種別

高校生が第1当事者となった事故は、

四輪車と自転車が 14 件で最も多く、次いで、原付の 4 件となっている。

二輪車の中では、原付以外の二輪車事故はなかった。



ウ 違反別

前方不注意による事故が8件と多く、次いで信号無視と交差点安全進行義務違反が4件となっている。

(単位: 件・%)

違反	区分	高校生事故		全事故		違反	区分	高校生事故		全事故	
			構成率 (%)		構成率 (%)				構成率 (%)		構成率 (%)
悪質違反	信号無視	4	12.5	415	3.7	安全運転義務違反	徐行違反		0.0	170	1.5
	最高速度	1	3.1	21	0.2		ハンドル・ブレーキ	1	3.1	775	6.9
	通区・追越	1	3.1	117	1.0		前方不注意	8	25.0	3,130	27.7
	歩行者妨害等		0.0	326	2.9		動静不注視	2	6.3	1,535	13.6
	一時不停止	2	6.3	488	4.3		安全不確認	2	6.3	2,776	24.6
	酒酔い運転	0	0.0	13	0.1		安全速度	1	3.1	184	1.6
計		8	25.0	1,380	12.2	その他			0	88	1
横断禁止等		0	0.0	13	0.1	計		14	43.8	8,488	75.2
右・左折違反		3	9.4	82	0.7	その他		1	3.1	174	1.5
優先通行妨害等		2	6.3	328	2.9	合計		32	100.0	11,287	100.0
交差点安全進行		4	12.5	652	5.8	無免許(内数)			0.0	36	0.3

高校生の事故を全事故と比較すると、悪質違反の割合が全事故より 12.8 ポイント高くなっている。

特に、信号無視が 12.5 パーセントと約 3.4 倍になっている。

違反	悪質違反	安全運転義務違反	その他
高校生による事故	8件 25.0%	14件 43.8%	10件 31.3%
全事故	1,380件 12.2%	8,488件 75.2%	1,419件 12.6%

エ 道路形状別・当事者別

高校生が第1当事者となる事故は自動車と自転車による事故が14件と同数で並んでおり、二つ合わせると 87.5 パーセントを占めている。

場所的特徴では、交差点の事故が 22 件発生し、68.8 パーセントを占めている。

(単位: 件)

当事者	道路形状	交差点		合計	カーブ(内数)	
		付近(内数)	その他		右	左
自動車		10	3	14	2	
二輪車	小型二輪			0		
	軽二輪			0		
	原付二種			0		
	原付	3	1	4		
計		3	0	4	0	0
自転車		9		14		
歩行者				0		
合計		22	3	32	2	0

(2) 高校生の被害

ア 概 況

交通事故で被害にあった高校生は

死者数 1人(前年比 ±0人 —)

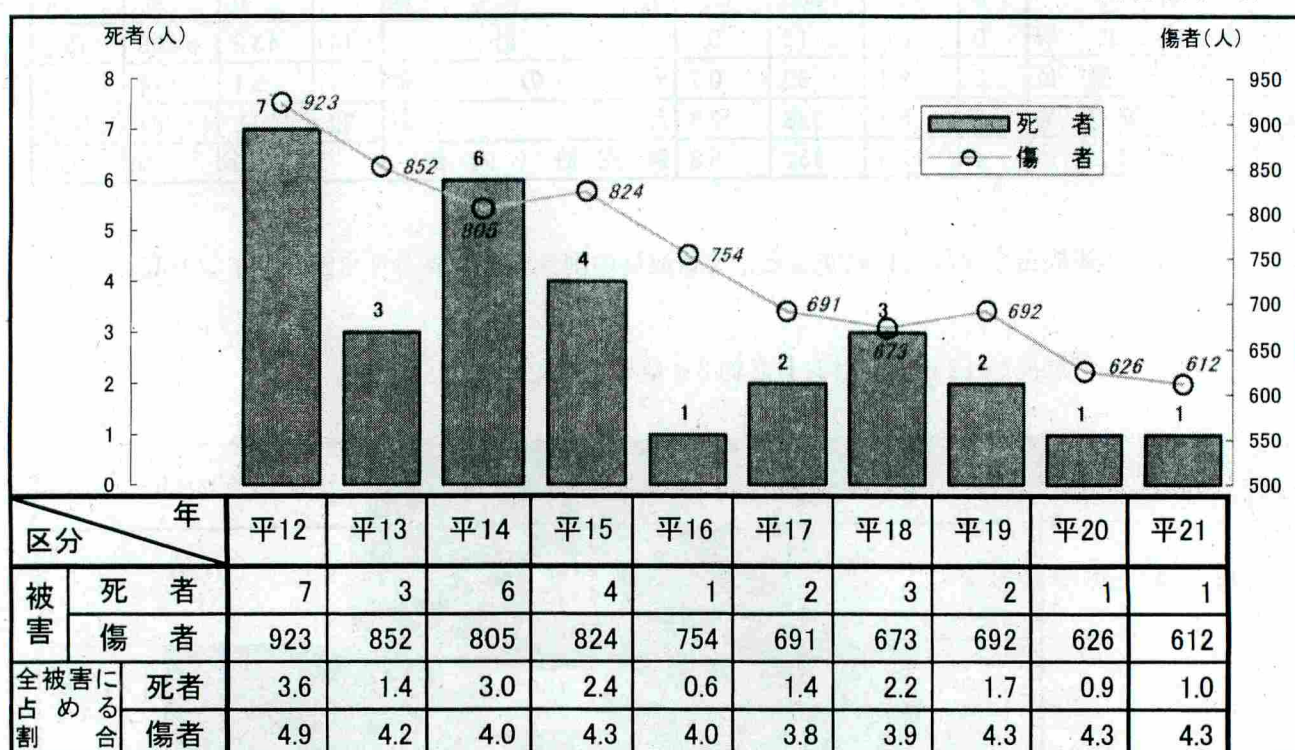
傷者数 612人(前年比 -14人 2.2%減)

で、傷者数は減少したが、死者は前年と同数であった。

過去10年間の推移をみると、死者が最も多いのは平成12年の7人、最も少ないのは平成16、20、21年の各1人となっている。

傷者が最も多いのは平成12年の923人で、最も少ないのは平成21年の612人となっている。

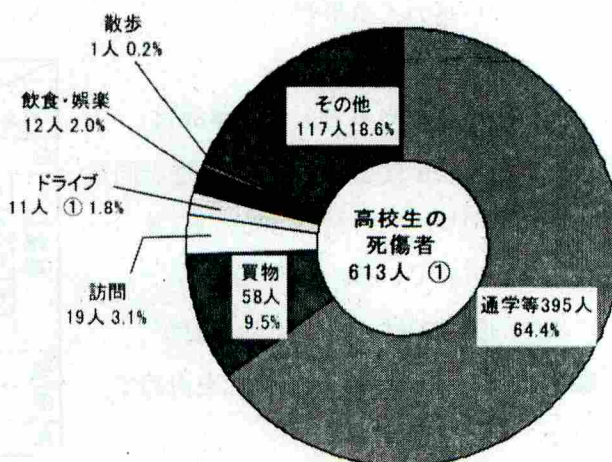
(単位：人・%)



イ 通行目的

通学時に死者はいないものの傷者は395人で高校生死傷者の64.4パーセントを占め最も多い。

次いで買い物の58人となっており、死者はドライブ中の1名となっている。



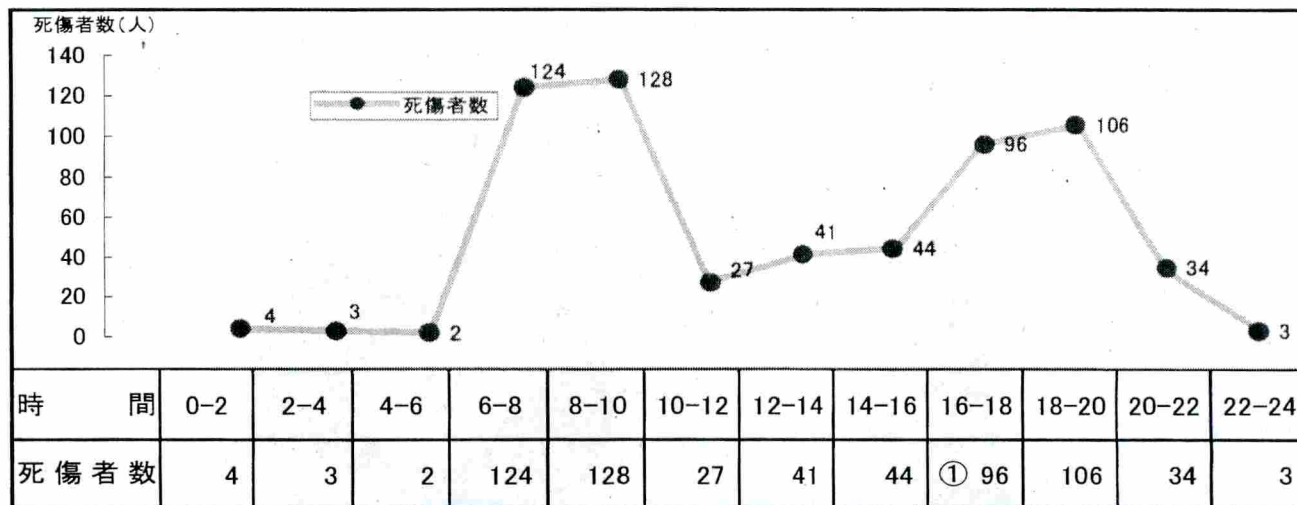
○は死者数で内数

ウ 時間別

傷者数は登・下校時に多く、特に 8～10 時が 128 人、6～8 時が 124 人、18～20 時が 106 人と多く、この時間帯の死傷者は、高校生死傷者の 58.4 パーセントを占めている。

死者は 1 人で 16～18 時の発生となっている。

(単位：人)



(注) ○は死者数で内数

エ 状態別

高校生の死者は 1 人で、自動車運転中の事故である。

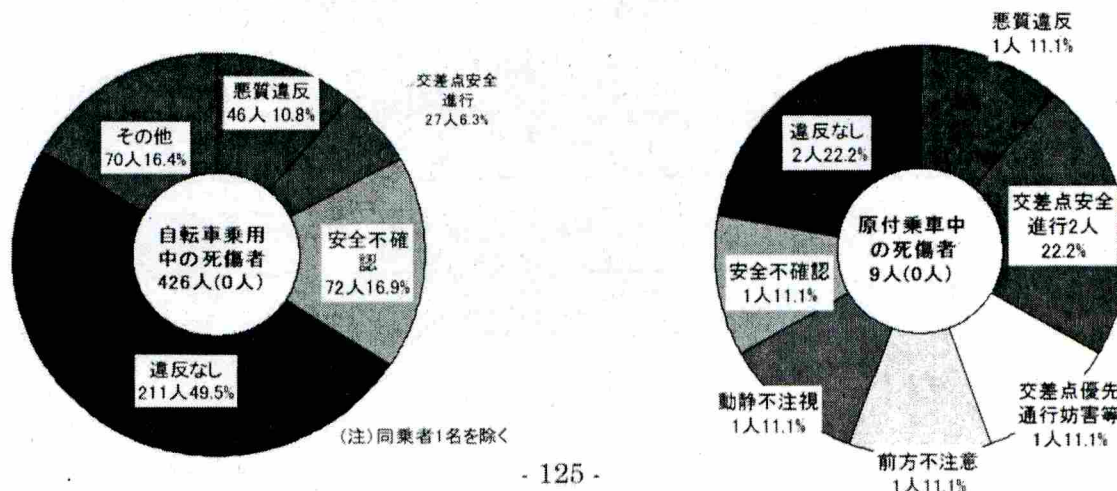
傷者は自転車乗用中が 427 人と最も多く高校生傷者の 69.8 パーセントを占め、次いで自動車同乗中の 132 人(21.6%)、歩行中の 35 人(5.7%)の順となっている。

(単位：人・%)

区分	状 態		自 動 車		自動二輪車		原 付	自 転 車	歩 行 中	そ の 他	合 計
			運 転 中	同 乗 中	運 転 中	同 乗 中	乗 車 中	乗 用 中			
死 者			1								1
構成率(%)			100.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	100.0
傷 者			5	132	2	1	9	427	35	1	612
構成率(%)			0.8	21.6	0.3	0.2	1.5	69.8	5.7	0.2	100.0

傷者の多い自転車、原付の違反状況をみると、自転車約 5 割、原付約 8 割に何らかの違反が認められた。

原付は、交差点安全進行義務違反 2 人、悪質違反 1 人、自転車は安全不確認 72 人、悪質違反 46 人、交差点安全進行義務違反 27 人となっている。

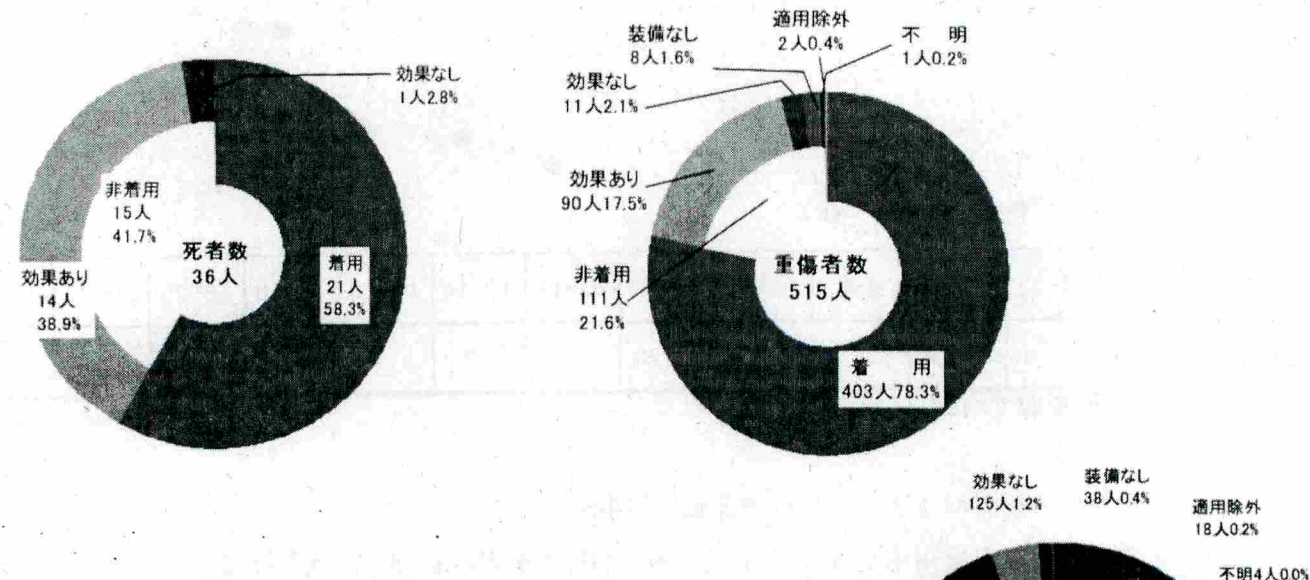


6 自動車のシートベルト着用状況

(1) 死傷者のシートベルト着用状況

死傷者のシートベルト着用状況は、死者の着用率が最も低く、重傷者、軽傷者の順に着用率が高くなっている。

シートベルトの着用率の効果の有無を死者でみると非着用者15人中14人(93.3%)はシートベルトをしていれば救命効果があったものと認められる。



(注) 効果あり……シートベルトを着用していれば、
損傷部位等から怪我の程度が軽くすんだと予想されるもの
効果なし……シートベルトを着用していても、損傷部位等から
怪我の程度に関係なかったと予想されるもの

(2) 座席別着用状況

傷者の着用率は運転席が98.2パーセント、助手席が95.5パーセントであるのに対して、死者の運転席は64.3パーセント、助手席が40.0パーセント、後部座席は33.3パーセントと低くなっている。

死者、傷者とも後部座席の着用率が最も低い。

運転席	死者 28人	着用 18人 64.3%	非着用 10人 35.7%
	傷者 8,236人	着用 8,087 98.2%	非着用 148人 1.8%
不明 1人 0.0%			
助手席	死者 5人	着用 2人 40.0%	非着用 3人 60.0%
	傷者 1,630人	着用 1,556人 95.5%	非着用 73人 4.5%
不明 1人 0.1%			
後部席	死者 3人	着用 1人 33.3%	非着用 2人 66.7%
	傷者 1,061人	着用 591人 55.7%	非着用 467人 44.0%
不明 3人 0.3%			

(3) 年齢別

年齢別に死者の着用率をみると、40歳代が33.3パーセントと最も低く、次いで70歳以上が45.5パーセントと低くなっている。

傷者は40歳代が97.0パーセントと最も高く、20歳未満が76.7パーセントと最も着用率が低い。

(単位：人・%)

年齢	区分	運 転 席			助 手 席			後 部 席			合 計		
		総 数	着用者	着用率	総 数	着用者	着用率	総 数	着用者	着用率	総 数	着用者	着用率
20歳未満	死 者	2	1	50.0				2	1	50.0	4	2	50.0
	傷 者	188	184	97.9	300	273	91.0	380	209	55.0	868	666	76.7
20～24歳	死 者	3	3	100.0	1	0	0.0				4	3	75.0
	傷 者	854	843	98.7	188	180	95.7	85	35	41.2	1,127	1,058	93.9
25～29歳	死 者												
	傷 者	954	932	97.7	155	144	92.9	58	30	51.7	1,167	1,106	94.8
30歳代	死 者	2	2	100.0	1	0	0.0	1	0	0.0	4	2	50.0
	傷 者	1,897	1,873	98.7	232	223	96.1	110	68	61.8	2,239	2,164	96.7
40歳代	死 者	3	1	33.3							3	1	33.3
	傷 者	1,689	1,661	98.3	156	153	98.1	63	37	58.7	1,908	1,851	97.0
50歳代	死 者	3	2	66.7	1	1	100.0				4	3	75.0
	傷 者	1,401	1,371	97.9	211	208	98.6	102	59	57.8	1,714	1,638	95.6
60～64歳	死 者	4	3	75.0							4	3	75.0
	傷 者	515	504	97.9	113	111	98.2	45	32	71.1	673	647	96.1
65～69歳	死 者	2	2	100.0							2	2	100.0
	傷 者	342	336	98.2	93	91	97.8	61	39	63.9	496	466	94.0
70歳以上	死 者	9	4	44.4	2	1	50.0				11	5	45.5
	傷 者	396	383	96.7	182	173	95.1	157	82	52.2	735	638	86.8
合 計	死 者	28	18	64.3	5	2	40.0	3	1	33.3	36	21	58.3
	傷 者	8,236	8,087	98.2	1,630	1,556	95.5	1,061	591	55.7	10,927	10,234	93.7

(4) 時間別

時間別に死者の着用率をみると、6～8時、10～12時、18～20時、22～24時が100.0パーセントと最も高く、14～16時が20.0パーセントと最も低い。

傷者は6～8時が96.0パーセントと最も高く、2～4時が62.4パーセントと最も低い。

(単位：人・%)

時間	区分	運 転 席			助 手 席			後 部 席			合 計		
		総 数	着用者	着用率	総 数	着用者	着用率	総 数	着用者	着用率	総 数	着用者	着用率
0～2	死 者	3	1	33.3							3	1	33.3
	傷 者	91	86	94.5	29	25	86.2	14	4	28.6	134	115	85.8
2～4	死 者												
	傷 者	51	44	86.3	24	15	62.5	26	4	15.4	101	63	62.4
4～6	死 者	3	2	66.7							3	2	66.7
	傷 者	71	65	91.5	21	17	81.0	9	3	33.3	101	85	84.2
6～8	死 者	2	2	100.0							2	2	100.0
	傷 者	941	931	98.9	112	108	96.4	68	37	54.4	1,121	1,076	96.0
8～10	死 者	3	2	66.7	1	1	100.0	2		0.0	6	3	50.0
	傷 者	1,191	1,167	98.0	172	167	97.1	115	68	59.1	1,478	1,402	94.9
10～12	死 者	4	4	100.0							4	4	100.0
	傷 者	1,090	1,073	98.4	258	255	98.8	183	107	58.5	1,531	1,435	93.7
12～14	死 者	2	1	50.0	1		0.0				3	1	33.3
	傷 者	943	933	98.9	224	217	96.9	141	72	51.1	1,308	1,222	93.4
14～16	死 者	4		0.0	1	1	100.0				5	1	20.0
	傷 者	991	975	98.4	219	208	95.0	175	110	62.9	1,385	1,293	93.4
16～18	死 者	2	1	50.0	1		0.0	1	1	100.0	4	2	50.0
	傷 者	1,289	1,271	98.6	256	245	95.7	160	96	60.0	1,705	1,612	94.5
18～20	死 者	2	2	100.0							2	2	100.0
	傷 者	1,000	979	97.9	183	174	95.1	108	55	50.9	1,291	1,208	93.6
20～22	死 者	1	1	100.0	1		0.0				2	1	50.0
	傷 者	349	341	97.7	86	84	97.7	38	24	63.2	473	449	94.9
22～24	死 者	2	2								2	2	100.0
	傷 者	229	222	96.9	46	41	89.1	24	11	45.8	299	274	91.6
合 計	死 者	28	18	64.3	5	2	40.0	3	1	33.3	36	21	58.3
	傷 者	8,236	8,087	98.2	1,630	1,556	95.5	1,061	591	55.7	10,927	10,234	93.7

(5) 6歳未満のシートベルト・チャイルドシート着用状況

四輪乗車中に死傷した6歳未満の幼児は

死者数 2人（前年比 2人 ————）

傷者数 188人（前年比 25人 15.3%増）

で、死者数、傷者数とも増加した。

乗車位置別死傷者数は、助手席が69人（うち死亡0人）、後部座席が121人（うち死亡2人）となっている。

助手席

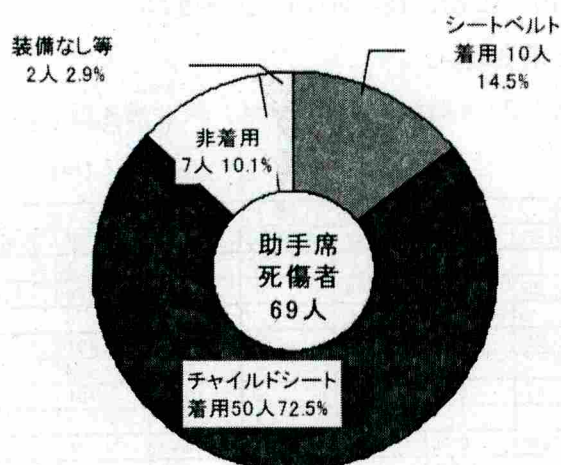
（単位：人）

助手席死傷者 着用の有無等		死傷者数	内死亡	内重傷
着用	シートベルト	10		
	チャイルドシート	50		
	計	60	0	0
非着用	効果あり	4		1
	効果なし	3		
	計	7	0	1
装備なし等		2		
合 計		69	0	1

後部座席

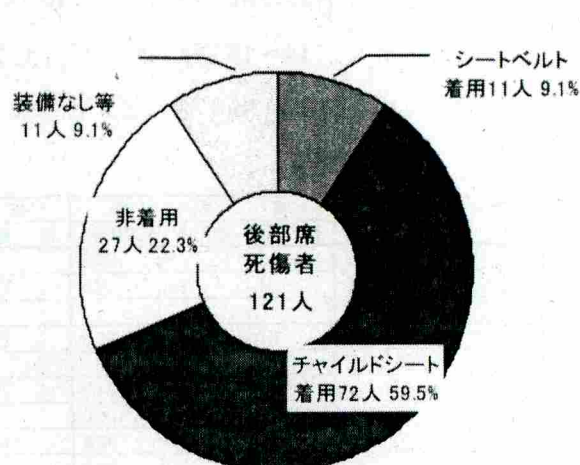
（単位：人）

後部座席死傷者 着用の有無等		死傷者数	内死亡	内重傷
着用	シートベルト	11		
	チャイルドシート	72	1	
	計	83	1	0
非着用	効果あり	23	1	1
	効果なし	4		1
	計	27	1	2
装備なし等		11		
合 計		121	2	2



非着用のうち	
効果あり	4人
効果なし	3人

助手席乗車中のうち	
死 亡	0人
重 傷	1人



非着用のうち	
効果あり	23人
効果なし	4人

後部座席乗車中のうち	
死 亡	2人
重 傷	2人

7 青年運転者の事故

(1) 概 況

青年運転者（25歳未満の運転者）が第1当事者となった事故は、

発生件数 1,945 件（前年比 -63 件 3.1%減）

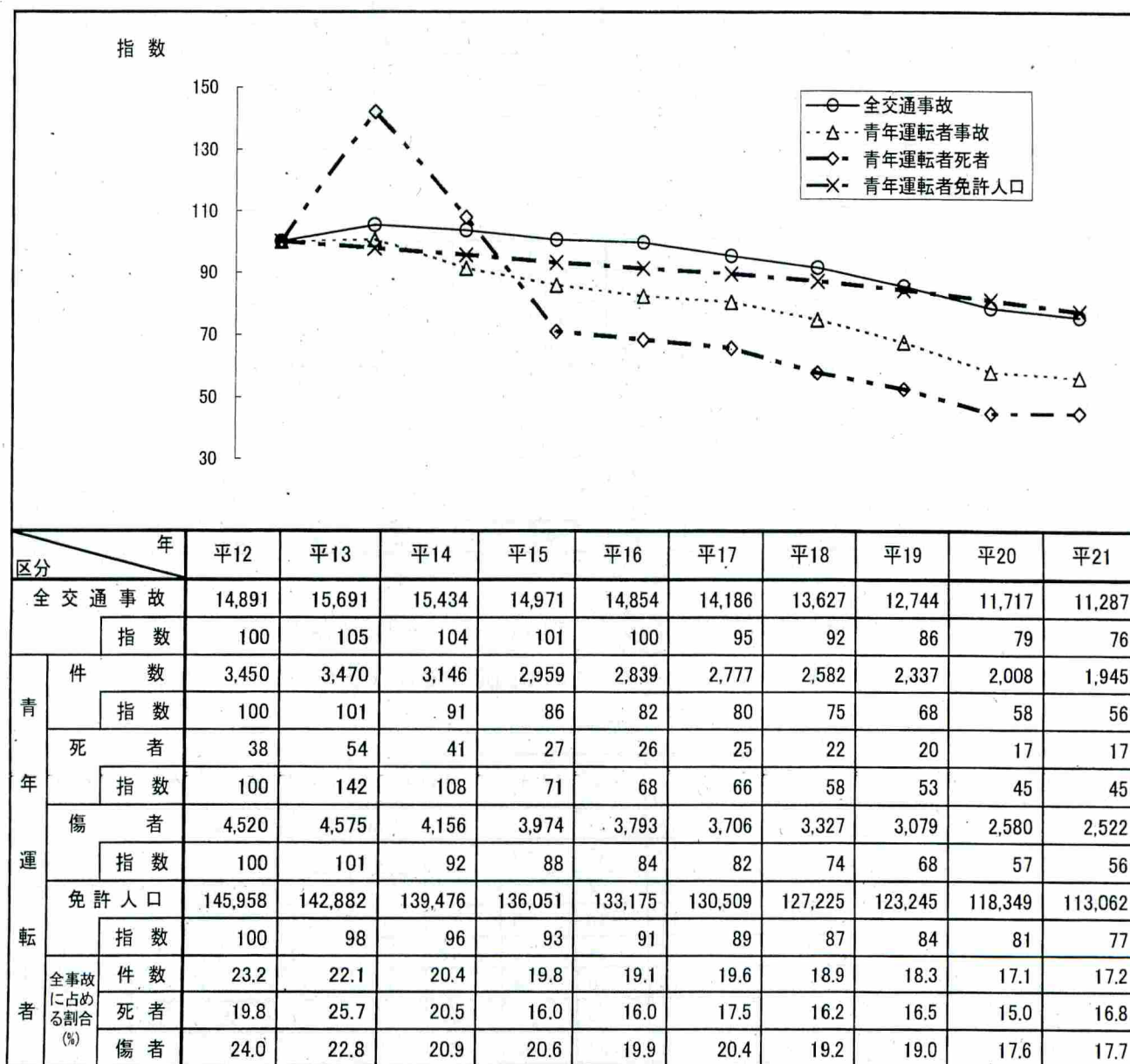
死者数 17 人（前年比 ±0 人 ±0% ）

傷者数 2,522 人（前年比 -58 人 2.2%減）

で、発生件数、傷者数は減少したものの、死者数は同数であった。

全事故に占める割合は、件数が 17.2 パーセント、死者 16.8 パーセント、傷者 17.7 パーセントとなっている。

(単位：件・人・%)



(2) 車種別・違反別

車種別では、普通乗用車が959件で最も多く、青年運転者の49.3パーセントを占めている。

違反別では、前方不注意が699件で最も多く35.9パーセントを占めている。

悪質違反による事故は189件で青年運転者の9.7パーセントを占め、うち一時不停止が64件と最も多く、次いで信号無視62件、通行区分・追い越し27件の順となっている。(単位：件)

車種 違反		自 動 車							二 輪 車				合計
		大乗等	普 乗	軽 乗	大貨等	普 貨	軽 貨	特 殊	小 二	軽 二	原 二	原 付	
悪 質 違 反	信 号 無 視		33	25	1	1	2						62
	最 高 速 度		6	4									10
	通 区 ・ 追 越		10	14	1	1				1			27
	歩 行 者 妨 害 等		13	10		1	1						25
	一 時 不 停 止		38	19		1	3		1	1		1	64
	酒 酔 い 運 転			1									1
計		0	100	73	2	4	6	0	1	2	0	1	189
横 断 禁 止 等			1										1
右 折 違 反			7	1		1						1	10
左 折 違 反			1				1						2
優 先 通 行 妨 害 等			30	26	1		2					1	60
交 差 点 安 全 進 行			32	34		3	3					3	75
徐 行 違 反			14	10		1	1					1	27
過 労 運 転			3	5									8
安 全 運 転 義 務 違 反	ハンドル・ブレーキ		69	55	1	4	7	1	7	4	1	3	152
	前 方 不 注 意		334	290	9	20	28		5	6		7	699
	動 静 不 注 視		147	127	6	9	11		1	2		3	306
	安 全 不 確 認		182	132	6	9	11		1			1	342
	安 全 速 度		23	18		1			1	1			44
	そ の 他		10	6		1	1		1				19
計		0	765	628	22	44	58	1	16	13	1	14	1,562
そ の 他			6	2		1				1		1	11
合 計		0	959	779	25	54	71	1	17	16	1	22	1,945

(3) 時間別・道路別

時間別では、16～18時が322件と最も多く、次いで18～20時の318件となっている。

道路別では、市町村道が721件と最も多く、次いで国道の661件となっており、国道と市町村道を合わせると、青年運転者事故の71.1パーセントを占めている。(単位：件)

区分	時間	0-2	2-4	4-6	6-8	8-10	10-12	12-14	14-16	16-18	18-20	20-22	22-24	合計
国道	4号	5	2	4	12	14	27	12	22	30	37	15	10	190
	6号	1	1	1	17	19	17	17	7	24	38	11	5	158
	13号				4	2	1	5	4	7	3	3	3	32
	49号	1	1	2	13	11	10	5	6	17	16	6	4	92
	三桁	5	1	1	22	24	14	15	18	27	31	17	14	189
	計	12	5	8	68	70	69	54	57	105	125	52	36	661
県道		13	8	7	77	66	29	31	52	74	67	29	25	478
市町村道		13	8	6	90	74	63	63	83	129	115	46	31	721
高速道						1	1			1	4	1	1	9
その他		1			8	5	8	10	14	13	7	6	4	76
合計		39	21	21	243	216	170	158	206	322	318	134	97	1,945

(4) 事故類型別

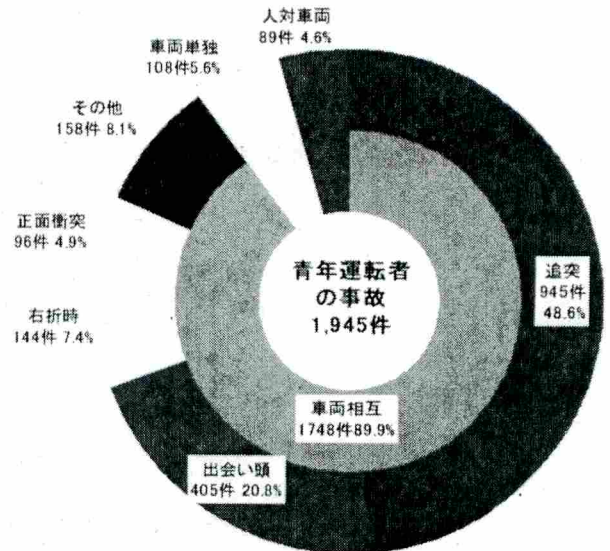
車両相互が 1,748 件で青年運転者事故の 89.9 パーセントを占めている。

特に

追 突： 945 件 (48.6%)

出会い頭： 405 件 (20.4%)

が多く、両事故類型を合わせると 1,350 件で車両相互の 69.4 パーセントを占めている。

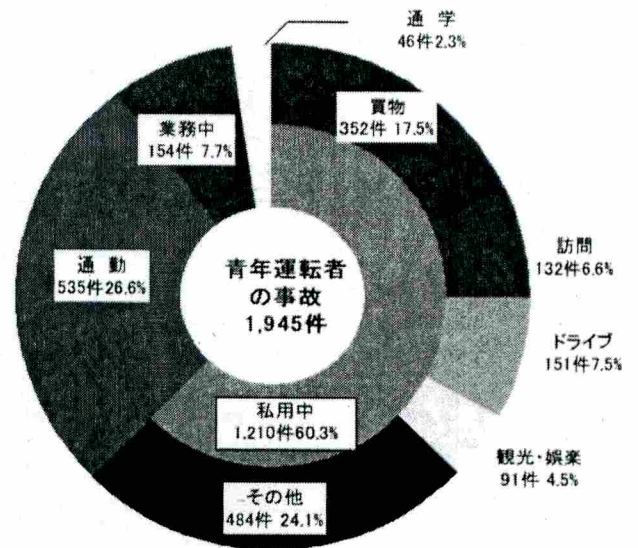


(5) 通行目的別

私用中が 1,210 件で青年運転者事故の 62.2 パーセントを占めている。

特に、買物、訪問、ドライブの事故が多くなっており、635 件で私用中事故の 52.5 パーセントを占めている。

また、通勤時の事故も 535 件発生しており、青年運転者事故の 26.6 パーセントを占めている。



(6) 車種別・速度別 (事故直前速度)

事故直前の速度をみると、50 キロメートル以下が 1,730 件で最も多く、青年運転者事故の 88.9 パーセントを占めている。

車種別でみると、普通乗用車の速度が他の車種に比べ速くなっている。

(単位：件)

車種 速度	自動車										二輪車				合 計
	大 乗	中 乗	普 乗	軽 乗	大 貨	中 貨	普 貨	軽 貨	特 殊	小 二	軽 二	原 二	原 付		
停 止 中			3											3	
50 k m /h 以下			842	708	5	15	47	67	1	9	13	1	22	1,730	
60 k m /h 以下			75	56	1	3	6	2		6	1			150	
70 k m /h 以下			18	9			1	2		1	1			32	
80 k m /h 以下			12	3						1				16	
90 k m /h 以下			3	1										4	
100 k m /h 以下			4	1							1			6	
101 k m /h 以上			2	1		1								4	
調 査 不 能														0	
合 計	0	0	959	779	6	19	54	71	1	17	16	1	22	1,945	

(7) 人的原因別

発見の遅れが1,346件と多く、青年運転者による事故の69.2パーセントを占めている。

中でも外在的要因（脇見等）が556件で発見の遅れ全体の41.3パーセントを占めている。

交通事故の人的原因(第1当) (単位:件・人)			
合 計	件数	死者	1,945
	傷	者	17
	傷	者	2,522
発見の遅れ 計	件数	死者	1,346
	傷	者	8
	傷	者	1,754
前方不注意 計	件数	死者	791
	傷	者	8
	傷	者	1,078
内在的(漫然等) 計	件数	死者	235
	傷	者	3
	傷	者	325
居眠り運転	件数	死者	16
	傷	者	30
ラジオ・ステレオを聴いていた	件数	死者	2
	傷	者	1
雑談や携帯電話等で話していた	件数	死者	5
	傷	者	7
その他、考え事等の漫然運転	件数	死者	9
	傷	者	210
	傷	者	2
	傷	者	281
外在的(脇見等) 計	件数	死者	556
	傷	者	5
	傷	者	753
物を落とした、物を取ろうとした	件数	死者	102
	傷	者	139
同乗者、同乗の動物等に脇見	件数	死者	42
	傷	者	1
	傷	者	64
カセットテープ、携帯電話等を操作していた	件数	死者	31
	傷	者	40
テレビ、ナビゲーション装置を見ていた、操作していた	件数	死者	10
	傷	者	12
雑誌、地図帳等を見ていた	件数	死者	4
	傷	者	5
道、案内標識等を探して脇見	件数	死者	17
	傷	者	27
風景、地物等に脇見	件数	死者	139
	傷	者	1
	傷	者	181
他の車、歩行者に脇見	件数	死者	66
	傷	者	94
バックミラーやドアミラーを見ていた	件数	死者	15
	傷	者	22
その他脇見	件数	死者	130
	傷	者	3
	傷	者	169
安全不確認 計	件数	死者	555
	傷	者	0
	傷	者	676
安全確認をしなかった	件数	死者	276
	傷	者	339
安全確認が不十分だった	件数	死者	279
	傷	者	337

交通事故の人的原因(第1当) (単位:件・人)			
判断の誤り等 計	件数	死者	425
	傷	者	3
	傷	者	555
動静不注視 計	件数	死者	326
	傷	者	1
	傷	者	405
相手が譲ってくれると思って注視を怠った	件数	死者	17
	傷	者	1
	傷	者	17
他の危険を避けようとして注視を怠った	件数	死者	4
	傷	者	6
その他特に具体的危険性がないとして注視を怠った	件数	死者	305
	傷	者	382
予測不適 計	件数	死者	49
	傷	者	1
	傷	者	71
運転感覚(速度、車幅、距離等)を誤った	件数	死者	29
	傷	者	1
	傷	者	44
相手がルールを守ると思った	件数	死者	
	傷	者	
相手が譲ってくれる、停止してくれると思った	件数	死者	5
	傷	者	6
他の事故(危険)を避けようと思った	件数	死者	1
	傷	者	1
その他相手の行動予見等の判断を誤った	件数	死者	14
	傷	者	20
交通環境 計	件数	死者	50
	傷	者	1
	傷	者	79
道路形状、道路線形に対する認識を誤った	件数	死者	13
	傷	者	17
道路環境(路面凍結や霧など)に対する認識を誤った	件数	死者	26
	傷	者	41
交通規制に対する認識を誤った	件数	死者	3
	傷	者	6
交通安全施設に対する認識を誤った	件数	死者	1
	傷	者	1
障害物等に対する認識を誤った	件数	死者	1
	傷	者	2
その他の交通環境に対する認識を誤った	件数	死者	6
	傷	者	12
操作上の誤り(操作不適) 計	件数	死者	174
	傷	者	6
	傷	者	213
ブレーキとアクセルの踏み違い	件数	死者	29
	傷	者	1
	傷	者	36
ブレーキの踏みが弱い、踏み遅れ	件数	死者	57
	傷	者	71
急ブレーキをかけた	件数	死者	19
	傷	者	23
エンジン・ブレーキを使用しなかった	件数	死者	1
	傷	者	1
ハンドルの操作不適	件数	死者	39
	傷	者	5
	傷	者	47
ギヤの入れ違い	件数	死者	
	傷	者	
ブレーキをかけながらハンドル操作	件数	死者	4
	傷	者	4
オートスピードコントロール装置等の操作不適	件数	死者	1
	傷	者	1
その他の操作不適	件数	死者	24
	傷	者	30
調 査 不 能	件数	死者	
	傷	者	

8 高齢者の事故（65 歳以上）

（1）高齢運転者による事故

ア 概 況

高齢運転者（65 歳以上の運転者）が第 1 当事者となった事故は、

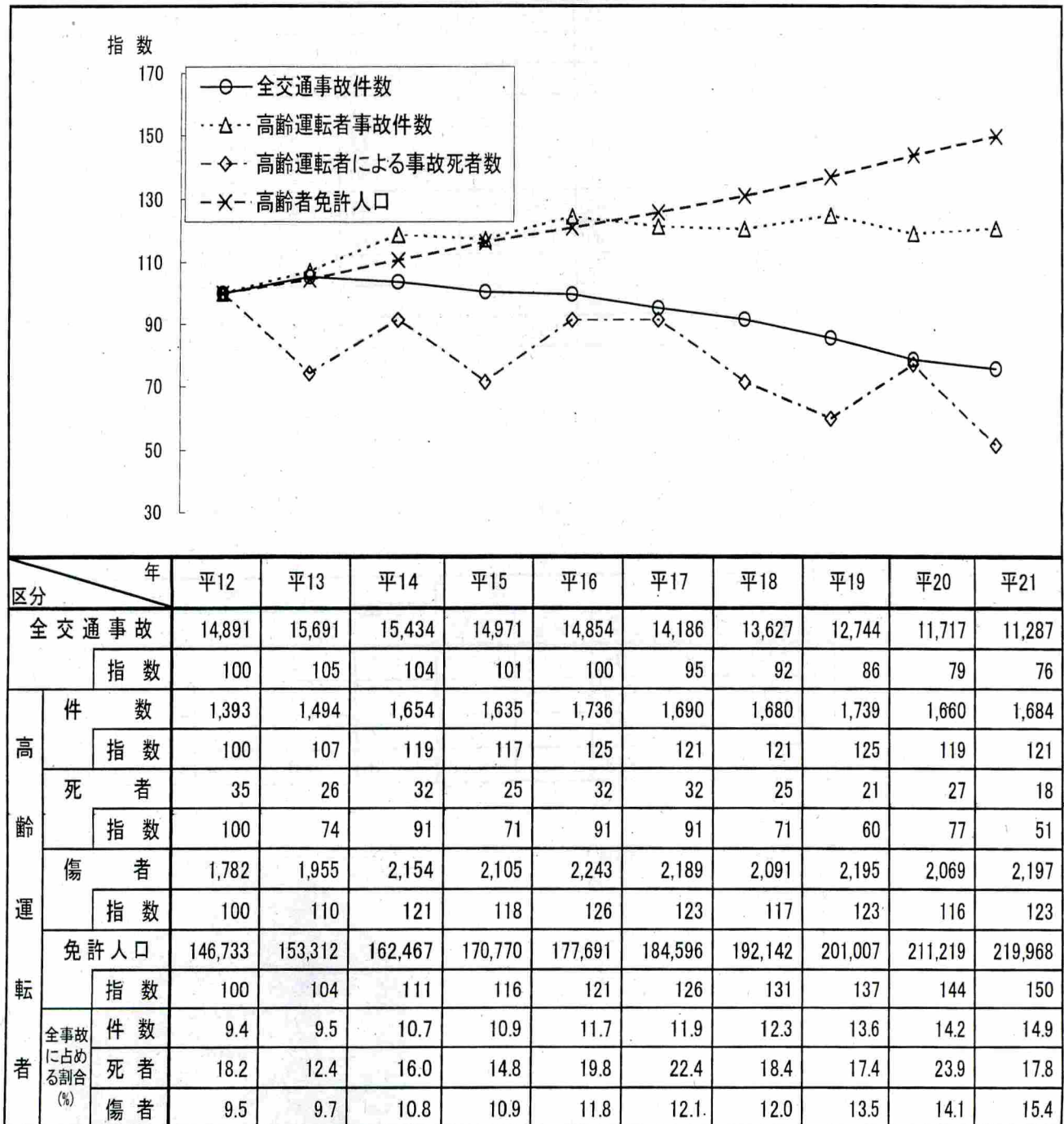
発生件数 1,684 件（前年比 24 件 1.4%増）

死者数 18 人（前年比 -9 人 33.3%減）

傷者数 2,197 人（前年比 128 人 6.2%増）

で、死者数は 9 人減少したものの、発生件数、傷者数は増加した。

（単位：件・人・%）



イ 時間別・道路別

時間別では10～12時が352件と最も多く、次いで14～16時の284件、8～10時の276件の順となっている。

8時～18時までの発生は1,404件と高齢運転者事故の83.4パーセントを占めている。

また、路線別では県道、市町村道のいわゆる生活道路で多発し、1,147件と高齢運転者事故の68.1パーセントを占めている。

(単位：件)

区分	時間	0-2	2-4	4-6	6-8	8-10	10-12	12-14	14-16	16-18	18-20	20-22	22-24	合計	昼間	夜間
国道	4号		1	2	6	9	17	18	8	11	12	1	2	87	68	19
	6号				7	13	19	10	9	18	9	1	1	87	68	19
	13号				3	4	6	2	5	6	4			30	23	7
	49号				6	7	12	5	6	5	7	1		49	39	10
	三桁計			1	13	30	32	25	39	18	11		1	170	152	18
道計		0	1	3	35	63	86	60	67	58	43	3	4	423	350	73
生活道路	県道		1	5	22	62	83	57	71	59	30	2	1	393	334	59
	市町村道	2	3	2	48	135	146	116	130	111	45	11	5	754	673	81
	生活道路計	2	4	7	70	197	229	173	201	170	75	13	6	1,147	1,007	140
	高速道		1	1	1	2	3		1	1		1		11	8	3
	その他	1			4	14	34	19	15	11	4	1		103	97	6
合計		3	6	11	110	276	352	252	284	240	122	18	10	1,684	1,462	222

ウ 車種別

車種別では普通乗用車が846件で、高齢運転者事故の50.2パーセントを占め、次いで軽貨物の353件、軽乗用車の341件と続いている。

また、二輪車による事故は82件で高齢運転者事故の4.9パーセントを占め、全運転者事故における二輪車事故の占める割合である2.3パーセントを大きく上回っている。

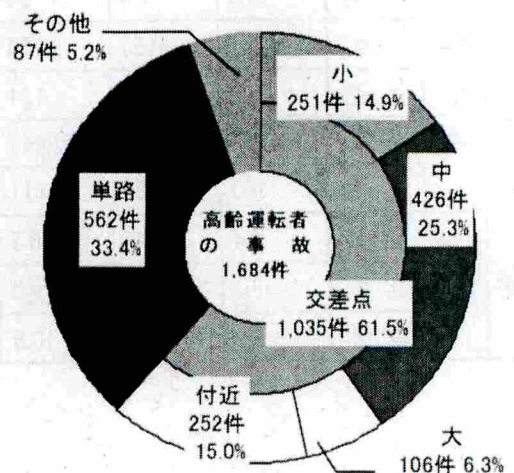
(単位：件)

年齢	車種	四輪車						特殊車	二輪車			合計
		普乗	普貨	軽乗	軽貨	中型	大型		自二	原二	原付	
65～69歳		304	24	108	105	2	3	1	2	1	15	565
70歳代		428	23	186	193	2		1	1		32	866
80歳以上		114	5	47	55			1		8	23	253
合計		846	52	341	353	4	3	3	3	9	70	1,684

エ 道路形状別

交差点での事故は1,035件で、高齢運転者事故の61.5パーセントを占めている。

特に中・小交差点での発生が多く、交差点事故全体の65.4パーセントを占めている。



オ 違反別

安全不確認による事故が 459 件と最も多く、高齢運転者事故の 27.3 パーセントを占め、次いで前方不注意 364 件の順となっている。

悪質違反は 278 件で高齢運転者事故の 16.5 パーセントを占め、うち一時不停止が 114 件と最も多く、次いで信号無視 90 件の順となっている。

高齢運転者の悪質違反による事故の占める割合は、全運転者の占める割合 12.2 パーセントと比較すると 4.3 ポイント上回るなど悪質運転による事故の占める割合が非常に高い。

(単位：件・%)

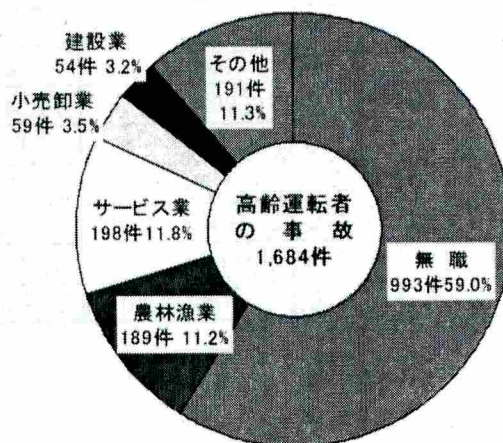
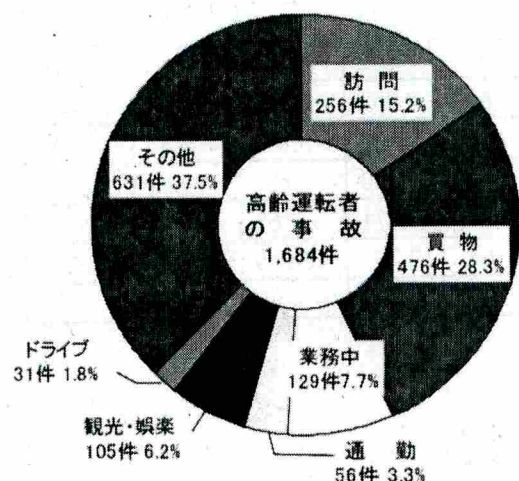
違反 区分	悪 質 違 反						横 断 禁 止 等	右 折	左 折	優 先 通 行 妨 害 等	交 差 点 安 全 進 行	徐 行 違 反	安 全 運 転 義 務 違 反					そ の 他	合 計			
	信 号 無 視	最 高 速 度	通 区 ・ 追 越	歩 行 者 妨 害 等	一 時 不 停 止	酒 酔 い 運 転							計	ハ ン ド ル ・ ブ レ ー キ	前 方 不 注 意	動 静 不 注 視	安 全 不 確 認			安 全 速 度	そ の 他	
件 数	90	0	17	56	114	1	278	3	11	1	74	124	16	150	364	146	459	18	31	1,168	9	1,684
構成率(%)	5.3	0.0	1.0	3.3	6.8	0.1	16.5	0.2	0.7	0.1	4.4	7.4	1.0	8.9	21.6	8.7	27.3	1.1	1.8	69.4	0.5	100.0

カ 通行目的別

買物が 476 件と多く、高齢運転者事故の 28.3 パーセントを占めている。

キ 職業別

無職が 993 件と最も多く、高齢運転者の 59.0 パーセントを占めている。



ク 免許人口に占める事故率（年齢別交通事故発生状況）

(免許人口は平成 21 年 12 月末現在)

(単位：人・件・%)

区分	年齢	25歳未満	25～64歳	65歳以上	合 計
免 許 人 口		113,062	988,158	219,968	1,321,188
	構成率(%)	8.6	74.8	16.6	100
件 数		1,945	7,658	1,684	11,287
	構成率(%)	17.2	67.8	14.9	100
死 者		17	66	18	101
	構成率(%)	16.8	65.3	17.8	100
傷 者		2,522	9,523	2,197	14,242
	構成率(%)	17.7	66.9	15.4	100

(2) 高齢者の死傷者

ア 概 況

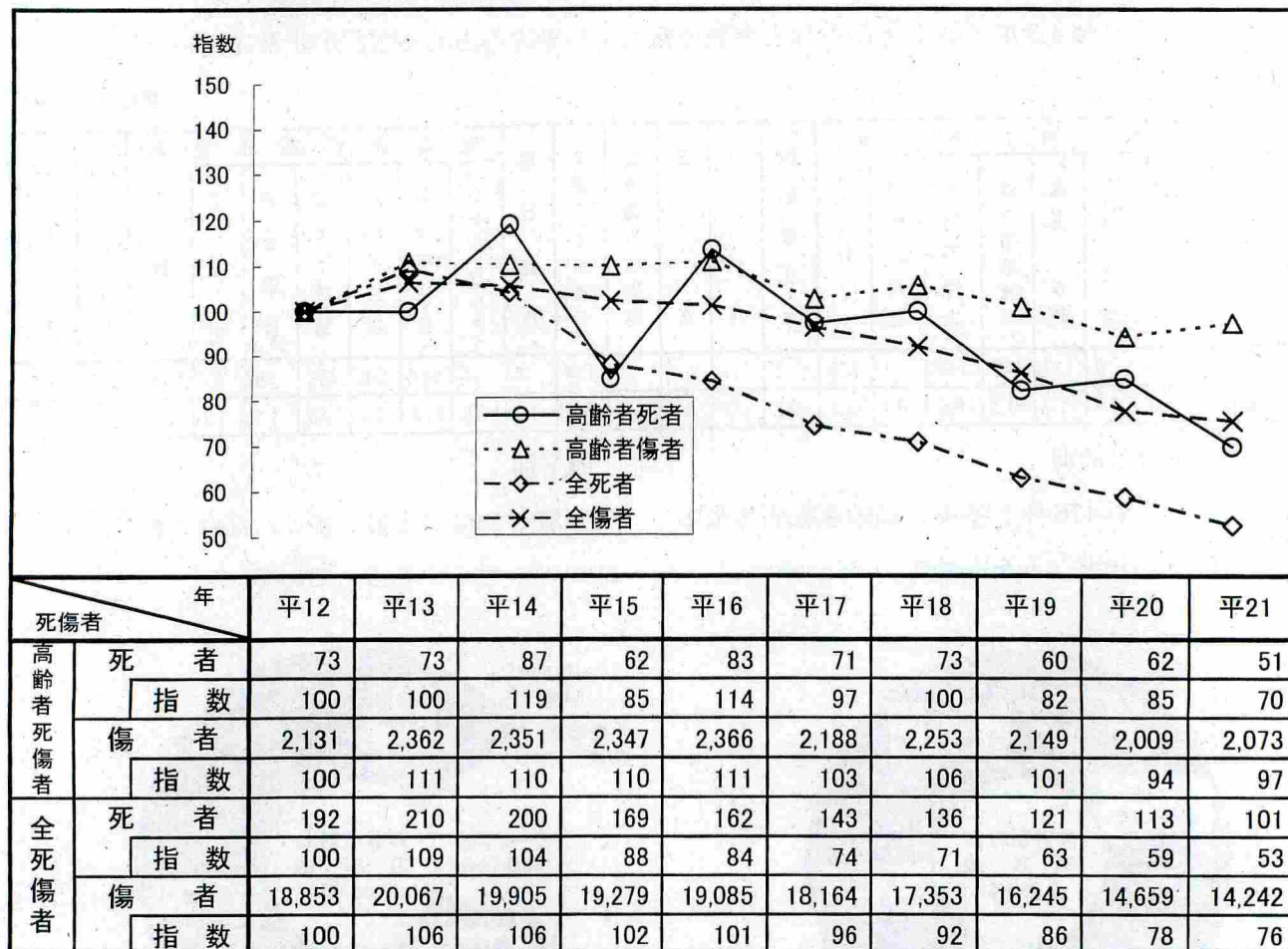
交通事故で死傷した高齢者は、

死者数 51 人（前年比 -11 人 17.7%減）

傷者数 2,073 人（前年比 64 人 3.2%増）

で、死者数は減少し、傷者数は増加した。

（単位：人）



イ 道路別

生活道路での死傷者が多く、死者は35名で高齢者死者の68.6パーセント、傷者は1,380人で高齢者傷者の66.6パーセントを占めている。

（単位：人・％）

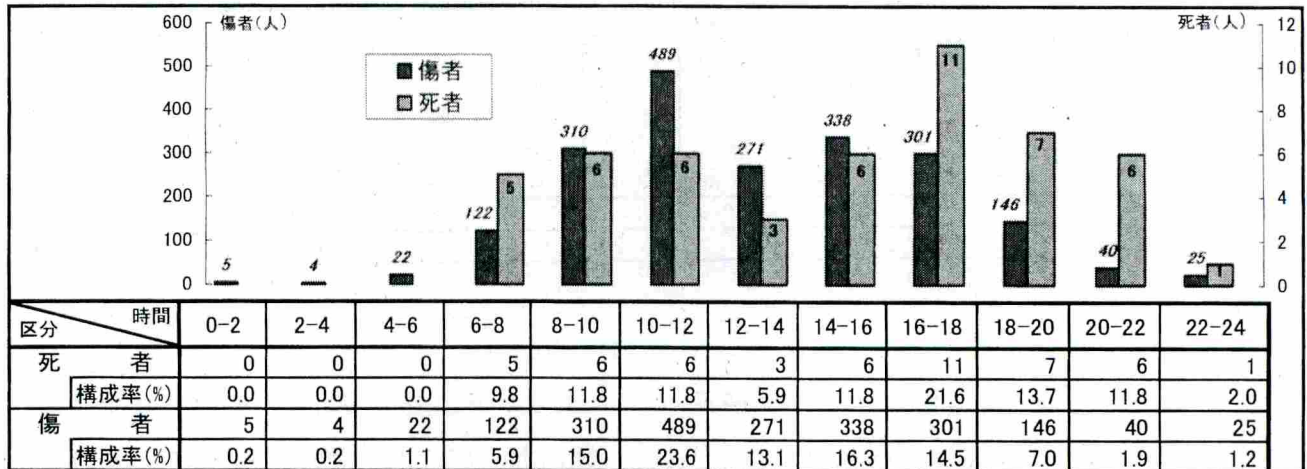
区分	道路	国 道					計	生活道路			計	高 速	その他	合 計
		4 号	6 号	13 号	49 号	三 桁		県 道	市町村道					
死 者		4	1	0	3	6	14	15	20	35			2	51
	構成率(%)	7.8	2.0	0.0	5.9	11.8	27.5	29.4	39.2	68.6	0.0		3.9	100.0
傷 者		85	101	34	68	234	522	502	878	1,380	40		131	2,073
	構成率(%)	4.1	4.9	1.6	3.3	11.3	25.2	24.2	42.4	66.6	1.9		6.3	100.0

ウ 時間別

死者は16～18時の11人が最も多く、高齢者死者の21.6パーセントを占め、次いで18～20時の7人、8～10時、10～12時、14～16時、20～22時の6人の順となっている。

傷者は10～12時の489人が最も多く、高齢者傷者の23.6パーセントを占め、次いで14～16時の338人の順となっている。

(単位：人・％)



エ 年齢別・状態別

死者は歩行者が最も多く、25人と高齢死者の49.0パーセントを占め、次いで四輪運転11人、自転車乗中の7人の順となっている。

傷者は四輪運転が最も多く、次いで四輪同乗の順となっている。

(単位：人)

状態	65～69歳		70歳代		80歳以上		合 計	
	死 者	傷 者	死 者	傷 者	死 者	傷 者	死 者	傷 者
歩 行 者	4	73	11	131	10	93	25	297
自 転 車	1	97	4	174	2	78	7	349
原 付	1	36	4	87	1	46	6	169
自 二		5		6		11	0	22
四 輪 運 転	2	342	5	322	4	74	11	738
四 輪 同 乗		154	1	231	1	108	2	493
そ の 他				4		1	0	5
合 計	8	707	25	955	18	411	51	2,073

オ 違反別

(7) 歩行者

死者のうち何らかの違反があったのは22人で88.0パーセントを占め、特に横断に関する違反が20人と最も多い。

傷者のうち何らかの違反があったのは91人で30.6パーセントを占め、死者と同じく横断に関する違反が多くなっている。

(単位：人)

違反 区分	違 反 あ り								違 反 な し	合 計	
	信号無視	左側通行	横 断					酩酊・徘徊			その他
			横歩道断外	斜め	駐車 停車両	走行 車両	横止 断場 禁所				
死 者		2	3	1	1	15			3	25	
傷 者	6	16	33	3		20			13	297	

(f) 自転車

死者の主な違反については、安全不確認が最も多く 3 人となっており、次に右側通行、優先通行妨害、交差点安全進行、酒酔いがそれぞれ 1 件となっている。

傷者のうち、何らかの違反があったのは 153 人で 43.8 パーセントを占め、安全不確認が 54 人と最も多い。

(単位：人)

違反 区分	違反あり									違反なし	合計
	信号無視	右側通行	横断等禁止	優先通行害	交安差進点行	一時不停止	酒酔い	安全不確認	その他		
死者		1		1	1		1	3			7
傷者	6	7		4	27	10		54	45	196	349

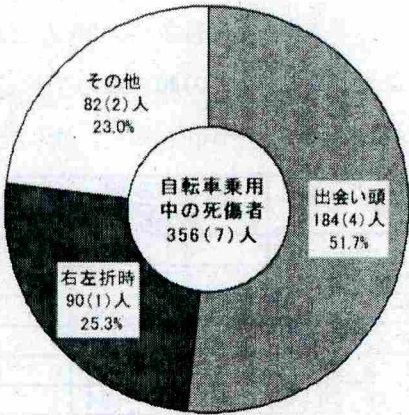
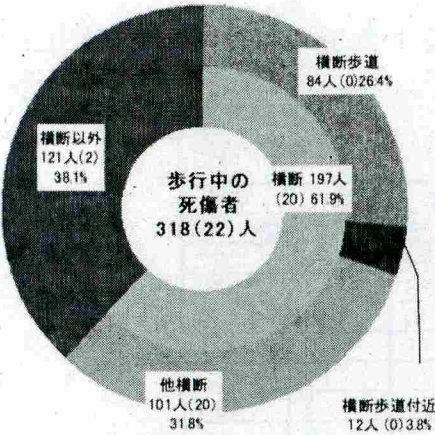
カ 事故類型別

(7) 歩行者

横断中が 197 人と多く、歩行中死傷者の 61.9 パーセントを占めている。

(i) 自転車

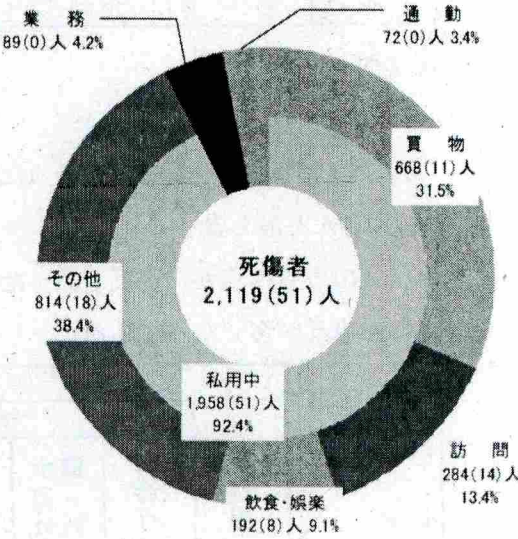
出会い頭事故が 184 人と多く、自転車事故死傷者の 51.7 パーセントを占めている。



* 1 ()内は死者で内数
* 2 人対車両事故以外の事故による歩行者の負傷者を除く

キ 通行目的別

買物が 668 人と最も多く、高齢者死傷者全体の 31.5 パーセントを占め、次いで訪問、飲食・娯楽と続いている。



* 1 ()内は死者で内数
* 2 通行目的が調査不能、道路外の人等を除く

9 初心運転者の事故

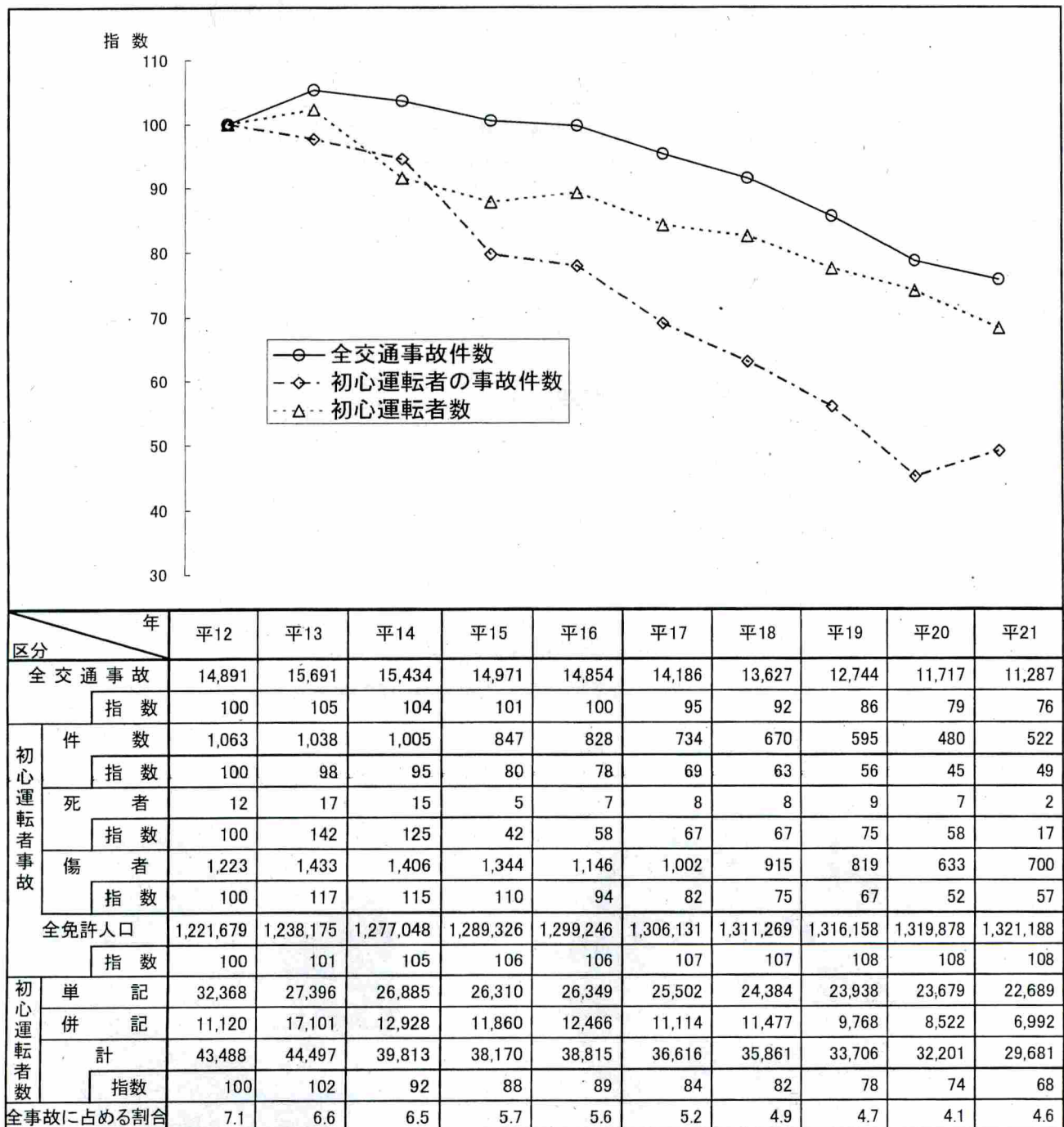
(1) 概 況

初心運転者が第1当事者となった事故は、

発生件数	522 件	(前年比	42 件	8.8%増)
死者数	2 人	(前年比	-5 人	71.4%減)
傷者数	700 人	(前年比	67 人	10.6%増)

で、発生件数、傷者数とも増加したが、死者数は減少した。

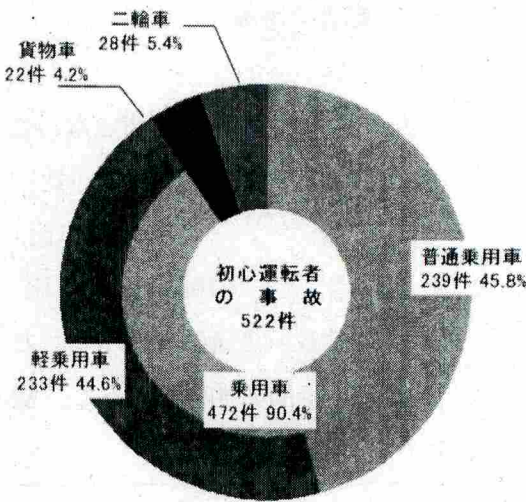
過去 10 年間の推移をみると、初心運転者数及び初心運転者の事故指数は、全事故指数より低くなっている。
(単位: 件・人・%)



(2) 車種別

乗用車が472件で初心運転者事故の90.4パーセントを占め、特に普通乗用車の占める割合が45.8パーセントと高い。

また、車種別全事故に占める初心運転者の事故割合をみると、軽二輪が29.0パーセント、原付が9.6パーセントと高くなっている。

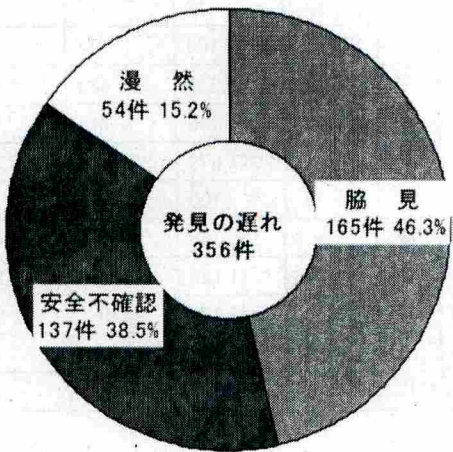
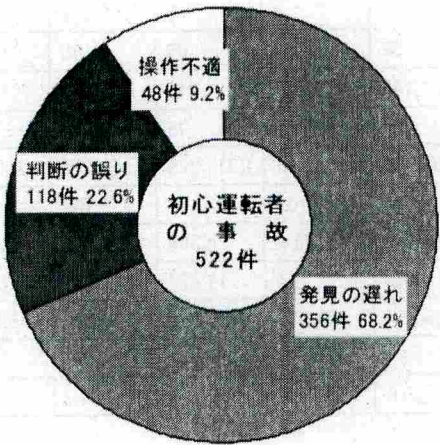


(単位：件・%)

車 種	事故件数	全事故に占める車種別初心運転者事故の占める割合
大型・中型乗用車	0	0%
普通乗用車	239	3.9%
軽乗用車	233	8.2%
普通貨物車	7	1.1%
軽貨物車	14	1.4%
大型・中型貨物車	1	0.3%
特殊車	0	0%
小型二輪車	4	8.2%
軽二輪車	9	29.0%
二種原付	0	0%
原付	15	9.6%

(3) 人的原因

発見の遅れが356件で最も多く、初心運転者事故の68.2パーセントを占めている。発見の遅れのうち、脇見が165件と最多で、安全不確認が137件で続いている。



(4) 違反別

前方不注意が 190 件で初心運転者事故の 36.4 パーセントを占め最も多く、次いで動静不注意が 82 件となっている。

悪質違反は 68 件で同事故の 13.0 パーセントを占め、うち一時不停止が 24 件で最も多く、次いで信号無視の 23 件となっている。

両違反を合わせると 47 件となり、悪質違反の 69.1 パーセントを占めている。(単位：件・%)

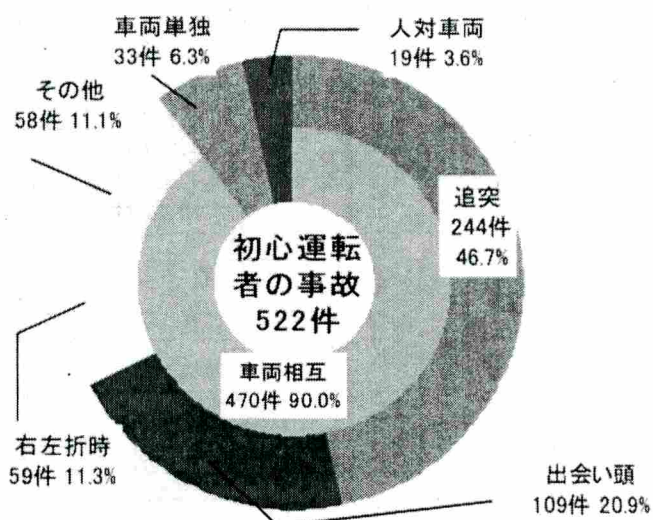
違反		件 数	構成率(%)	違反		件 数	構成率(%)
悪質違反	信号無視	23	4.4	安全運転義務違反	徐行違反	5	1.0
	最高速度	5	1.0		過労運転	2	0.4
	通区・追越	7	1.3		ハンドル操作	7	1.3
	歩行者妨害等	8	1.5		ブレーキ操作	32	6.1
	一時不停止	24	4.6		前方不注意	190	36.4
	酒酔い運転	1	0.2		動静不注意	82	15.7
	計	68	13.0		安全不確認	73	14.0
横断禁止等		1	0.2	その他	安全速度	15	2.9
車間距離不保持		1	0.2		予測不適	5	1.0
進路変更禁止		1	0.2		その他	2	0.4
右・左折違反		3	0.6		計	406	77.8
優先通行妨害等		21	4.0		その他	3	0.6
交差点安全進行		11	2.1		合計	522	100.0

(5) 事故類型別

車両相互の事故が 470 件で初心運転者事故の 90.0 パーセントを占めている。その中でも追突が 244 件 (46.7%) と多く、次いで出会い頭が 109 件 (20.9%) と続いており両事故で 67.6 パーセントを占めている。

(6) 通行目的・年齢別

通行目的別では、私用中が最も多く 357 件で初心運転者事故の 68.4 パーセントを占め、年齢別では、25 歳未満の事故が 94.3 パーセントとなっている。



(単位：件・%)

通行目的		件 数	構成率(%)	年齢別		件 数	構成率(%)
業務	職業運転	1	0.2	年齢別	青年 16 ~ 19 歳	404	77.4
	業務目的	18	3.4		20 ~ 24 歳	88	16.9
	通勤	64	12.3		計	492	94.3
	退社	64	12.3		25 ~ 29 歳	13	2.5
私用	通学	18	3.4		30 歳代	7	1.3
	観光・娯楽	28	5.4		40 歳代	4	0.8
	ドライブ	56	10.7		50 歳代	4	0.8
	散歩		0.0		60 ~ 64 歳	2	0.4
	飲食	4	0.8		計	30	5.7
	買物	97	18.6		高齢者 65 ~ 69 歳	0	0.0
	訪問	38	7.3		70 歳代	0	0.0
	帰省	6	1.1		80 歳以上	0	0.0
	その他	128	24.5		計	0	0.0
	調査不能		0.0	合 計		522	100.0
合 計		522	100	(内数) 高校生		17	3.3

10 飲酒運転の事故

(1) 概 況

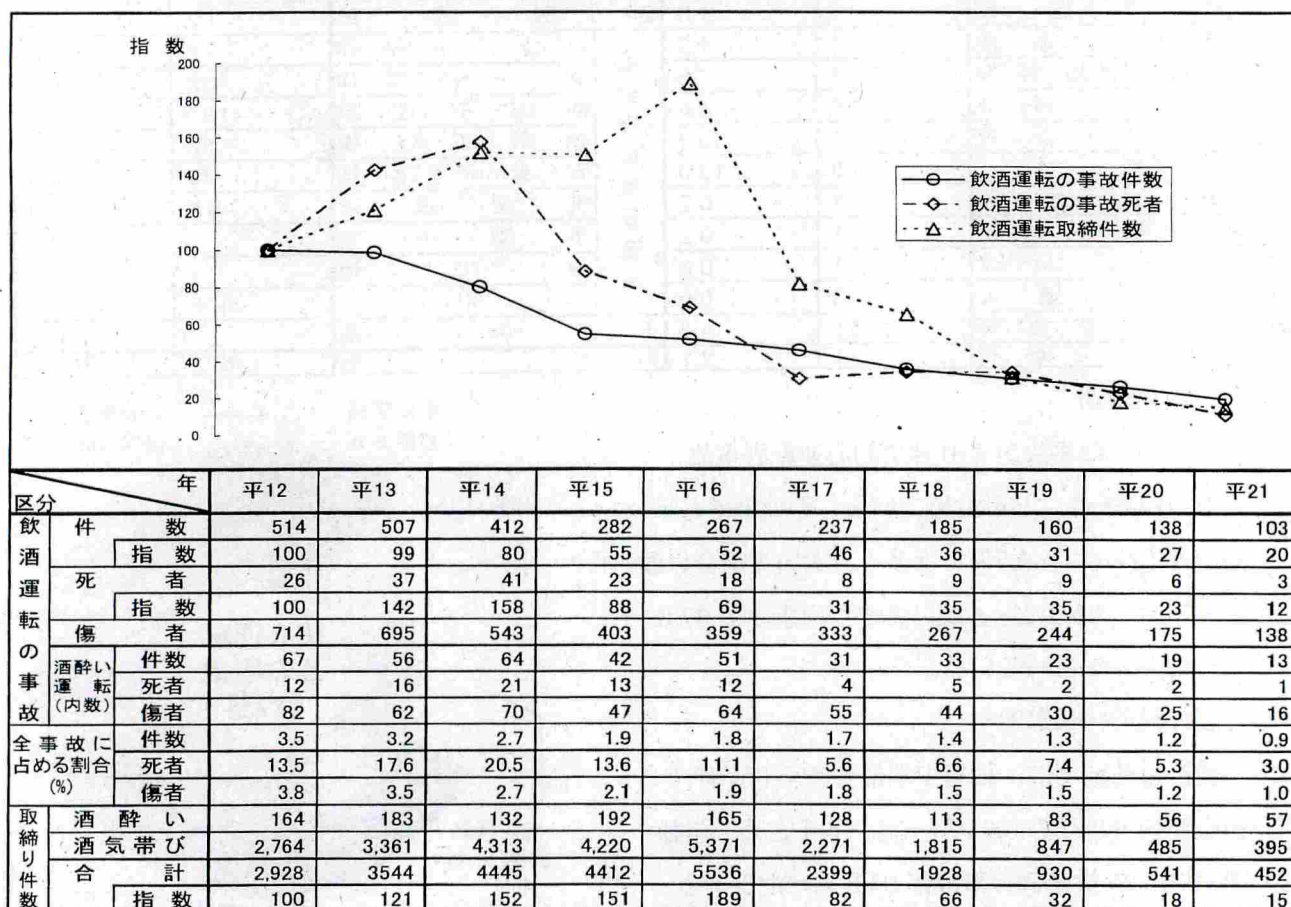
第1当事者が飲酒の状態で車両を運転して起こした事故は、

発生件数 103件（前年比 -35件 25.4%減） うち酒酔い 13件 前年比-6件
 死者数 3人（前年比 -3人 50.0%減） うち酒酔い 1人 前年比-1人
 傷者数 138人（前年比 -37人 21.1%減） うち酒酔い 16人 前年比-9人

で、発生件数、死者数、傷者数とも減少した。

酒酔い運転についても発生件数、死者数、傷者数とも減少した。

（単位：件・人・%）



(2) 月別

飲酒運転が最も多いのは12月の16件、次いで8月の15件となっている。

うち、酒酔い運転は8月、9月の3件が最も多い。

（単位：件・人）

区分	月	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	合計
件数		4	① 8	3	① 9	4	5	① 11	③ 15	③ 6	① 11	① 11	② 16	⑬ 103
	全事故に占める割合	0.5	0.9	0.3	0.9	0.5	0.6	1.3	1.5	0.7	1.1	1.2	1.4	0.9
死者			1					1	① 1					① 3
傷者		5	① 8	4	② 14	4	8	③ 17	② 17	③ 10	① 14	① 14	③ 23	⑯ 138

（注）○は酒酔いで内数（以下飲酒運転事故表中の○は同じ）

(3) 曜日・時間別

土曜日、日曜日が21件と最も多く、次いで金曜日の14件の順となっている。

時間別では、16～18時の間が15件と最も多く、次いで22～24時の14件の順となっている。

(単位：件・人)

曜日 時間		日	月		火		水		木		金		土		合		計
																	構成率(%)
0	～	2		1	①	1	①	1	4			1	①	3	③	11	8.9
2	～	4		3		2				3		1		2		11	14.3
4	～	6		2		1		3						2		9	8.2
6	～	8		1		1	2	1				2				7	0.6
8	～	10		1		1		①	1		2	1			①	6	0.4
10	～	12						1		1			①	1	①	3	0.2
12	～	14	①	1	①	2	1								②	4	0.3
14	～	16	①	1		1									①	2	0.1
16	～	18		4			2	①	1	2		3		3	①	15	0.8
18	～	20		2			1	2		2		1	①	3	①	11	0.8
20	～	22		2			1			1		2		4		10	2.0
22	～	24		3	①	2		2		1	①	3	①	3	③	14	4.9
合 計		②	21	③	9	①	13	②	13	12	①	14	④	21	③	103	0.9
構成率(%)			1.7		0.5		0.8		0.8	0.7		0.8		1.4		0.9	

(4) 発生地別

市部で85件発生し、飲酒運転の82.5パーセントを占めている。特にいわき市、郡山市が多く、両市の合計は51件で、市部の60.0パーセントを占めている。

(単位：件・人)

発生地 区分	福島市		二本松市		伊達市		本宮市		郡山市		須賀川市		白河市		田村市		会津若松市		喜多方市		いわき市		南相馬市		相馬市		各町村		合 計	
	件 数	11	4	1			③	15	2	7	2	4		⑦	36	2	1	③	18	⑬	103									
死 者							1																				①	2	①	3
傷 者		14	4	2			④	21	3	13	3	4		⑩	50	③	2	1	②	21	⑬	138								

(5) 道路別

道路別で発生件数をみると、市町村道が38件で、飲酒運転の36.9パーセントを占めている。

死者は市町村道が2人、県道が1人で国道での死者はなかった。

(単位：件・人)

道路 区分	国 道						県 道			市 村 町 道	その他	合 計		
	4号	6号	13号	49号	三 析	計	主 要 地 方 道	一 般 県 道	道 計					
件 数	① 5	② 7		① 4	① 11	⑤ 27	⑤ 23		11	⑤ 34	③ 38		4	⑬ 103
死 者						0		1			① 2			① 3
傷 者	② 8	④ 16		① 4	② 17	⑨ 45	⑤ 29		14	⑤ 43	② 45		5	⑪ 138

(単位：件・人・%)

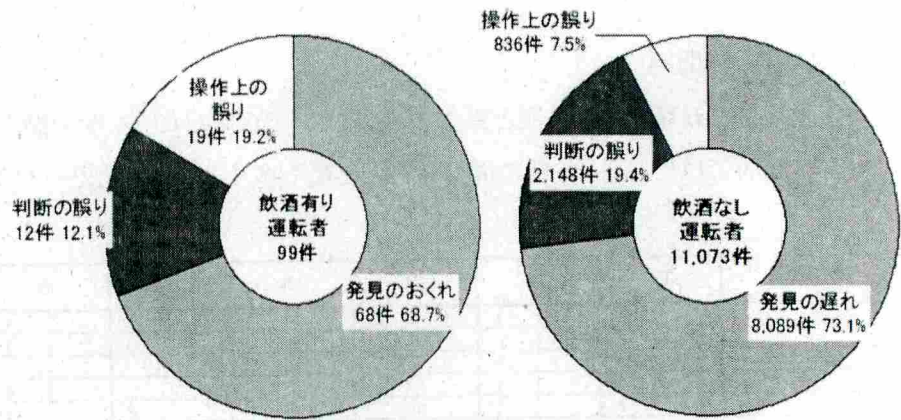
(6) 事故類型別

追突が最も多く、29件(28.2%)となっており、次いで車両単独での工作物衝突21件(20.4%)、出会い頭17件(16.5%)、の順となっている。全事故に占める割合をみると、転倒が8.6パーセントと最も高い割合を占めている。

事故類型		区 分	件 数	構成率(%)	死 者	傷 者	全事故に占める割合(%)		
人対車両	対面・背面歩行中		1	1.0		1	0.7		
	横 断 中		2	1.9		2	0.4		
	そ の 他		2	1.9		3	0.8		
	計		5	4.9	0	6	0.6		
車両相互	正面衝突	⑤	10	9.7		⑥	12	2.6	
	追 突	⑤	29	28.2		⑧	47	0.7	
	出 会 い 頭	①	17	16.5		①	26	0.5	
	転 回 時			0.0			0.0		
	右・左折時		6	5.8		6	0.5		
	そ の 他		2	1.9		2	0.2		
	計	⑪	64	62.1	0	⑮	93	0.6	
車両単独	工作物衝突	①	21	20.4	2	①	26	7.8	
	路外逸脱		3	2.9		4	5.3		
	駐車車両衝突		3	2.9		3	7.3		
	転 倒	①	6	5.8	①	1	5	8.8	
	そ の 他		1	1.0		1	2.4		
	計	②	34	33.0	①	3	①	39	7.2
列 車			0.0				0.0		
合 計		⑬	103	100.0	①	3	⑬	138	0.9

(7) 人的原因

飲酒なし運転者
と比較すると、
「操作上の誤り」
が11.7ポイント高く
なっている。



* 第1当事者が歩行者、自転車
不明、調査不能を除く

(8) 酒酔い運転、酒気帯び運転の運転動機・飲酒場所・飲酒理由

動機をみると、「深夜なので大丈夫と思った」が25件、次いで「他に乗り物がなかった」が23件と多く、両項目で飲酒運転事故の46.6パーセントを占めている。

(単位: 件・人・%)

区分	動機	他に 乗った 物がた	な か つた	翌 日 の出 勤	に 困 る	少 し し か い	飲 ま な い	酔 ま し た	さ ま し く	車 を 置 い て い く	の が 不 安	運 転 代 行 が た	な か つ た	深 夜 な の で	大 丈 夫 と 思 っ た	交 通 量 が た	少 な か つ た	そ の 他 不 明	合 計	飲酒運転のうち		
																				酒 酔 い 運 転	酒 気 帯 び 運 転	
件数		23		5		17		12		5		2		25		6		8		103	13	67
構成率(%)		22.3		4.9		16.5		11.7		4.9		1.9		24.3		5.8		7.8		100.0	12.6	65.0
死者															1			2		3	1	2
傷者		33		6		23		16		6		2		37		7		8		138	16	92

飲酒理由は「酒好き晩酌等」が最も多く63件で61.2パーセントを占めている。

また、飲酒場所は「自宅」が45件で43.7パーセントを占めている。

(単位: 件・人・%)

飲酒理由		忘 年 会	新 年 会	飲 送 迎 会 等	花 見 祭 典	冠 婚 葬 祭	等 の 行 事	各 種 会 合	他 家 訪 問	友 人 等 と	の つ き あ い	酒 好 き	晩 酌 等	そ の 他 不 明	合 計	件 数 の	構 成 率 (%)		
自 宅	件数			1				1		1	42				45	43.7			
	死者														0				
	傷者			2				1		1	52				56				
知人・友人宅	件数				1				1	3	1				6	5.8			
	死者										1				1				
	傷者				2				1	5					8				
取引・勤務先	件数							1		1	1		1		3	2.9			
	死者														0				
	傷者							1		1	2				4				
料理店・キャ バレー・バー・ スナック	件数	1						3		10	8		1		23	22.3			
	死者										1				1				
	傷者	2						5		19	9		1		36				
そ の 他 の 店	件数									7	5				12	11.7			
	死者														0				
	傷者									8	9				17				
旅 館 ・ ホ テ ル 等 の 宿 泊 施 設	件数	1						1		2					4	3.9			
	死者														0				
	傷者	2						2		2					6				
ド ラ イ ブ イ ン ・ 酒 類 販 売 店 等	件数										3				3	2.9			
	死者														0				
	傷者										3				3				
自 動 販 売 機 付 近	件数														0	0.0			
	死者														0				
	傷者														0				
そ の 他 (不 明)	件数									2	3		2		7	6.8			
	死者													1	1				
	傷者									2	4		2		8				
合 計	件数	2		1	1	0		6	1	26	63		3		103	100			
	死者	0		0	0	0	0	0	0	0	2		1		3				
	傷者	4		2	2	0		9	1	38	79		3		138				

件数の構成率	1.9	1.0	1.0	0.0	5.8	1.0	25.2	61.2	2.9	100
--------	-----	-----	-----	-----	-----	-----	------	------	-----	-----

1.1 無免許運転の事故

「無免許運転」とは、停止中・無資格・審査未済・免許外・期限切れ・その他の無免許・条件違反による運転及び仮免許等違反をいう。

(1) 概 況

第1当事者が無免許運転であった事故は、

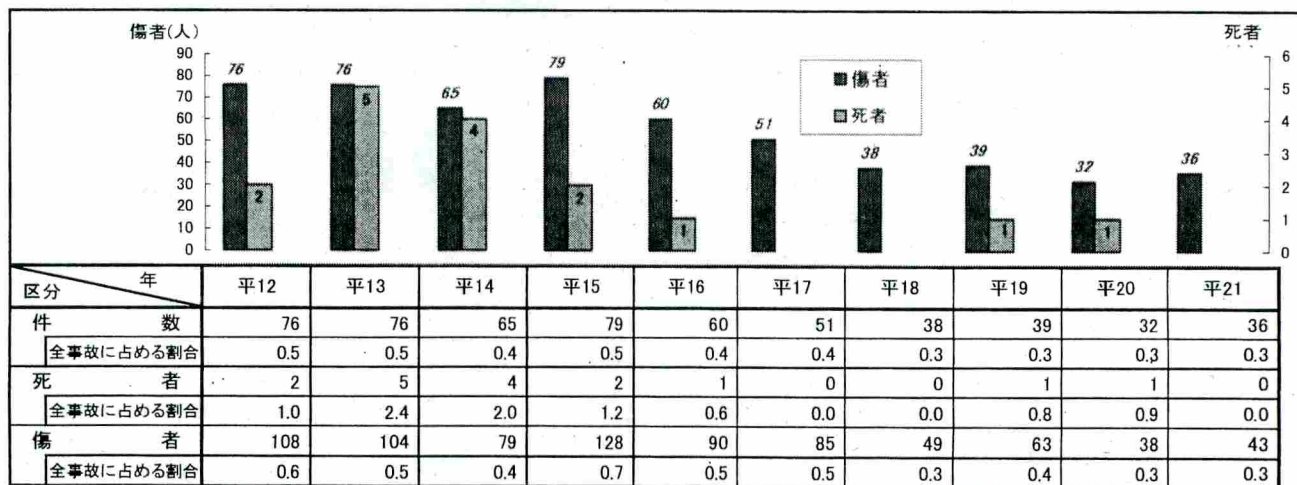
発生件数 36件（前年比 4件 12.5%増）

死者数 0人（前年比 -1人 100%減）

傷者数 43人（前年比 5人 13.2%増）

で、発生件数、傷者数は増加したが死者数は減少した。

（単位：件・人・％）



(2) 月別

無免許運転が最も多いのは7月の6件、次いで2、5、8月の4件となっている。

（単位：件・人）

区分	月	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	合計
件数		3	4	2	3	4	3	6	4	2	3	1	1	36
死者														0
傷者		3	4	3	3	5	3	10	4	2	4	1	1	43

(3) 発生地別

無免許運転は市部での発生が多く、福島市、郡山市、いわき市の3市を合わせると24件で、無免許運転事故の66.7パーセントを占めている。

（単位：件・人）

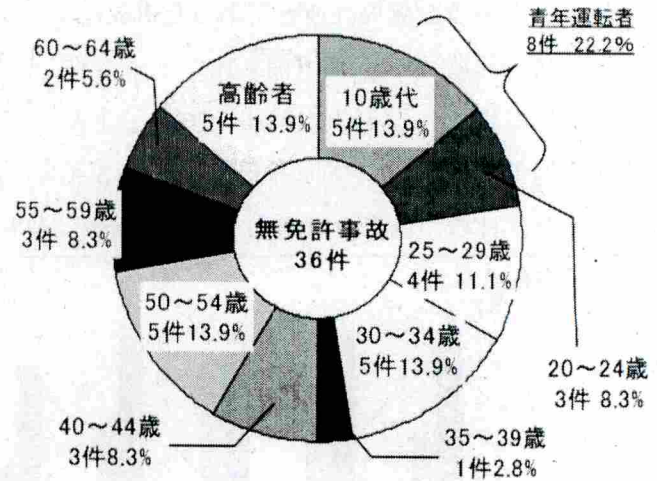
発生地	福	伊	二本	郡	本	須	白	田	会	喜	い	南	相	各	合
区分	島	達	本	山	宮	賀	河	村	津	多	わ	相	馬	町	計
件数	6	2		11	1		1		1	1	7			6	36
死者															0
傷者	6	2		15	1		1		2	1	7			8	43

(4) 年齢別

青年運転者の事故が 8 件で 22.2 パーセントを占め、10 歳代が 5 件、20～24 歳が 3 件となっているが、各年代での大きな開きはみられない。

(単位：件)

年齢	区分	件数	年齢	区分	件数
10 歳代	16 歳未満	0	35 ～ 39 歳		1
	16 歳	1	40 ～ 44 歳		3
	17 歳		45 ～ 49 歳		
	18 歳	3	50 ～ 54 歳		5
	19 歳	1	55 ～ 59 歳		3
	計	5	60 ～ 64 歳		2
	20～24 歳	3	高 齢 者		5
	25～29 歳	4	合 計		36
	30～34 歳	5			



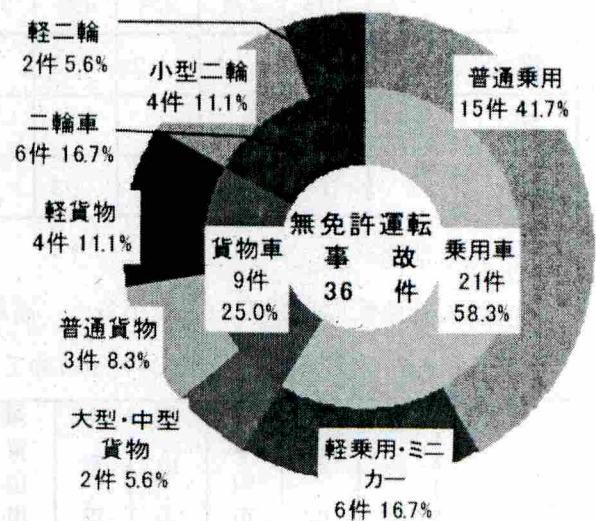
(5) 車種別

車種別では普通乗用車が最も多く 15 件発生し 41.7 パーセントを占めて、次いで軽乗用車の順となっている。

(単位：件・%)

車種	区分	件数		全事故	
			構成率 (%)		無免許の割合
乗用車	バス・マイクロバス		0.0	26	0.0
	普通	15	41.7	6,057	0.2
	軽・ミニカー	6	16.7	2,854	0.2
	計	21	58.3	8,937	0.2
貨物車	大型・中型	2	5.6	357	0.6
	普通	3	8.3	615	0.5
	軽	4	11.1	1,000	0.4
	計	9	25.0	1,972	0.5
特殊車 (大型・小型)			0.0	7	0.0
二輪車	小型二輪	4	11.1	49	8.2
	軽二輪	2	5.6	31	6.5
	二種原付		0.0	20	0.0
	原付		0.0	157	0.0
計		6	16.7	257	2.3
合 計		36	100.0	11,173	0.3

* 不明など114件を除く



(6) 職業別

無職者が 12 件 (33.3%) と最も多く、次いで建設業、サービス業がそれぞれ 7 件 (19.4%) と続いている。

(単位: 件・%)

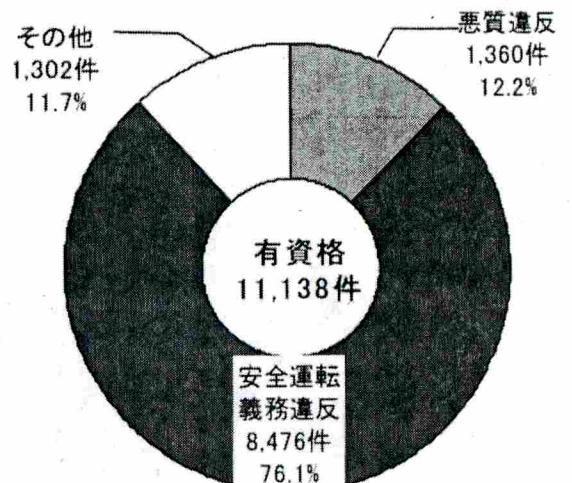
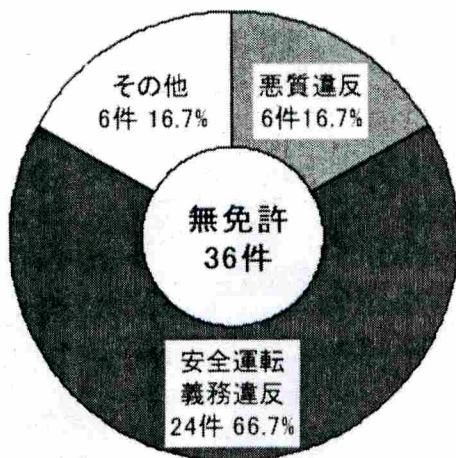
職業 区分	職業 運転手	官 公 署	建 設 業	製 造 業	卸 小 売 業	飲 食 業	サ ー ビ ス 業	農 林 漁 業	主 婦	無 職	そ の 他	合 計
件数	0	1	7		1	1	7	5	1	12	1	36
構成率(%)	0.0	2.8	19.4	0.0	2.8	2.8	19.4	13.9	2.8	33.3	2.8	100

(7) 違反別・原因別

前方不注意が最も多く 9 件 (25.0%) となっている。悪質違反は 6 件 (16.7%) となっており、通区・追越、一時不停止がそれぞれ 2 件となっている。有資格者の悪質違反による事故 (12.2%) と比較すると、無免許運転で同事故の占める割合は 4.5 ポイント高くなっている。

(単位: 件・%)

違反		件数		違反		件数	
区分		構成率(%)		区分		構成率(%)	
悪 質 違 反	信 号 無 視	1	2.8	安全 運 転 義 務 違 反	徐 行 違 反	2	5.6
	最 高 速 度		0.0		ハンドル・ブレーキ操作	2	5.6
	通 区 ・ 追 越	2	5.6		前 方 不 注 意	9	25.0
	歩 行 者 妨 害 等	1	2.8		動 静 不 注 視	2	5.6
	一 時 不 停 止	2	5.6		安 全 不 確 認	8	22.2
	酒 酔 い 運 転		0.0		安 全 速 度	2	5.6
計		6	16.7		そ の 他	1	2.8
車 間 距 離 不 保 持		1	2.8	計		24	66.7
優 先 通 行 妨 害 等		2	5.6	不 明		1	2.8
交 差 点 安 全 進 行			0.0	合 計		36	100.0
進 路 変 更			0.0	飲 酒 運 転 (内 数)		4	11.1



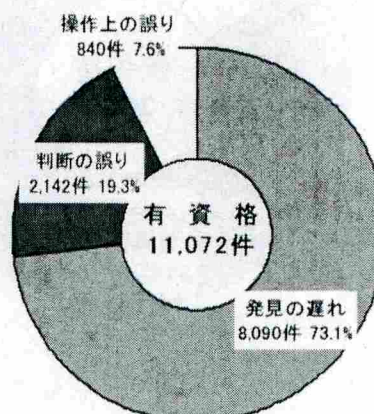
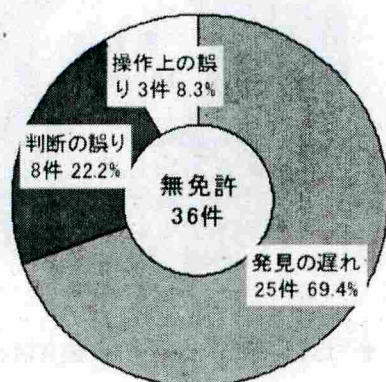
* 自転車・歩行者・不明・無免許を除く

(8) 人的原因別

発見の遅れが25件で、無免許運転事故の69.4パーセントを占め最も多い。なかでも安全不確認が15件と多く、発見の遅れ全体の60.0パーセントを占めている。(単位：件)

人 的 原 因	件 数	人 的 原 因	件 数
合 計	36	予 測 不 適 計	4
発 見 の 遅 れ 計	25	運転感覚(速度、車幅、距離等)を誤った	1
前 方 不 注 意 計	10	相手がルールを守ると思った	
内 在 的 (漫 然 等) 計	0	相手が譲ってくれる、停止してくれると思った	1
居眠り運転		他の事故(危険)を避けようと思った	
ラジオ・ステレオを聴いていた		その他相手の行動予見等の判断を誤った	2
雑談や携帯電話等で話していた			
その他、考え事等の漫然運転		交 通 環 境 計	0
外 在 的 (脇 見 等) 計	10	道路形状、道路線形に対する認識を誤った	
物を落とした、物を取ろうとした	2	道路環境(路面凍結や霧など)に対する認識を誤った	
同乗者、同乗の動物等に脇見		交通規制に対する認識を誤った	
カセットテープ、携帯電話等を操作していた	1	交通安全施設に対する認識を誤った	
テレビ、ナビゲーション装置を見ていた、操作していた		障害物等に対する認識を誤った	
雑誌、地図帳等を見ていた		その他の交通環境に対する認識を誤った	
道、案内標識等を探して脇見		操 作 上 の 誤 り (操 作 不 適) 計	3
風景、地物等に脇見	2	ブレーキとアクセルの踏み違い	
他の車、歩行者に脇見	2	ブレーキの踏みが弱い、踏み遅れ	
バックミラーやドアミラーを見ていた		急ブレーキをかけた	
その他脇見	3	エンジン・ブレーキを使用しなかった	
安 全 不 確 認 計	15	ハンドルの操作不適	2
安全確認をしなかった	6	ギヤの入れ違い	
安全確認が不十分だった	9	ブレーキをかけながらハンドル操作	
判 断 の 誤 り 等 計	8	オートスピードコントロール装置等の操作不適	
動 静 不 注 視 計	4	その他の操作不適	1
相手が譲ってくれると思って注視を怠った	2	調 査 不 能	
他の危険を避けようとして注視を怠った			
危険性がないとして注視を怠った	2		

無免許運転と有資格者の事故を比較すると、無免許の事故は判断の誤りの構成率が2.9ポイント高くなっている。



* 有資格者でかつ人的原因の事故

1 2 二輪車の事故

(1) 二輪車による事故

ア 概 況

二輪車が第1当事者になった事故は、

発生件数 257 件（前年比 -13 件 4.8%減）

死者数 7 人（前年比 -4 人 36.4%減）

傷者数 285 人（前年比 -5 人 1.7%減）

で、発生件数、死者数、傷者数のいずれも減少した。

（単位：件・人・％）

区 分 車 種	本 年						増 減 数			増 減 率 (%)		
	件 数		死 者		傷 者		件数	死者	傷者	件数	死者	傷者
	構成率(%)		構成率(%)		構成率(%)							
小 型 二 輪	49	19.1	2	28.6	60	21.1	-3	-2	1	-5.8	-50.0	1.7
軽 二 輪	31	12.1	1	14.3	36	12.6	7	0	8	29.2	0.0	28.6
二 種 原 付	20	7.8		0.0	23	8.1	-13	-1	-11	-39.4	-100.0	-32.4
原 付	157	61.1	4	57.1	166	58.2	-4	-1	-3	-2.5	-20.0	-1.8
合 計	257	100.0	7	100.0	285	100.0	-13	-4	-5	-4.8	-36.4	-1.7

車種別にみると、発生件数、死者数、傷者数とも原付が多く、二輪車事故総発生件数の 61.1 パーセントを占めている。

死亡事故率をみると小型二輪が高くなっている。

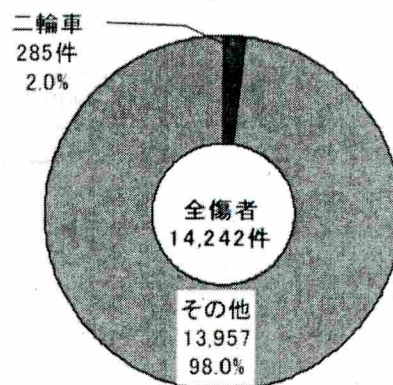
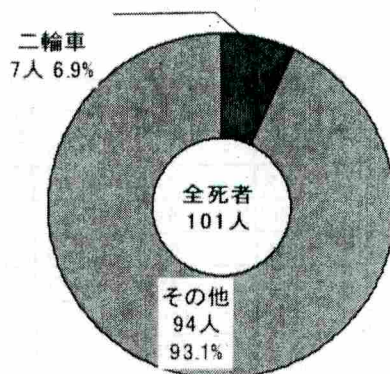
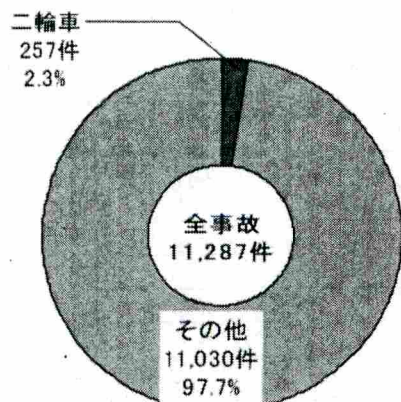
（単位：件・％）

区 分	車 種						二 輪 車					合 計
	普 乗	軽 乗	大 貨 等	普 貨	軽 貨	四 輪 他	小 二 輪	軽 二 輪	二 原 付	種 付	計	
車 種 別 事 故 件 数	6,057	2,854	357	615	1,000	33	49	31	20	157	257	11,173
死 亡 事 故 件 数	48	14	12	6	13		2	1		4	7	100
死 亡 事 故 率	0.8	0.5	3.4	1.0	1.3	0.0	4.1	3.2	0.0	2.5	2.7	0.9

（車種別事故件数合計には二輪車の事故も含む。自転車、歩行者の第1当事故、当事者不明事故は含まない）

$$(注) 死亡事故率 = \frac{\text{死亡事故件数}}{\text{車種別事故件数}} \times 100$$

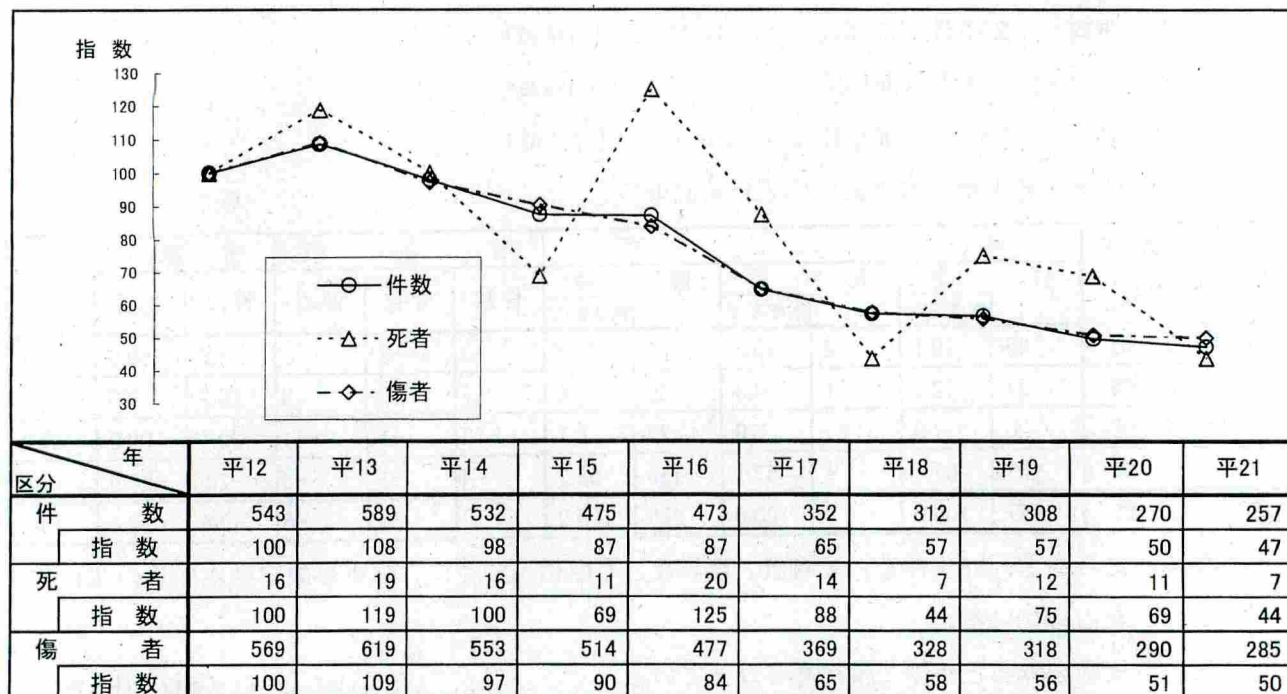
全事故に占める二輪車事故の構成率は 2.3 パーセントであるのに対し、死者の構成率は 6.9 パーセントと高くなっている。



イ 年別推移

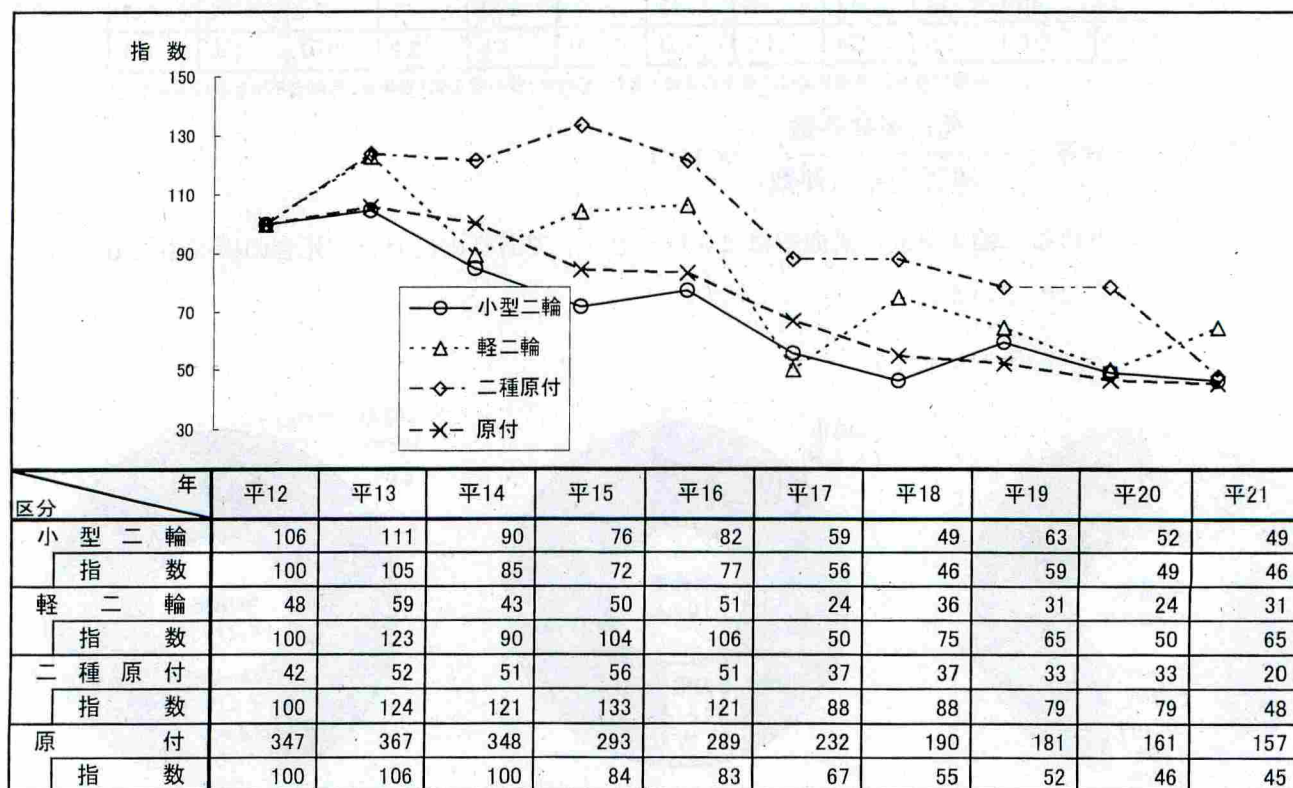
(7) 発生件数、死者数、傷者数

死者数は変動があるものの、発生件数、傷者数は全交通事故と同様に平成 13 年をピークに減少が続いている。(単位：件・人)



(1) 車種別交通事故発生件数

事故件数の少ない小型二輪、軽二輪、二種原付にあっては増減があるものの、概ね減少傾向を示しており、事故件数の多い原付については平成 13 年をピークに漸減している。(単位：件)



ウ 年齢別

二輪車の事故は高齢運転者が82件（31.9%）、青年運転者が56件（21.8%）と多い。

また、年代別事故発生件数に対する二輪事故の占める割合をみると高校生が22.2パーセントと高くなっている。

（単位：件・%）

区分	年齢					計	25～29歳	30歳代	40歳代	50歳代	60～64歳	高齢者	合計
	子供	高校生	その他10歳代	20～24歳	～24歳								
全運転者の事故		18	498	1,429	1,945	1,159	1,883	1,775	1,917	810	1,684		11,173
構成率(%)	0.0	0.2	4.5	12.8	17.4	0.0	16.9	15.9	17.2	7.2	15.1		100.0
二輪車事故		4	25	27	56	18	30	25	29	17	82		257
構成率(%)	0.0	1.6	9.7	10.5	21.8	7.0	11.7	9.7	11.3	6.6	31.9		100.0
全運転者事故に占める割合	0.0	22.2	5.0	1.9	2.9	1.6	1.6	1.4	1.5	2.1	4.9		2.3

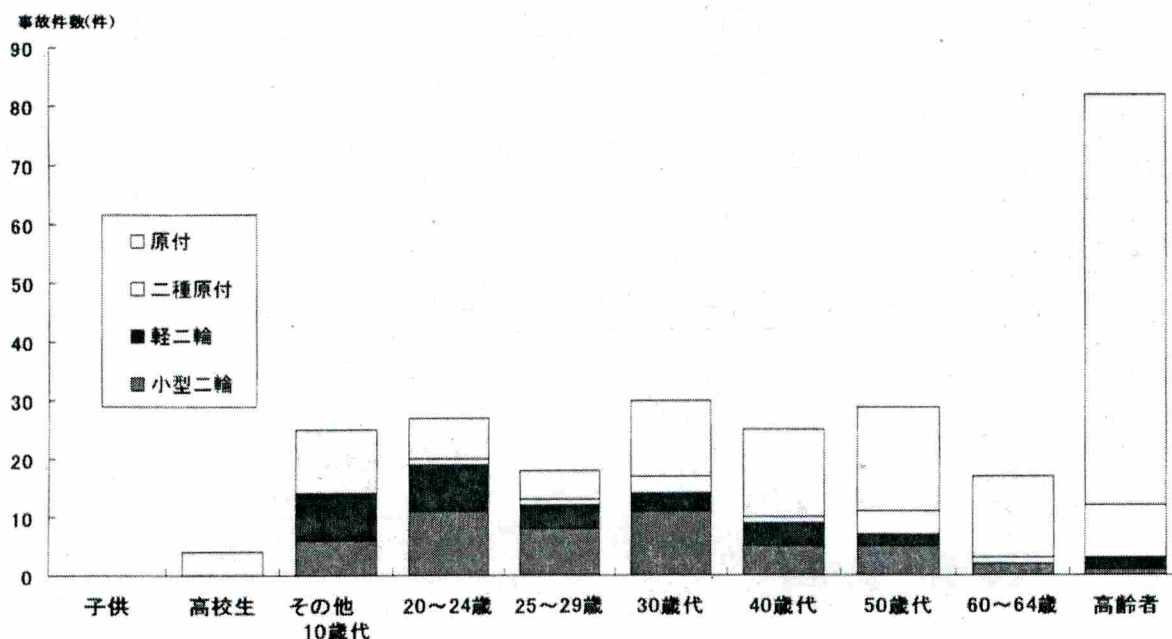
* 自転車・歩行者・当事者不明を除く

エ 年齢別・車種別

青年運転者による二輪事故の車種別構成率は、軽二輪が51.6パーセント、小型二輪が34.7パーセントと高い割合を占めている。対して高齢運転者は二種原付が45.0パーセント、原付が44.6パーセントと高くなっている。

（単位：件・%）

区分	年齢					計	25～29歳	30歳代	40歳代	50歳代	60～64歳	高齢者	合計
	子供	高校生	その他10歳代	20～24歳	～24歳								
小型二輪			6	11	17	8	11	5	5	2	1		49
構成率(%)	0.0	0.0	12.2	22.4	34.7	16.3	22.4	10.2	10.2	4.1	2.0		100
軽二輪			8	8	16	4	3	4	2		2		31
構成率(%)	0.0	0.0	25.8	25.8	51.6	12.9	9.7	12.9	6.5	0	6.5		100
二種原付				1	1	1	3	1	4	1	9		20
構成率(%)	0.0	0.0	0.0	5.0	5.0	5.0	15.0	5.0	20.0	5.0	45.0		100
原付		4	11	7	22	5	13	15	18	14	70		157
構成率(%)	0.0	2.5	7.0	4.5	14.0	3.2	8.3	9.6	11.5	8.9	44.6		100



オ 車種別・免許経験年数別

車種別事故当事者の運転免許経験年数をみると、全二輪車種で10年以上の占める割合が高い。

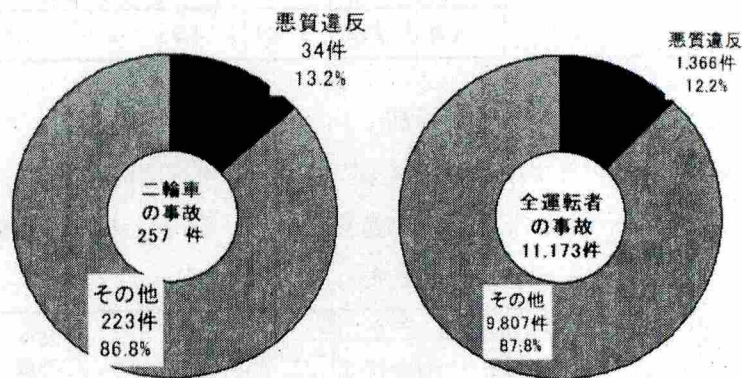
その他、軽二輪は1年未満の占める割合が29.0パーセントと高くなっている。(単位：件・%)

経験年数	小型二輪		軽二輪		二種原付		原付		合計	
	構成率(%)		構成率(%)		構成率(%)		構成率(%)		構成率(%)	
1年未満	4	8.2	9	29.0		0.0	15	9.6	28	10.9
1～2年	5	10.2	3	9.7		0.0	1	0.6	9	3.5
2～3年	3	6.1	1	3.2	1	5.0	3	1.9	8	3.1
3～4年	4	8.2	2	6.5		0.0	3	1.9	9	3.5
4～5年		0.0		0.0		0.0	1	0.6	1	0.4
10年未満	7	14.3	3	9.7		0.0	7	4.5	17	6.6
10年以上	22	44.9	11	35.5	19	95.0	127	80.9	179	69.6
無免許	4	8.2	2	6.5		0.0		0.0	6	2.3
合計	49	100.0	31	100.0	20	100.0	157	100.0	257	100.0

カ 車種別・違反別

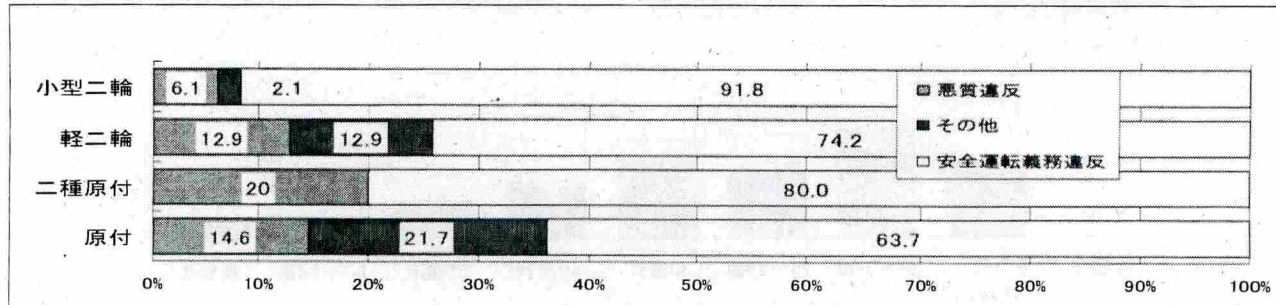
二輪事故の悪質違反の占める割合は13.2パーセントとなっており、なかでも一時不停止、信号無視の順に多い。

車種別にみると、悪質違反の占める割合が高いのは二種原付で20.0パーセントとなっている。



(単位：件・%)

違反	車種	小型二輪		軽二輪		二種原付		原付		合計	
		構成率(%)		構成率(%)		構成率(%)		構成率(%)		構成率(%)	
悪質違反	信号無視		0.0	1	3.2	2	10.0	5	3.2	8	3.1
	最高速度		0.0	1	3.2		0.0		0.0	1	0.4
	通行区・追越	2	4.1	1	3.2		0.0	3	1.9	6	2.3
	歩行者妨害等		0.0		0.0		0.0	3	1.9	3	1.2
	一時不停止	1	2.0	1	3.2	2	10.0	12	7.6	16	6.2
違反	酒酔い運転		0.0		0.0		0.0		0.0	0	0.0
	計	3	6.1	4	12.9	4	20.0	23	14.6	34	13.2
その他	横断禁止等		0.0		0.0		0.0	2	1.3	2	0.8
	右・左折違反		0.0		0.0		0.0	7	4.5	7	2.7
	優先通行妨害等		0.0		0.0		0.0	9	5.7	9	3.5
	交差点安全進行	1	2.0	1	3.2		0.0	10	6.4	12	4.7
	徐行違反		0.0	2	6.5		0.0	5	3.2	7	2.7
安全運転義務違反	ハンドル・ブレーキ	16	32.7	8	25.8	3	15.0	21	13.4	48	18.7
	前方不注意	10	20.4	8	25.8	3	15.0	29	18.5	50	19.5
	動静不注意	4	8.2	4	12.9	2	10.0	12	7.6	22	8.6
	安全不確認	5	10.2	1	3.2	3	15.0	28	17.8	37	14.4
	安全速度	7	14.3	1	3.2	3	15.0	4	2.5	15	5.8
その他	その他	3	6.1	1	3.2	2	10.0	6	3.8	12	4.7
	計	45	91.8	23	74.2	16	80.0	100	63.7	184	71.6
合計	計	49	100.0	31	100.0	20	100.0	157	100.0	257	100.0



キ 車種別・事故類型別

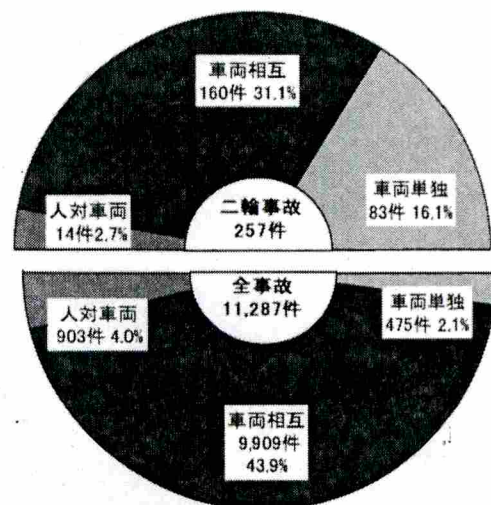
(単位：件・％)

類型	車種	全 事 故		二 輪 合 計		小 型 二 輪		軽 二 輪		二 種 原 付		原 付	
		構成率(%)		構成率(%)		構成率(%)		構成率(%)		構成率(%)		構成率(%)	
人対車両	横断中	514	4.6	6	2.3		0.0	1	3.2	1	5.0	4	2.5
	対面・背面	151	1.3	5	1.9		0.0	1	3.2		0.0	4	2.5
	その他	238	2.1	3	1.2		0.0	1	3.2		0.0	2	1.3
	計	903	8.0	14	5.4	0	0.0	3	9.7	1	5.0	10	6.4
車両相互	正面衝突	386	3.4	15	5.8	5	10.2		0.0	3	15.0	7	4.5
	追突	540	4.8	11	4.3	5	10.2	3	9.7		0.0	3	1.9
	駐・停止中	3,744	33.2	21	8.2	7	14.3	5	16.1		0.0	9	5.7
	出会い頭	3,151	27.9	82	31.9	3	6.1	6	19.4	6	30.0	67	42.7
	追越・追抜	140	1.2	4	1.6	1	2.0		0.0	2	10.0	1	0.6
	右折時	848	7.5	11	4.3	1	2.0	1	3.2		0.0	9	5.7
	左折時	319	2.8	3	1.2		0.0	1	3.2		0.0	2	1.3
	その他	781	6.9	13	5.1	2	4.1	2	6.5	1	5.0	8	5.1
車両単独	計	9,909	87.8	160	62.3	24	49.0	18	58.1	12	60.0	106	67.5
	工作物衝突	268	2.4	23	8.9	8	16.3	4	12.9	1	5.0	10	6.4
	路外逸脱	57	0.5	6	2.3	2	4.1		0.0		0.0	4	2.5
	転倒	68	0.6	45	17.5	14	28.6	5	16.1	5	25.0	21	13.4
	駐車車両衝突	41	0.4	5	1.9		0.0		0.0		0.0	5	3.2
	その他	41	0	4	2	1	2	1	3	1	5	1	1
	計	475	4.2	83	32.3	25	51.0	10	32.3	7	35.0	41	26.1
	踏切		0		0		0		0		0		0
合 計		11,287	100.0	257	100.0	49	100.0	31	100.0	20	100.0	157	100.0

○ 類型別特徴

全事故の割合と比較すると

- ・人対車両・・・1.3 ポイント低い
- ・車両相互・・・12.8 ポイント低い
- ・車両単独・・・14.0 ポイント高く、特に転倒が高くなっている。



ク 昼夜別・道路別

二輪車事故の 80.5 パーセント (207 件) が昼間に発生している。

道路別に対比すると、市町村道での発生が 120 件と最も多く 46.7 パーセントを占める。

夜間の発生についても市町村道での発生が 21 件 (42.0%) と多くなっている。(単位：件・％)

道路	国 道						県 道			市 村 町 道	高 速 道	そ の 他	合 計
	4 号	6 号	13 号	49 号	三 析	計	主 要	一 般	計				
昼 間	14	5	2		17	38	43	20	63	99	2	5	207
構成率(%)	6.8	2.4	1.0	0.0	8.2	18.4	20.8	9.7	30.4	47.8	1.0	2.4	100.0
夜 間	1	2		1	5	9	9	9	18	21		2	50
構成率(%)	2.0	4.0	0.0	2.0	10.0	18.0	18.0	18.0	36.0	42.0	0.0	4.0	100.0
薄暮(内数)	1	1			1	3	5	3	8	4			15
構成率(%)	6.7	6.7	0.0	0.0	6.7	20.0	33.3	20.0	53.3	26.7	0.0	0.0	100.0
合 計	15	7	2	1	22	47	52	29	81	120	2	7	257
構成率(%)	5.8	2.7	0.8	0.4	8.6	18.3	20.2	11.3	31.5	46.7	0.8	2.7	100.0

ケ 道路線形別

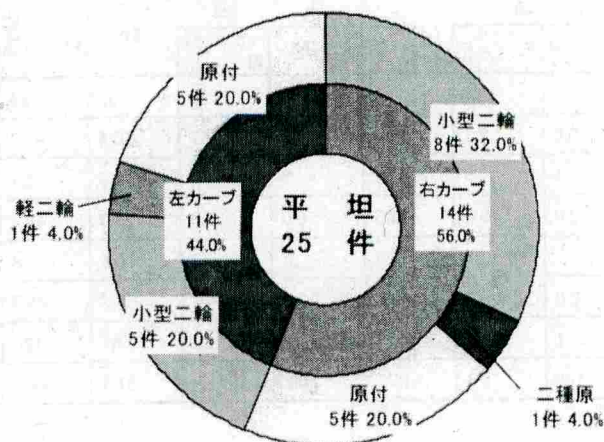
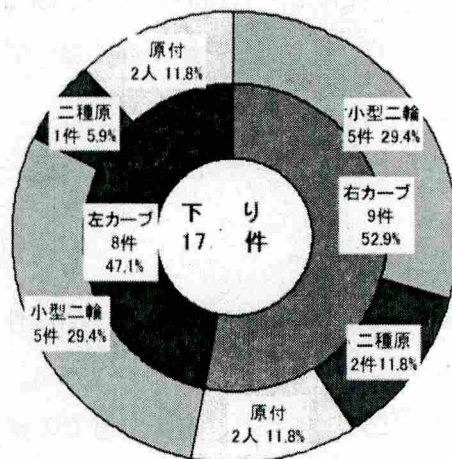
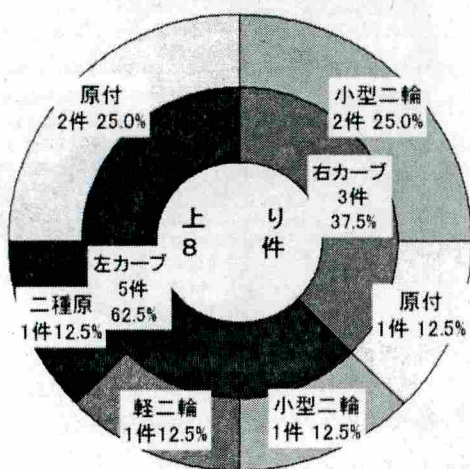
全事故と比較するとカーブでの事故の割合が高く、右カーブは全二輪事故の 10.3 パーセント、左カーブは 9.5 パーセントを占めている。

(単位：件・%)

線形	車種	全事故		二 輪 合 計		小型二輪		軽 二 輪		二 種 原 付		原 付	
		構成率 (%)	構成率 (%)	構成率 (%)	構成率 (%)	構成率 (%)	構成率 (%)	構成率 (%)	構成率 (%)	構成率 (%)	構成率 (%)	構成率 (%)	構成率 (%)
上り	右カーブ	62	0.6	3	1.2	2	4.2		0.0		0.0	1	0.6
	左カーブ	59	0.5	5	2.0	1	2.1	1	3.3	1	5.0	2	1.3
下り	右カーブ	77	0.7	9	3.6	5	10.4	2	6.7		0.0	2	1.3
	左カーブ	112	1.0	8	3.2	5	10.4	1	3.3		0.0	2	1.3
平坦	右カーブ	150	1.4	14	5.6	8	16.7		0.0	1	5.0	5	3.2
	左カーブ	200	1.9	11	4.4	5	10.4	1	3.3		0.0	5	3.2
直線	上り	303	2.8	5	2.0	2	4.2		0.0		0.0	3	1.9
	下り	460	4.3	11	4.4	1	2.1	2	6.7		0.0	8	5.2
	平坦	9,330	86.8	186	73.8	19	39.6	23	76.7	18	90.0	126	81.8
合計	右カーブ	289	2.7	26	10.3	15	31.3	2	6.7	1	5.0	8	5.2
	左カーブ	371	3.5	24	9.5	11	22.9	3	10.0	1	5.0	9	5.8

全事故件数	10,753	100	252	100	48	100	30	100	20	100	154	100
-------	--------	-----	-----	-----	----	-----	----	-----	----	-----	-----	-----

* 全事故のうち、その他の道路534件、二輪事故のうちその他の道路5件を除く。



(1) 二輪車の死傷者

ア 概 況

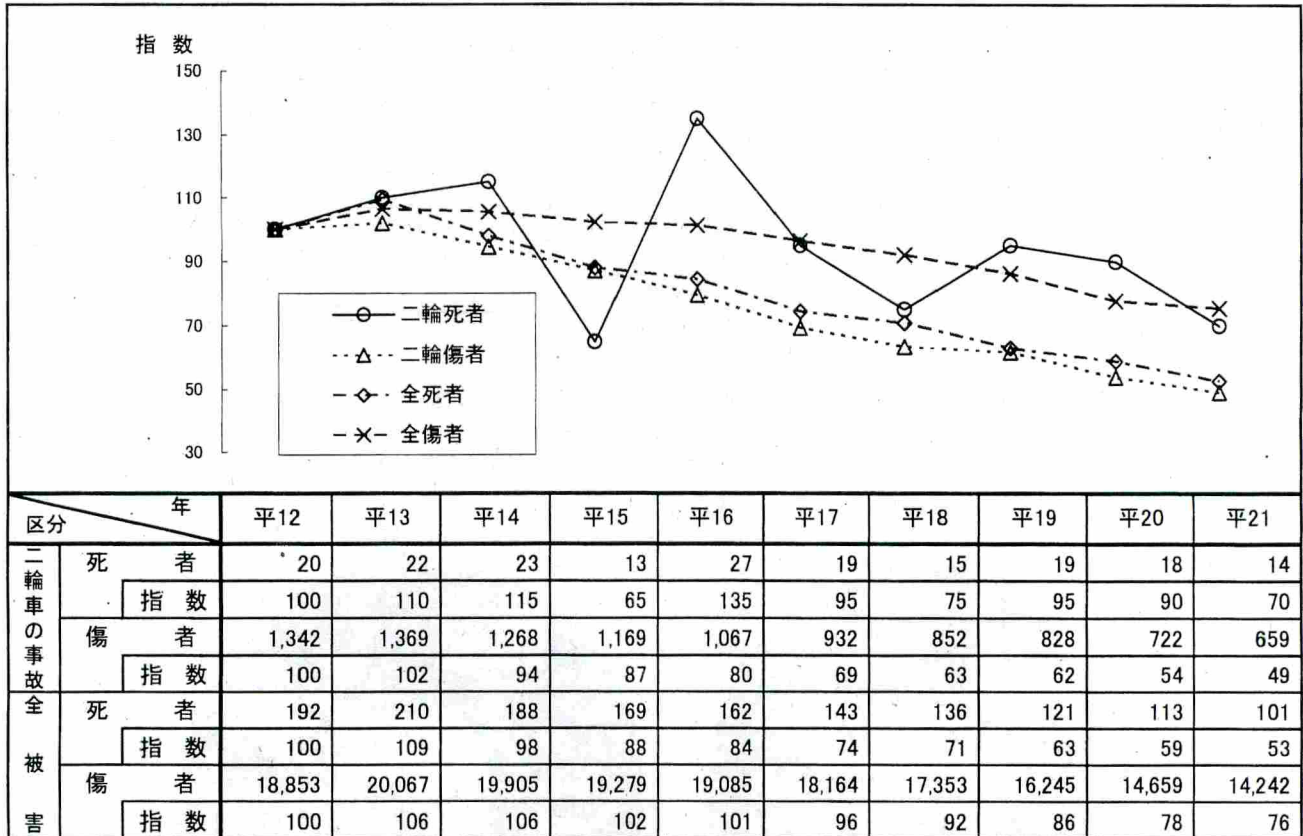
二輪乗車中（同乗者を含む）の死傷者は

死者数 14 人（前年比 -4 人 22.2%減）

傷者数 659 人（前年比 -63 人 8.7%減）

で、死者数、傷者数とも減少した。

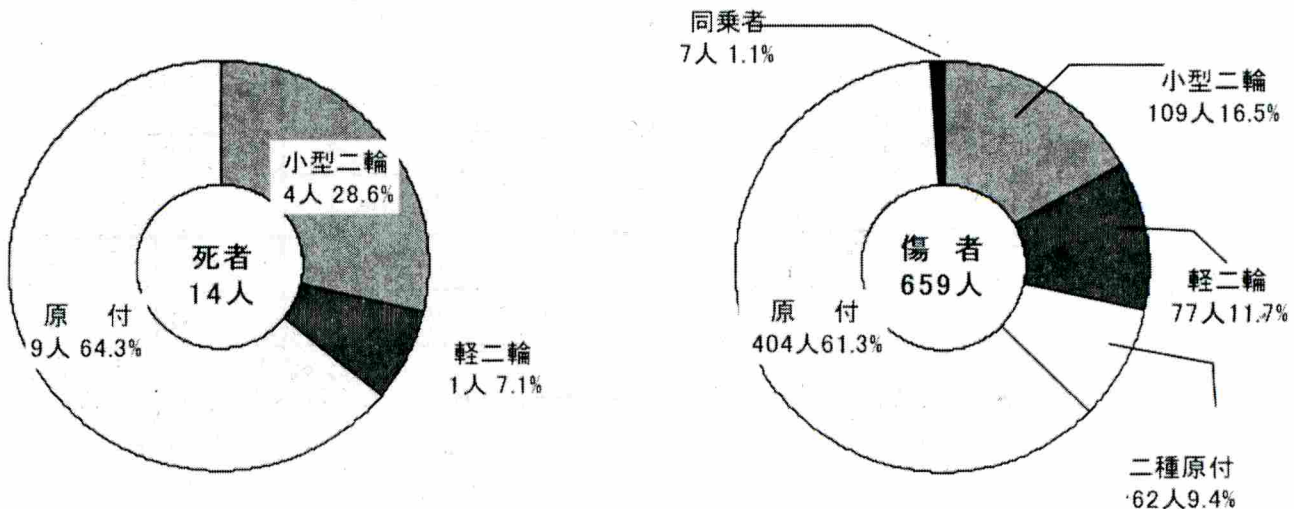
（単位：人）



イ 車種別・年齢別

車種別にみると、死者、傷者ともに原付が多く、死者は 64.3 パーセント、傷者は 61.3 パーセントを占めている。

年齢別にみると、高齢者が死者、傷者とも多く、死者は 6 人 42.9 パーセント、傷者は 191 人 29.0 パーセントを占めている。



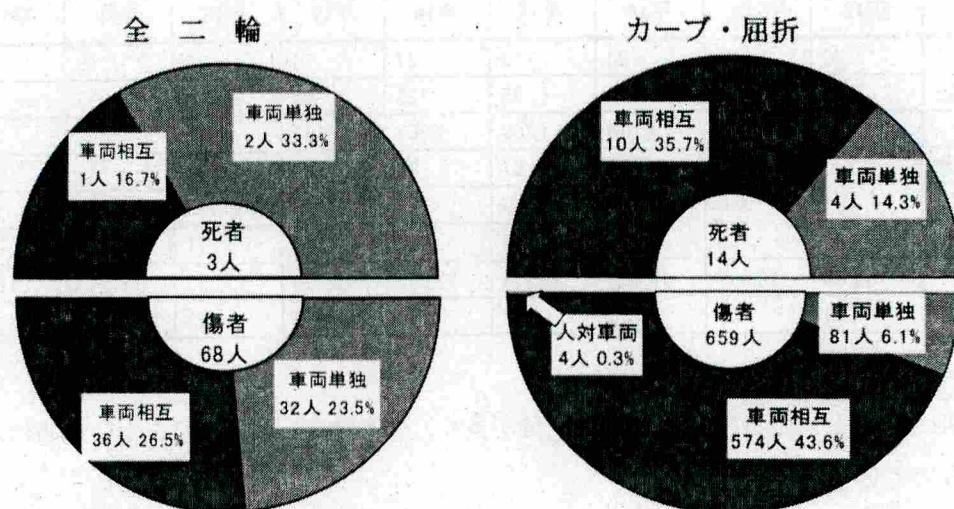
(単位：人・%)

年 齢		20歳未満	20～24歳	25～29歳	30歳代	40歳代	50歳代	60～64歳	高齢者	合計
車 種	死 者	1	2	0	0	5	0	0	6	14
	構成率(%)	7.1	14.3	0.0	0.0	35.7	0.0	0.0	42.9	100.0
二輪車	傷 者	75	81	47	77	62	88	38	191	659
	構成率(%)	11.4	12.3	7.1	11.7	9.4	13.4	5.8	29.0	100.0
計	死 者	0	1	0	0	3	0	0	0	4
	傷 者	13	18	14	28	20	13	3	0	109
小型二輪	死 者	0	0	0	0	1	0	0	0	1
	傷 者	15	17	9	19	6	5	2	4	77
軽二輪	死 者	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	傷 者	2	6	4	8	9	13	2	18	62
二種原付	死 者	1	1	0	0	1	0	0	6	9
	傷 者	41	38	19	22	27	57	31	169	404
同乗者	死 者	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	傷 者	4	2	1	0	0	0	0	0	7

ウ 事故類型別・道路形状別

事故類型別にみると、死者、傷者とも車両相互によるものが多くなっている。

対して、カーブ・屈折での傷者は車両単独によるものが多くなっている。



エ ヘルメット着用状況

原付の着用率は、自動二輪の着用率より 0.5 ポイント低くなっている。

(単位：人・%)

区分 車種	死 者			傷 者			合 計		
	ヘルメット着用	構成率(%)		ヘルメット着用	構成率(%)		ヘルメット着用	構成率(%)	
自動二輪	5	5	100.0	254	251	98.8	259	256	98.8
原 付	9	8	88.9	401	395	98.5	410	403	98.3
合 計	14	13	92.9	655	646	98.6	669	659	98.5

* 着用不明の4人は除く

1.3 タクシーの事故

(1) 概 況

タクシーが第1当事者となった事故は、

発生件数 135 件（前年比 12 件 9.8%増）

死者数 0 人（前年比 ±0 人 ——）

傷者数 160 人（前年比 19 人 13.5%増）

で、発生件数、傷者数とも増加したが、死亡事故の発生は平成17年からない。

タクシーが第2当事者になった事故は、

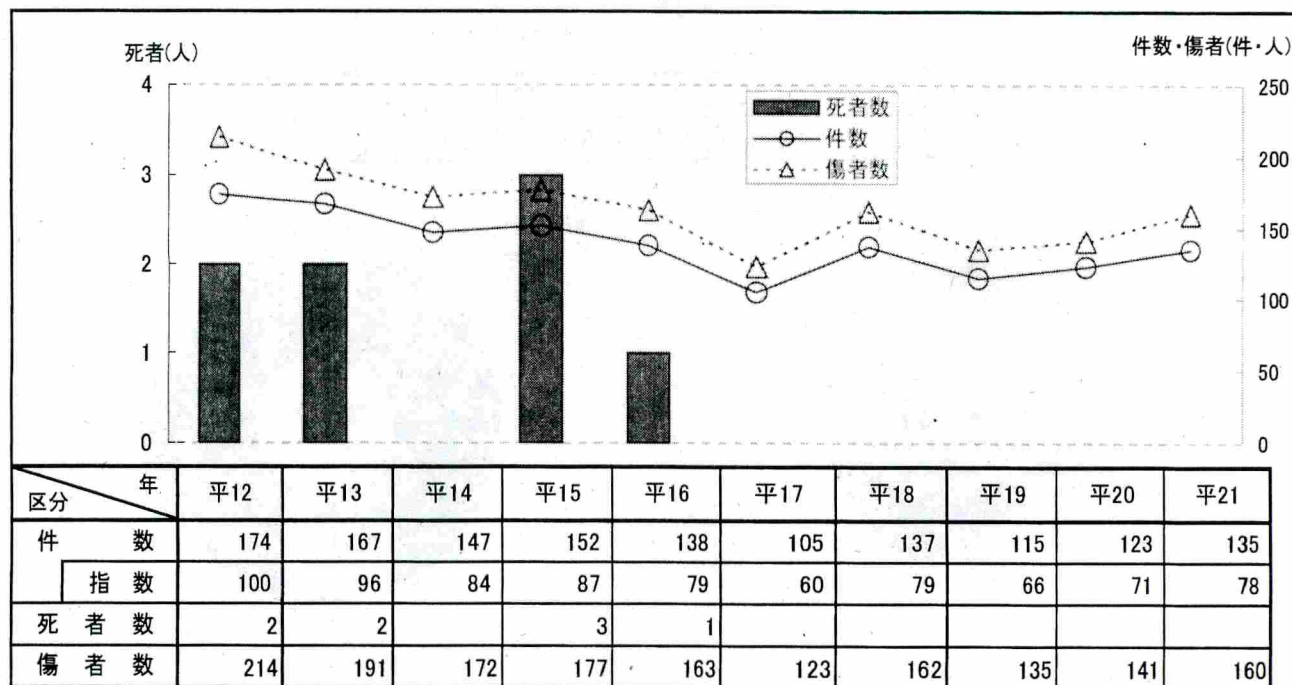
発生件数 72 件（前年比 -5 件 6.5%減）

死者数 0 人（前年比 ±0 人 ——）

傷者数 100 人（前年比 2 人 2.0%増）

で、発生件数は減少し、傷者数は増加した。

（単位：件・人）



(2) 月別

12月が21件と最も多く、次いで4月の18件、7月の13件、3、10月の12件の順となっている。

（単位：件・人）

区分	年	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	合計
件 数		11	4	12	18	9	9	13	8	11	12	7	21	135
死 者 数														0
傷 者 数		13	4	15	20	10	9	14	8	16	14	9	28	160

(3) 年齢別

50歳代が50件で最も多く、タクシー事故の37.0パーセントを占めている。

(単位：件・%)

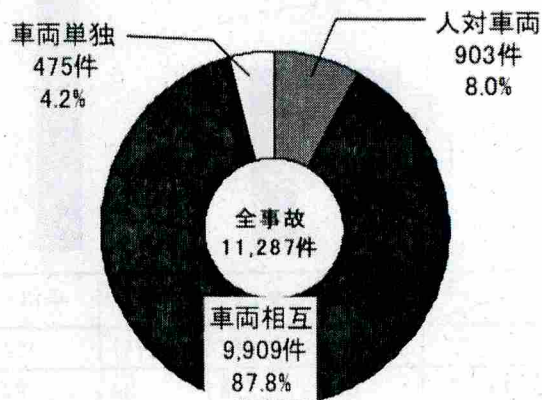
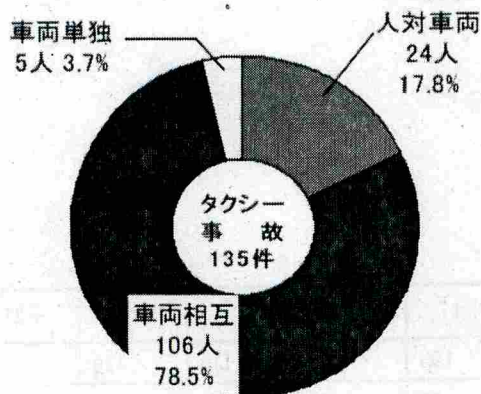
区分	年齢	25未満	25～29歳	30歳代	40歳代	50歳代	60～64歳	高齢者 (65歳以上)	合計
件数		1	2	11	16	50	37	18	135
	構成率(%)	0.7	1.5	8.1	11.9	37.0	27.4	13.3	100.0

(4) 事故類型別

車両相互の事故が106件(78.5%)と最も多く、うち出会い頭が37.8パーセントと高い。

全事故と比較すると人対車両事故の占める割合が2倍以上と高くなっている。(単位：件・%)

区分 \ 類型	人 対 車 両				車 両 相 互							車 両 単 独				合
	通 行 中	横 断 中	そ の 他	計	正 面 衝 突	追 突	出 会 い 頭	後 退 ・ 転 回	右 ・ 左 折 時	そ の 他	計	工 作 物 衝 突	路 外 逸 脱	そ の 他	計	計
件 数	3	12	9	24	1	25	51	8	18	3	106	4		1	5	135
構成率(%)	2.2	8.9	6.7	17.8	0.7	18.5	37.8	5.9	13.3	2.2	78.5	3.0	0.0	0.7	3.7	100



(5) 違反別

安全不確認の事故が54件で40パーセントを占め、次に前方不注意の順となっている。

悪質違反は11.1パーセントを占めている。

(単位：件・%)

違反 区分	悪 質 違 反						計	横 断 禁 止 等	進 路 変 更 時	優 先 通 行 妨 害 等	交 差 点 安 全 進 行	徐 行 違 反	安 全 運 転 義 務 違 反					計	そ の 他	合 計
	信 号 無 視	最 高 速 度	通 区 ・ 追 越	歩 行 者 妨 害 等	一 時 不 停 止	酒 酔 い 運 転							ハ ン ド ル ・ ブ レ ー キ	前 方 不 注 意	動 静 不 注 視	安 全 不 確 認	そ の 他			
件 数	2	1		5	7		15			3	11	3	8	25	12	54	3	102	1	135
構成率(%)	1.5	0.7	0.0	3.7	5.2	0.0	11.1	0.0	0.0	2.2	8.1	2.2	5.9	18.5	8.9	40.0	2.2	75.6	0.7	100

14 バスの事故

(1) 概 況

バスが第1当事者となった事故は、

発生件数 20件（前年比 -4件 16.7%減）

死者数 0人（前年比 ±0人 ——）

傷者数 44人（前年比 -13人 22.8%減）

で、発生件数、傷者数とも減少し、死者はなかった。

バスの関与した事故は、

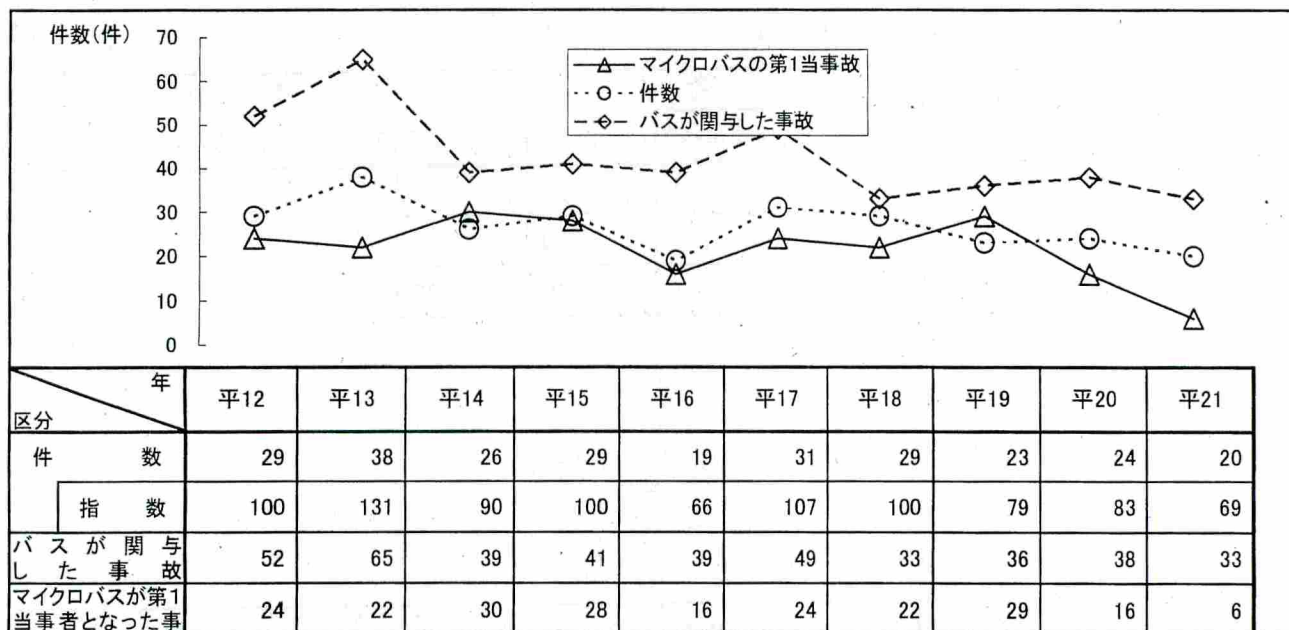
発生件数 33件（前年比 -5件 13.2%減）

死者数 0人（前年比 0人 ——）

傷者数 64人（前年比 -39人 37.9%減）

で、発生件数、傷者数とも減少し、死者はなかった。

（単位：件）



〈参考〉

マイクロバス〈乗車定員が11～29人〉の事故

発生件数 6件（前年比 -10件 62.5%減）

死者数 0人（前年比 0人 ——）

傷者数 9人（前年比 -8人 47.1%減）

関連した事故

発生件数 10件（前年比 -13件 56.5%減）

死者数 0人（前年比 0人 ——）

傷者数 32人（前年比 4人 14.3%増）

(2) 月別

バスの運転者が第1当事者となった事故は12月に多く発生し、関係事故にあっても12月に多く発生している。

(単位: 件・人)

区 分 \ 月		1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	合計
第1当事者	件 数		2	2	3			2	1	1	1	2	6	20
	死 者 数													0
	傷 者 数		12	3	3			3	1	8	1	5	8	44
関係事故	件 数		5	4	3			3	1	2	2	6	7	33
	死 者 数													0
	傷 者 数		15	6	3			4	1	15	2	9	9	64

(3) 用途別

バス運転者が第1当事者となった事故は路線バスが最も多く65.0パーセントを占めている。

関係事故についても路線バスが63.6パーセントを占めている。

(単位: 件・人)

区分 \ 用途	第 1 当 事 者				関 係 事 故			
	路線バス	貸切バス	自家用バス	計	路線バス	貸切バス	自家用バス	計
件 数	13	6	1	20	21	10	2	33
死 者				0				0
傷 者	17	26	1	44	32	30	2	64

(4) 年齢別

40歳代の割合が高く、第1当事者となった事故は45.0パーセント、関係事故も同様に30.3パーセントを占めている。

(単位: 件)

区 分 \ 年 齢	24歳以下	25～29歳	30歳代	40歳代	50歳代	60～64歳	高齢者 (65歳以上)	合計
第 1 当 事 者		1	2	9	6	1	1	20
関 係 事 故	5	6	2	10	6	1	3	33

(5) 道路別

主要地方道の割合が高く、第1当事者となった事故は25.0パーセント、関係事故についても27.3パーセントを占めている。

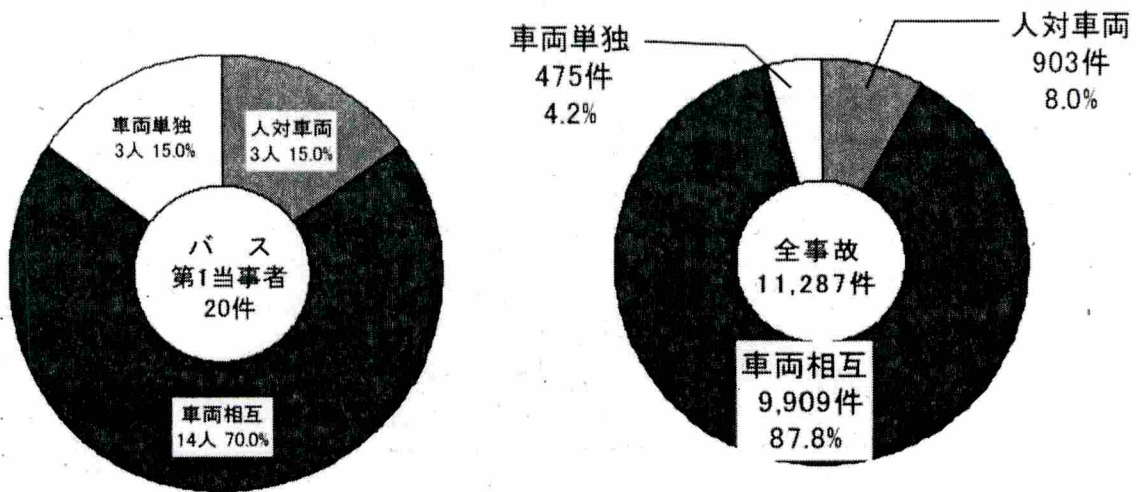
(単位: 件)

区分 \ 道路	国 道						県 道			市町村道	高速道	その他	合計
	4号	6号	13号	49号	三 桁	計	主 要 地 方 道	一 般 道	計				
第 1 当 事 者	3	1	3		2	9	5	1	6	4	1		20
関 係 事 故	5	1	3	1	3	13	9	2	11	8	1		33

(6) 事故類型別

人対車両と車両単独事故の割合が高く、全事故と比較すると人対車両で約2倍、車両単独で3倍強と高くなっている。(単位：件・%)

区分 \ 類型	人 対 車 両				車 両 相 互							車 両 単 独				合 計
	通 行 中	横 断 中	そ の 他	計	正 面 衝 突	追 突	出 会 い 頭	後 退 ・ 転 回	右 ・ 左 折 時	そ の 他	計	工 作 物 衝 突	路 外 逸 脱	そ の 他	計	
件 数		2	1	3		8	3		1	2	14	1		2	3	20
構成率(%)	0.0	10.0	5.0	15.0	0.0	40.0	15.0	0.0	5.0	10.0	70.0	5.0	0.0	10.0	15.0	100



(7) 違反別

安全運転義務違反が17件で85.0パーセントを占めている。特に、前方不注意が7件で最も多くなっている。

(単位：件・%)

違反	区分	件 数		違反	区分	件 数	
		件	構成率(%)			件	構成率(%)
悪 質 違 反	信 号 無 視		0.0	交 差 点 安 全 進 行			0.0
	最 高 速 度		0.0		過 労 運 転	1	5.0
	通 区 ・ 追 越		0.0		安 ハンドル・ブレーキ	2	10.0
	歩 行 者 妨 害 等		0.0		前 方 不 注 意	7	35.0
	一 時 不 停 止		0.0		動 静 不 注 視	3	15.0
	酒 酔 い 運 転		0.0		安 全 不 確 認	3	15.0
横 断 禁 止 等	計	0	0.0	安 全 運 転 義 務 違 反	安 全 速 度	1	5.0
					そ の 他	1	5.0
	車 間 距 離 不 保 持		0.0		計	17	85.0
	進 路 変 更 禁 止		0.0		そ の 他	1	5.0
	右 ・ 左 折		0.0		歩 行 者 の 違 反		0.0
	優 先 通 行 妨 害 等	1	5.0		合 計	20	100

1.5 ダンプカーの事故

(1) 概 況

ダンプカーが第1当事者になった事故は、

発生件数 52件（前年比 -9件 14.8%減）

死者数 2人（前年比 0人 ——）

傷者数 57人（前年比 -28人 32.9%減）

で、発生件数、傷者数とも減少したが死者数は前年同数だった。

ダンプカーが第2当事者になった事故は、

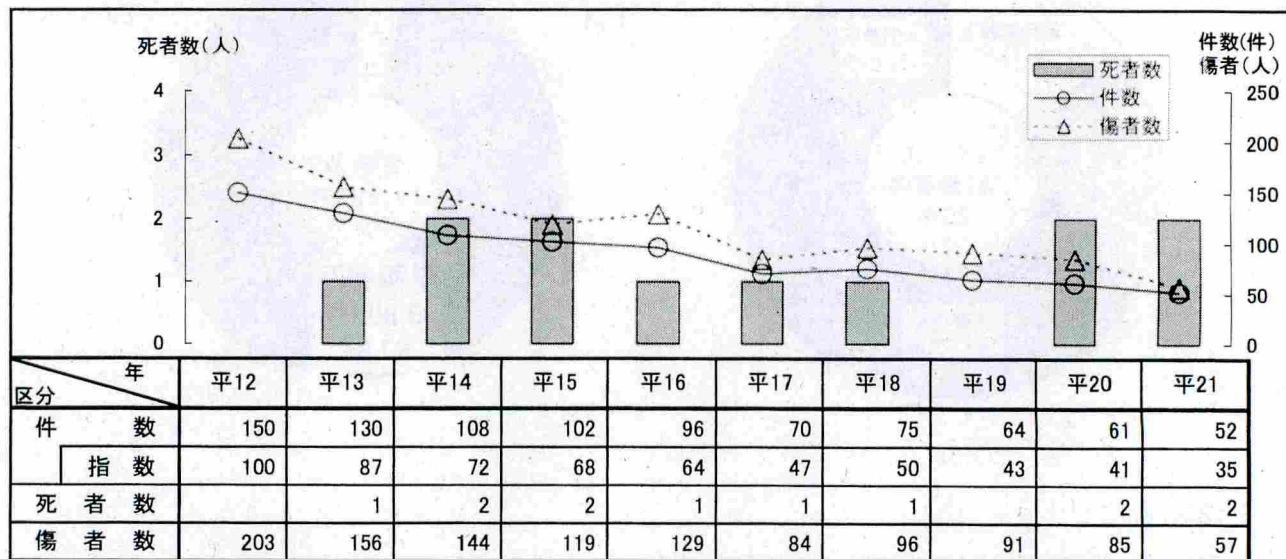
発生件数 32件（前年比 3件 10.3%増）

死者数 1人（前年比 1人 100%増）

傷者数 49人（前年比 6人 14.0%増）

で、発生件数、死者数、傷者数とも増加した。

（単位：件・人）



(2) 月別

3月が11件で最も多く、次いで1月の9件、10月の6件の順となっている。

（単位：件・人）

区分	年	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	合計
件数		9	3	11	5	1	2	3	5	1	6	3	3	52
死者数											1	1		2
傷者数		11	4	13	5	1	2	3	5	2	6	2	3	57

(3) 年齢別・免許年数経過別

年齢別では、50歳代が12件で最も多く、次いで60～64歳の11件、40歳代9件と続いている。

また、免許経過年数では、10年以上が41件でダンプ事故の78.8パーセントを占めている。

(単位：件)

年 齢 区 分	24歳以下	25～29歳	30歳代	40歳代	50歳代	60～64歳	高 齢 者 (65歳以上)	合 計
1 年 未 満	2		1					3
1 ～ 2 年								0
2 ～ 3 年	3							3
3 ～ 4 年								0
4 ～ 5 年			1					1
10 年 未 満		1	1		1			3
10 年 以 上			4	9	11	11	6	41
無 免 許	1							1
合 計	6	1	7	9	12	11	6	52

(4) 違反別

前方不注意が12件でダンプ事故の23.1パーセントを占め最も多く、次いで安全不確認の11件となっている。

悪質違反は11件で、信号無視、歩行者妨害等がそれぞれ4件となっている。

(単位：件・%)

違反		件 数		違反		件 数	
区 分		構成率(%)		区 分		構成率(%)	
悪 質 違 反	信 号 無 視	4	7.7	交 差 点 安 全 進 行	徐 行 違 反	1	1.9
	最 高 速 度		0.0		安 全 ハンドル・ブレーキ	4	7.7
	通 区 ・ 追 越		0.0		前 方 不 注 意	12	23.1
	歩 行 者 妨 害 等	4	7.7		動 静 不 注 視	8	15.4
	一 時 不 停 止	3	5.8		安 全 不 確 認	11	21.2
	酒 酔 い 運 転		0.0		安 全 速 度	2	3.8
計		11	21.2	そ の 他	違 反 計	38	73.1
横 断 禁 止 等			0.0		そ の 他		0.0
車 間 距 離 不 保 持			0.0		歩 行 者 の 違 反		0.0
進 路 変 更 禁 止			0.0		合 計	52	100.0
右 ・ 左 折		2	3.8				
優 先 通 行 妨 害 等			0.0				

(5) 用途別

自家用ダンプの事故が多く、第1当事者では76.9パーセント、第2当事者では93.8パーセントを占めている。

(単位：件・人)

用途	区 分	件 数	死 者	傷 者
第 一 当 事 者	事 業 用	12		14
	自 家 用	40	2	43
	合 計	52	2	57

(単位：件・人)

用途	区 分	件 数	死 者	傷 者
第 二 当 事 者	事 業 用	2		6
	自 家 用	30	1	43
	合 計	32	1	49

16 安全運転管理者選任事業所の事故

(1) 概 況

県内で発生した安全運転管理者選任事業所（以下安管という。）従業員の事故は、

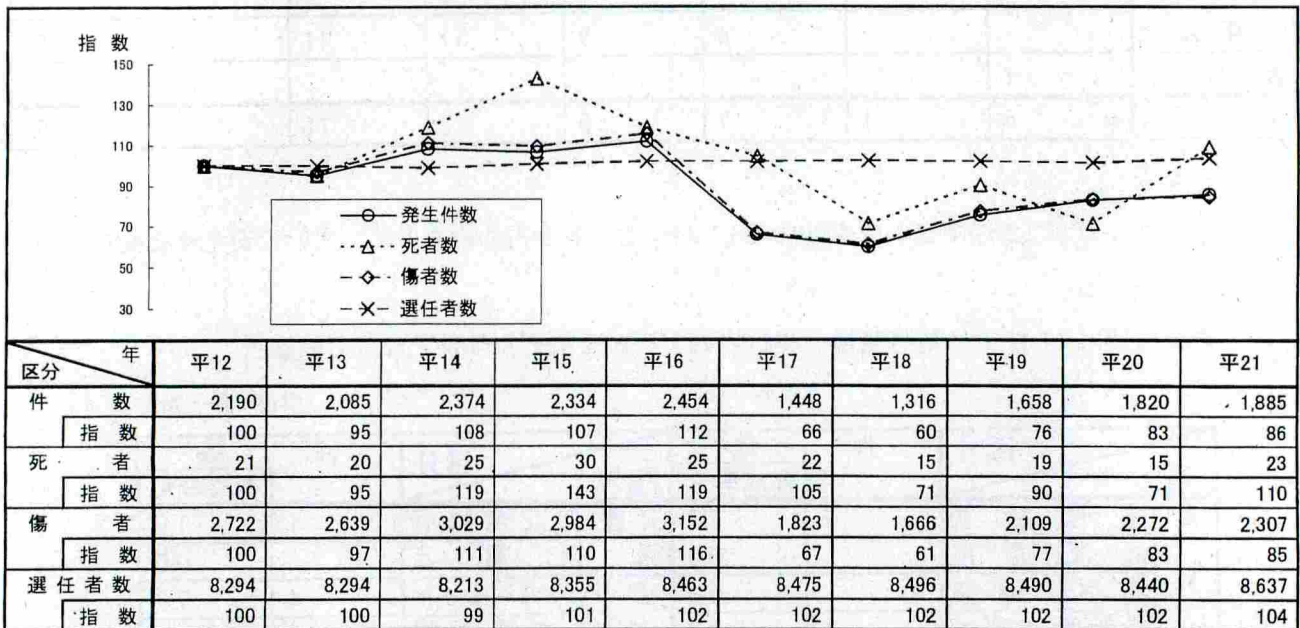
発生件数 1,885 件（前年比 65 件 3.6%増）

死者数 23 人（前年比 8 人 53.3%増）

傷者数 2,307 人（前年比 35 人 1.5%増）

で、発生件数、死者数、傷者数とも増加した。

（単位：件・人）



(2) 県内に所在する安管の事故

業務外の事故が安管事業所事故の 76.4

パーセントを占めている。

ア 時間別

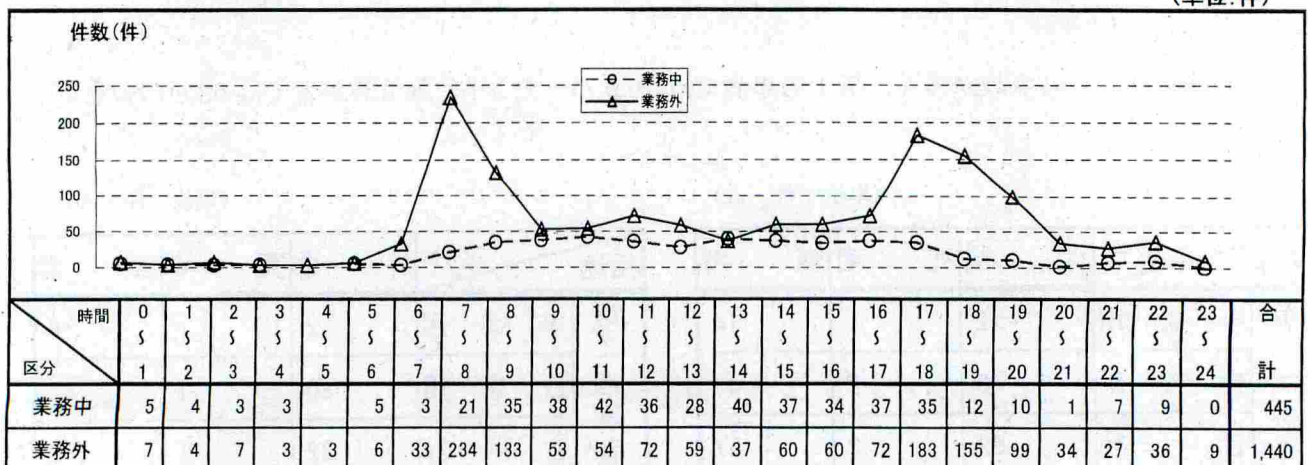
業務中は 10～11 時の間、業務外では朝

夕の通勤時間帯の発生が多い。

（単位：件・人・%）

区 分	件 数		死 者	傷 者
	件 数	割 合 (%)		
業 務 中	445	23.6	2	532
業 務 外	1,440	76.4	21	1,775
通 勤	624	33.1	7	751
私 用 中	816	43.3	14	1,024
調 査 不 能	0	0.0	0	0

（単位：件）



イ 車種別・用途別

(7) 車種別

業務中では、普通乗用車が 171 件 38.4 パーセント、次いで普通貨物車が 140 件で 31.5 パーセントを占めている。

業務外では、普通乗用車 912 件が最も多く 63.3 パーセントを占めている。

(単位：件・%)

区分	車種	普 通 車				貨 物 車				特殊車	二 輪 車					合計
		マイク ロバス	普 通	軽	計	大 型 中 型	普 通	軽	計		小 型 二 輪	軽 二 輪	二 種 原 付	原 付	計	
業 務 中		2	171	33	206	28	140	54	222	4			6	7	13	445
	構成率(%)	0.4	38.4	7.4	46.3	6.3	31.5	12.1	49.9	0.9	0.0	0.0	1.3	1.6	2.9	100
業 務 外		1	912	395	1,308	3	41	76	120		4	2	1	5	12	1,440
	構成率(%)	0.1	63.3	27.4	90.8	0.2	2.8	5.3	8.3	0.0	0.3	0.1	0.1	0.3	0.8	100

(1) 用途別

用途別に業務中の事故をみると、自家用・その他が 415 件で最も多く、業務中事故の 93.3 パーセントを占めている。

代行運転の事故は 17 件で、うち 12 件は随伴車（代行会社の車両）となっている。

(単位：件・%)

区分	車種	事業用	自家用					計	その他	合計
			レンタカー	スクールバス	代行運転		その他			
					代行	随伴				
業務中		8	1		5	12	415	433	4	445
	構成率(%)	1.8	0.2	0.0	1.1	2.7	93.3	97.3	0.9	100
業務外		1	5				1,434	1,439		1,440
	構成率(%)	0.1	0.3	0.0	0.0	0.0	99.6	99.9	0.0	100

ウ 事故類型別

業務中、業務外とも車両相互の割合が高く、なかでも追突が業務中で 46.7 パーセント、業務外で 40.3 パーセントを占めている。

(単位：件・%)

区 分	類 型	人 対 車 両			車 両 相 互						車 両 単 独				列	合
		横断	その他	計	正面衝突	追突	出会い頭	後退・転回	右・左折時	その他	計	工作物衝突	路外逸脱	その他		
業 務 中		22	17	39	14	208	101	3	36	30	392	8	0	6	14	445
	構成率(%)	4.9	3.8	8.8	3.1	46.7	22.7	0.7	8.1	6.7	88.1	1.8	0.0	1.3	3.1	100
業 務 外		75	44	119	55	581	415	7	142	83	1,283	25	4	9	38	1,440
	構成率(%)	5.2	3.1	8.3	3.8	40.3	28.8	0.5	9.9	5.8	89.1	1.7	0.3	0.6	2.6	100

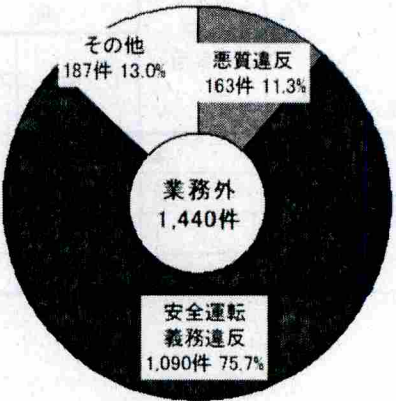
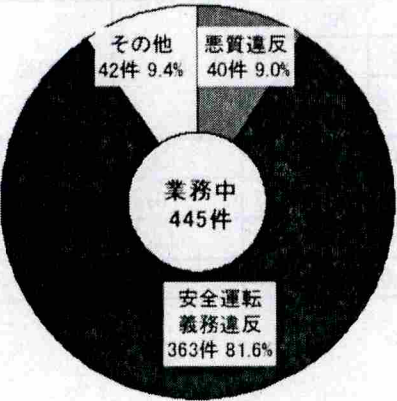
エ 違反別

業務中、業務外とも安全運転義務違反の割合が最も高く、業務中で 81.6 パーセント、業務外で 75.7 パーセントを占めている。

悪質違反の中では横断歩行者妨害、一時不停止の占める割合が高くなっている。

(単位：件・%)

区分 違反		業 務 中		業 務 外		区分 違反		業 務 中		業 務 外	
			構 成 率 (%)		構 成 率 (%)				構 成 率 (%)		構 成 率 (%)
悪 質 違 反	信 号 無 視	7	1.6	41	2.8	徐 行 違 反	4	0.9	25	1.7	
	最 高 速 度	1	0.2	2	0.1	過 労 運 転	1	0.2	4	0.3	
	通 区 ・ 追 越	6	1.3	7	0.5	安全 運 転 義 務 違 反	ハンドル・ブレーキ	37	8.3	88	6.1
	歩 行 者 妨 害 等	14	3.1	51	3.5		前 方 不 注 意	132	29.7	414	28.8
	一 時 不 停 止	12	2.7	60	4.2		動 静 不 注 視	78	17.5	208	14.4
	酒 酔 い 運 転		0.0	2	0.1		安 全 不 確 認	106	23.8	339	23.5
	計	40	9.0	163	11.3		安 全 速 度	6	1.3	26	1.8
	横 断 禁 止 等	1	0.2	3	0.2		予 測 不 適	2	0.4	9	0.6
	車 間 距 離 不 保 持		0.0	2	0.1		そ の 他	2	0.4	6	0.4
	進 路 変 更 禁 止		0.0	1	0.1		計	363	81.6	1,090	75.7
右 ・ 左 折	2	0.4	13	0.9	安 全 不 確 認 ドア 開 放		0.0	1	0.1		
優 先 通 行 妨 害 等	7	1.6	46	3.2	そ の 他	2	0.4	3	0.2		
交 差 点 安 全 進 行	25	5.6	89	6.2	合 計	445	100	1,440	100		



(単位：件・%)

オ 原因別

業務中、業務外とも発見の遅れが 70 パーセント前後の高い割合を占めている。

原因		業務中		業務外	
		構成率 (%)		構成率 (%)	
発見の遅れ		309	69.4	1,058	73.5
判断の誤り等		96	21.6	287	19.9
操作上の誤り		40	9.0	95	6.6
調査不能			0.0		0.0
合計		445	100	1,440	100

17 県外居住者の事故

(1) 概 況

県外居住者が第1当事者となった事故は、

発生件数 703 件（前年比 -30 件 4.1%減）

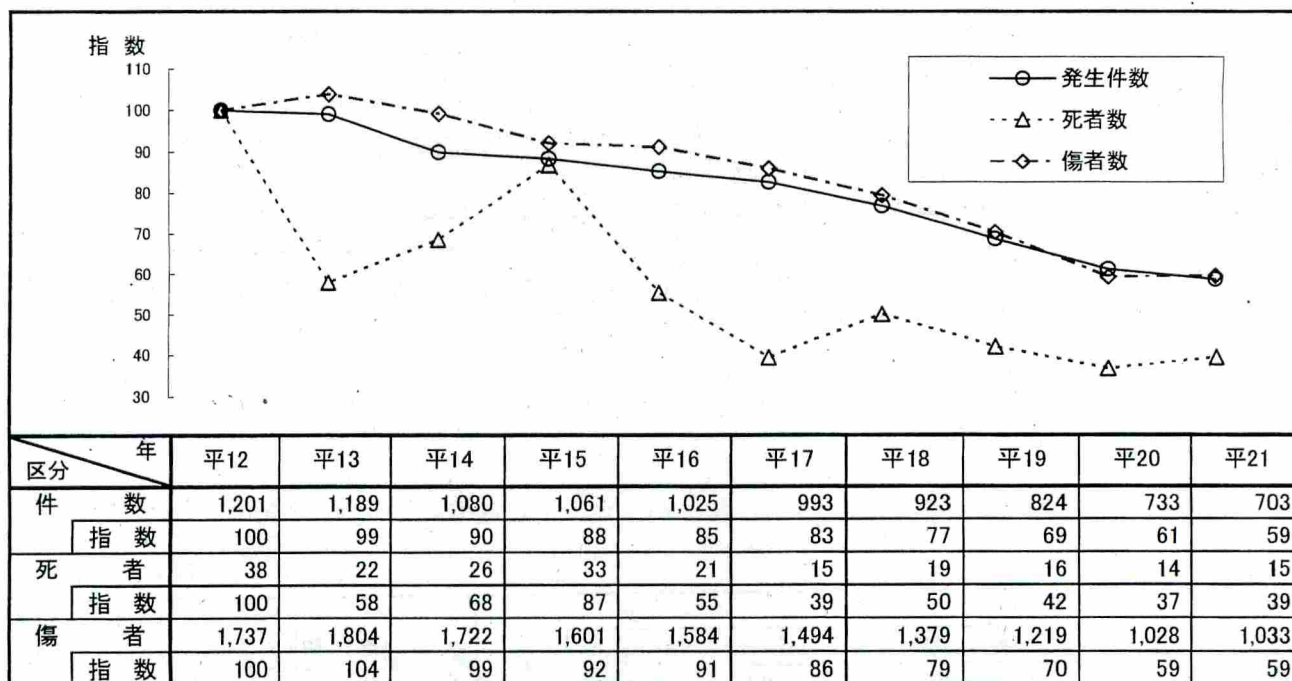
死者数 15 人（前年比 1 人 7.1%増）

傷者数 1,033 人（前年比 5 人 0.5%増）

で、発生件数は減少したが、死者数、傷者数については増加した。

過去10年間の発生件数の推移を見ると、平成12年が1,201件で最も多く平成13年以降年々減少している。

（単位：件・人）



(2) 月別

8月が92件で最も多く、次いで9月の74件となっている。

全事故に占める割合でみると、8月が9.1パーセントで最も高く、最も低い7月と比較すると4.4ポイントの差となっている。

（単位：件・人・%）

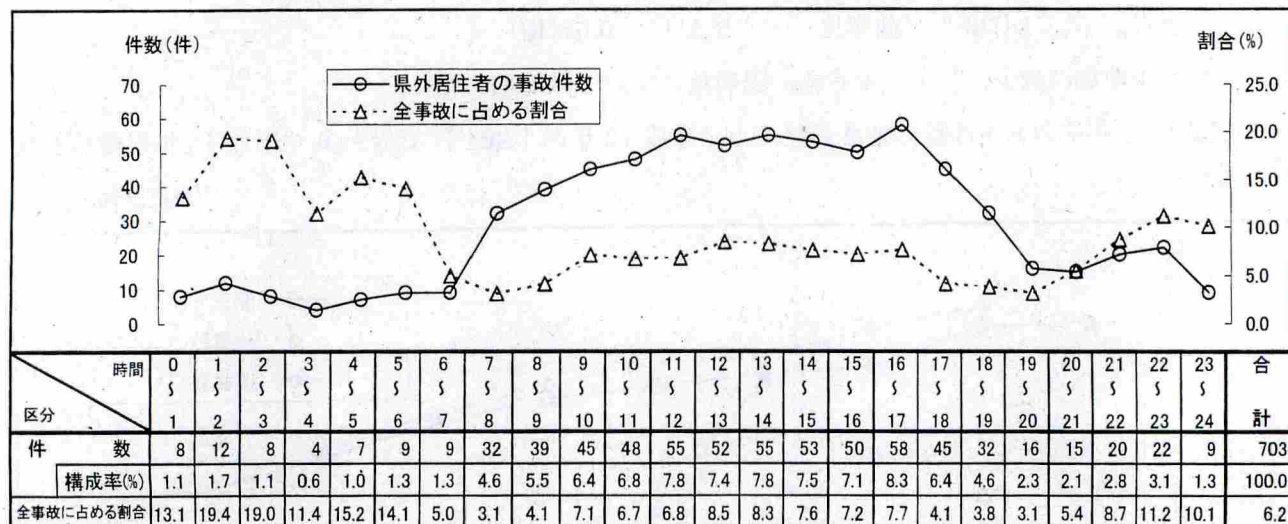
月		1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	合計
区 分														
全 事 故		874	854	941	990	875	842	879	1,015	900	1,043	946	1,128	11,287
県外居住者	件 数	69	41	52	51	63	46	41	92	74	65	51	58	703
	全事故に占める割合	7.9	4.8	5.5	5.2	7.2	5.5	4.7	9.1	8.2	6.2	5.4	5.1	6.2
	死 者			1			5		1	3	4		1	15
	傷 者	114	58	69	66	93	68	64	147	112	92	75	75	1,033

(3) 時間別

発生件数が最も多いのは、16～17時の58件、次いで11～12時、13～14時の55件となっている。

また、全事故に占める割合でみると、1～2時の19.4パーセントが最も高く、次いで2～3時の19.0パーセントとなっている。

(単位：件・％)



(4) 道路別

国道での発生が340件で、全事故の48.4パーセントを占めている。特に国道4号、6号が80件台と多くなっている。

全事故に占める割合では、高速道路が73.2パーセントと最も高く、次いで幹線国道の13号、6号の順となっている。

(単位：件・％)

区分		道路		国 道						計	県 道	市 村 町 道	高 速 道	そ の 他	合 計
				幹 線 国 道					三 桁 国 道						
				4 号	6 号	13 号	49 号	計							
件 数		86	82	31	29	228	112	340	124	134	82	23	703		
	構成率(%)	12.2	11.7	4.4	4.1	32.4	15.9	48.4	17.6	19.1	11.7	3.3	100.0		
全事故に占める割合(%)		9.8	11.5	15.0	6.7	10.2	10.6	10.3	4.8	2.8	73.2	3.8	6.2		

(5) 当事者別

普通乗用車が388件で最も多く、県内居住者事故の55.2パーセントを占めている。

全事故に占める割合でみると、大型貨物車が50.3パーセントと高い割合となっている。

(単位：件・％)

区分	車種	乗用車				貨物車				二輪車			特殊車	自転車	歩行者	合計	
		バス・マイクロ	普通	軽	計	大型	中型	普通	軽	計	自 二 輪	動 原					付
件数		6	388	70	464	78	54	56	23	211	26	2	28				703
	構成率(%)	0.9	55.2	10.0	66.0	11.1	7.7	8.0	3.3	30.0	3.7	0.3	4.0	0.0	0.0	0.0	100.0
全体に占める割合		23.1	6.4	2.5	5.2	50.3	26.7	9.1	2.3	10.7	26.0	1.3	10.9	0.0	0.0	0.0	6.3

(6) 年齢別

25～29歳が100件で最も多く、次いで高齢者が80件、20～24歳、40～44歳が77件と続いている。

全事故に占める割合についても、25～29歳が8.6パーセントと最も高くなっている。(単位:件・%)

区分	年齢	子ども	高校生	その他 10歳代	20～ 24歳	25～ 29歳	30～ 34歳	35～ 39歳	40～ 44歳	45～ 49歳	50～ 54歳	55～ 59歳	60～ 64歳	高齢者	合計
件数				12	77	100	62	72	77	60	52	59	52	80	703
構成率(%)		0.0	0.0	1.7	11.0	14.2	8.8	10.2	11.0	8.5	7.4	8.4	7.4	11.4	100.0
全体に占める割合		0.0	0.0	2.4	5.4	8.6	6.5	7.7	8.4	6.9	5.7	5.8	6.4	4.7	6.3

(7) 通行目的別

私用中が436件で県外居住者事故の62.0パーセントを占めている。

特に観光が145件と最も多い。

業務中の事故は250件発生し、35.6パーセントを占め、死者数は8人となっている。

		(単位:件・人・%)			
区分	件数	構成率(%)	死者	傷者	
業務	250	35.6	8	352	
通勤	16	2.3	1	17	
通学	1	0.1		2	
私用	436	62.0	6	662	
観光	145	20.6	3	243	
ドライブ	57	8.1	2	74	
散歩		0.0			
飲食	6	0.9		6	
買物	51	7.3	1	75	
訪問	41	5.8		64	
帰省	59	8.4		91	
その他	77	11.0		109	
不明		0.0			
合計	703	100.0	15	1,033	

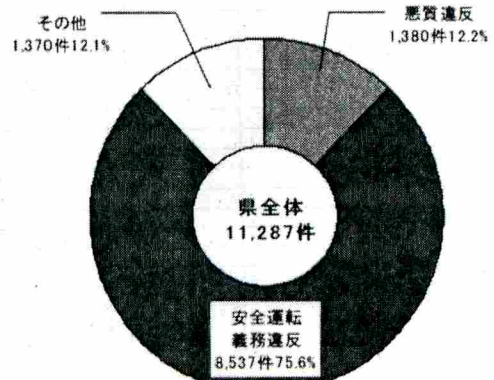
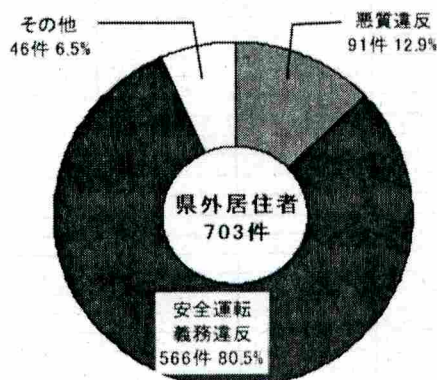
(8) 違反別

安全運転義務違反の占める割合が80.5パーセントと高く、なかでも前方不注意が269件と最も多い。

また、悪質違反のなかでは信号無視が49件と最も多く、次いで一時不停止22件、通区・追越10件となっている。

全事故と比較すると、安全運転義務違反の割合5.0ポイント高くなっている。

		(単位:件・%)				(単位:件・%)	
違反	件数	構成率(%)	違反	件数	構成率(%)	違反	件数
悪質違反	49	7.0	交差点安全進行	11	1.6	悪質違反	91
信号無視	4	0.6	徐行	8	1.1	信号無視	46
最高速度	10	1.4	ハンドル・ブレーキ	65	9.2	最高速度	4
通区・追越	6	0.9	前方不注意	269	38.3	通区・追越	10
歩行者妨害等	22	3.1	動静不注意	113	16.1	歩行者妨害等	6
一時不停止		0.0	安全不確認	87	12.4	一時不停止	22
酒酔い運転	91	12.9	安全速度	24	3.4	酒酔い運転	
過労運転	3	0.4	その他の違反	8	1.1	過労運転	3
車間距離不保持	4	0.6	歩行者の違反	5	0.7	車間距離不保持	4
進路変更禁止	2	0.3	歩行者の違反	5	0.7	進路変更禁止	2
右折	2	0.3	歩行者の違反	5	0.7	右折	2
優先通行妨害等	11	1.6	歩行者の違反	5	0.7	優先通行妨害等	11
合計	703	100.0	歩行者の違反	5	0.7	合計	703



(9) 市町村別

(単位: 件・%)

順位	市町村	県外者数	全件数	割合	順位	市町村	県外者数	全件数	割合
1	いわき市	109	2574	4.2	31	会津坂下町	4	62	6.5
2	福島市	88	1858	4.7	32	大玉村	3	42	7.1
3	郡山市	75	2270	3.3	33	天栄村	3	18	16.7
4	会津若松市	32	740	4.3	34	西会津町	3	8	37.5
5	南相馬市	30	344	8.7	35	矢祭町	3	18	16.7
6	西郷村	23	71	32.4	36	田村市	2	130	1.5
7	白河市	22	320	6.9	37	川俣町	2	49	4.1
8	猪苗代町	22	112	19.6	38	檜枝岐村	2	3	66.7
9	伊達市	15	229	6.6	39	泉崎村	2	30	6.7
10	喜多方市	14	183	7.7	40	矢吹町	2	78	2.6
11	南会津町	14	41	34.1	41	三春町	2	60	3.3
12	相馬市	13	191	6.8	42	湯川村	1	13	7.7
13	二本松市	13	196	6.6	43	石川町	1	63	1.6
14	須賀川市	12	434	2.8	44	玉川村	1	35	2.9
15	北塩原村	10	24	41.7	45	平田村	1	19	5.3
16	棚倉町	10	66	15.2	46	小野町	1	32	3.1
17	本宮市	9	168	5.4	47	広野町	1	15	6.7
18	桑折町	8	46	17.4	48	柳津町		9	0.0
19	下郷町	8	30	26.7	49	三島町		3	0.0
20	新地町	8	33	24.2	50	金山町		2	0.0
21	国見町	6	29	20.7	51	昭和村		1	0.0
22	塙町	6	33	18.2	52	会津美里町		55	0.0
23	大熊町	6	64	9.4	53	中島村		9	0.0
24	浪江町	6	58	10.3	54	鮫川村		4	0.0
25	磐梯町	5	21	23.8	55	浅川町		16	0.0
26	檜葉町	5	45	11.1	56	古殿町		13	0.0
27	富岡町	5	89	5.6	57	川内村		4	0.0
28	双葉町	5	28	17.9	58	葛尾村		1	0.0
29	鏡石町	4	68	5.9	59	飯館村		11	0.0
30	只見町	4	8	50.0					

(注) 高速道路での事故111件を除く。

(注) 柳津町、三島町、金山町、昭和村、会津美里町、中島村、鮫川村、浅川町、古殿町、川内村、葛尾村、飯館村については県外運転者による事故はなかった。

(10) 居住県別

(単位: 件・人・%)

都道府県別	区分	本年				前年			
		件数	構成率(%)	死者	傷者	件数	構成率(%)	死者	傷者
北海道	道	1	0.1		2	7	1.0		11
青森県	森	14	2.0		19	15	2.0	1	22
岩手県	手	9	1.3		15	16	2.2	1	18
宮城県	城	186	26.5	1	264	188	25.6	3	247
秋田県	田	9	1.3	2	8	16	2.2		19
山形県	形	39	5.5		49	36	4.9		43
東京都	京	69	9.8		107	66	9.0		99
茨城県	城	113	16.1	4	185	133	18.1	3	207
栃木県	木	65	9.2	2	90	58	7.9	3	89
群馬県	馬	13	1.8		23	12	1.6		14
埼玉県	玉	52	7.4	2	83	51	7.0	2	71
千葉県	葉	39	5.5	1	53	40	5.5	1	61
神奈川県	川	35	5.0	2	54	32	4.4		46
新潟県	潟	26	3.7	1	34	31	4.2		43
山梨県	梨	2	0.3		2	1	0.1		1
長野県	野	2	0.3		2	3	0.4		3
静岡県	岡	1	0.1		4	2	0.3		2
富山県	山	2	0.3		3	3	0.4		3
石川県	川	3	0.4		5	2	0.3		2
福井県	井	1	0.1		1	1	0.1		1
岐阜県	阜	1	0.1		2	1	0.1		1
愛知県	知	8	1.1		11	6	0.8		10
滋賀県	賀		0.0				0.0		
三重県	重	1	0.1		2		0.0		
京都府	都	1	0.1		2	4	0.5		4
大阪府	阪	1	0.1		1	1	0.1		2
兵庫県	庫		0.0			4	0.5		4
奈良県	良	1	0.1		1		0.0		
和歌山県	歌		0.0			1	0.1		2
鳥取県	取		0.0			1	0.1		1
島根県	根		0.0				0.0		
岡山県	山	1	0.1		2		0.0		
広島県	島		0.0			2	0.3		2
山口県	口		0.0				0.0		
香川県	川		0.0				0.0		
愛媛県	媛	1	0.1		1		0.0		
徳島県	島		0.0				0.0		
高知県	知		0.0				0.0		
福岡県	岡	2	0.3		2		0.0		
佐賀県	賀		0.0				0.0		
長崎県	崎	1	0.1		2		0.0		
熊本県	本	1	0.1		1		0.0		
大分県	分	1	0.1		1		0.0		
宮崎県	崎	1	0.1		1		0.0		
鹿児島県	鹿		0.0				0.0		
沖縄県	縄	1	0.1		1		0.0		
合 計		703	100	15	1,033	733	100	14	1,028

18 道路環境等

(1) 道路形状別

交差点での事故(付近も含む)は、6,187 件で全事故の 54.8 パーセントを占めている。

交差点事故を交差点形状で見ると、第 1 進入路「中」が 2,254 件で最も多く、交差点事故の 52.0 パーセントを占め、次いで第 1 進路「小」が 1,472 件となっている。

(単位：件・人・%)

区分 道路形状		件 数		死者	傷者
			構成率(%)		
交 差 点	大	606	5.4	5	758
	中	2,254	20.0	16	2,755
	小	1,472	13.0	13	1,794
	付近	1,855	16.4	6	2,357
	計	6,187	54.8	40	7,664
単 路	トンネル	47	0.4	1	68
	橋	136	1.2		215
	カーブ・屈折	516	4.6	19	697
	直 線	3,866	34.3	40	4,987
	計	4,565	40.4	60	5,967
踏 み 切 り		1	0.0		1
一般交通の場所		534	4.7	1	610
合 計		11,287	100	101	14,242

(単位：件・人・%)

区分 交差点第1進入路		件 数		死者	傷者
			構成率(%)		
大 (13m以上)	交差路 小	67	1.5	1	77
	交差路 中	344	7.9	2	435
	交差路 大	195	4.5	2	246
	計	606	14.0	5	758
中 (5.5m以上 13m未満)	交差路 小	321	7.4	6	386
	交差路 中	1,615	37.3	8	1972
	交差路 大	318	7.3	2	397
	計	2,254	52.0	16	2755
小 (5.5m未満)	交差路 小	510	11.8	3	643
	交差路 中	808	18.7	7	969
	交差路 大	154	3.6	3	182
	計	1,472	34	13	1,794
合 計		4,332	100	34	5,307

(単位：件・人・%)

(2) 道路線形別

直線での事故は 10,093 件で全体の 89.4 パーセントを占めている。

一方、カーブ・屈曲での事故は 660 件で全事故の 5.8 パーセントとなっている。

勾配でみると、上り坂は 424 件（全事故の 3.8%）、下り坂は 649 件（全事故の 5.7%）、平坦は 9,680 件（全事故の 85.8%）となっている。

区分 道路形状		件数		死者	傷者	
			構成率(%)			
カーブ・屈折	右	上り	62	0.5	2	77
		下り	77	0.7	2	96
		平坦	150	1.3	7	202
	左	上り	59	0.5	2	72
		下り	112	1.0	2	156
		平坦	200	1.8	5	282
	計		660	5.8	20	885
直線	上り	303	2.7	1	389	
	下り	460	4.1	7	612	
	平坦	9,330	82.7	72	11,746	
	計		10,093	89.4	80	12,747
一般交通の場所		534	4.7	1	610	
合計		11,287	100.0	101	14,242	

(3) 地形別

市街地で全事故の 61.0 パーセントを占めている。
また、人口集中地区での事故が多い。

(単位:件・人・%)

地形	区分	件数	構成率(%)	死者	傷者
市街地	人口集中地区	3,527	31.2	17	4,251
	その他	3,359	29.8	13	4,153
	計	6,886	61.0	30	8,404
非市街地		4,401	39.0	71	5,838
合計		11,287	100	101	14,242

(注) 市街地:道路に沿っておおむね500メートル以上にわたって、住宅事業所又は工場等の建造物が連立し、又はこれらが混在して連立している状態であって、その地域における建造物及び敷地の占める割合が80パーセント以上になる、いわゆる市街地的形態をなしている地域。

(4) 道路幅員別

「5.5m以上 9.0m未満」が 3,242 で最も多く、全事故の 28.7 パーセントを占めている。

(単位:件・人・%)

区分	幅員	3.5m未満	3.5m以上	5.5m以上	9.0m以上	13.0m以上	19.5m以上	交差点			その他	合計
								小	中	大		
件数	件数	98	453	3,242	1,339	1,037	252	1,472	2,254	606	534	11,287
	構成率(%)	0.9	4.0	28.7	11.9	9.2	2.2	13.0	20.0	5.4	4.7	100
死者			3	38	8	10	7	13	16	5	1	101
傷者		116	533	4,179	1,799	1,361	337	1,794	2,755	758	610	14,242

(5) 道路状態別

乾燥した舗装路での発生が 9,223 件で最も多く、全事故の 81.7 パーセントを占めている。

(単位:件・人・%)

路面状態 地形		舗装					計	非舗装	合計	
		乾	燥	湿	潤	凍結				積雪
件数		9,223		1,647		280	103	11,253	34	11,287
	構成率(%)	81.7		14.6		2.5	0.9	99.7	0.3	100.0
死者		85		12		4		101		101
傷者		11,630		2,067		371	139	14,207	35	14,242

(6) 中央分離施設別

中央線がペイントの道路での発生が 6,111 件で最も多く、全事故の 54.1 パーセントを占めている。

(単位:件・人・%)

施設 地形	中央 分離帯	中 央 線				計	中央 分離 なし	その他	合 計
		高輝度 標 示	チャッター バー等	ペイント					
件 数	1,614	141	325	6,111	6,577	2,562	534	11,287	
構成率(%)	14.3	1.2	2.9	54.1	58.3	22.7	4.7	100.0	
死 者	21	2	1	61	64	15	1	101	
傷 者	2,149	185	418	7,793	8,396	3,087	610	14,242	

19 その他

(単位：件・人・%)

(1) 特殊事故

特殊事故は1,409件で、全事故の12.0パーセントを占め、約8.0件に1件の割合で発生している。

なかでも件数が多いのは次のとおりで

・多重事故1,171件

全事故の9.6件に1件

・ひき逃げ94件

全事故の120.1件に1件

・無申告78件

全事故の144.7件に1件

・左折巻き込み35件

全事故の322.5件に1件

・ドア開放16件

全事故の705.4件に1件

の割合で発生している。

特殊事故	区分	件数		死 者	傷 者
			構成率(%)		
共同危険行為			0.0		
暴走行為			0.0		
ひき逃げ	94	0.8	1	114	
無申告	78	0.7		86	
多重衝突	1,171	10.0	22	2,093	
左折巻き込み	35	0.3	1	35	
荷崩れ		0.0			
自然発車	2	0.0		3	
ドア開閉	16	0.1		16	
車両火災	2	0.0		3	
薬物影響	1	0.0		3	
発作・急病	てんかん		0.0		
	心臓マヒ		0.0		
	脳血管	1	0.0		1
	その他	6	0.1		9
身障者	3	0.0		4	
緊急用務自動車		0.0			
合 計	1,409	12.0	24	2,367	

(注) 1 表中の割合は全事故に占める割合

2 他の項目と重複するものがあるため、合計欄は延べ件数となっている。

(2) 天候別

晴天時（雲量が80パーセント未満）の事故が、5,785件で全事故の51.3パーセントを占め最も多く、次いで曇天時（雲量が80パーセント以上）の事故が3,876件となっており、合わせると全事故の85.6パーセントを占めている。

(単位：件・人・%)

区分	天候					
	晴	曇	雨	霧	雪	合 計
件 数	5,785	3,876	1,332	6	288	11,287
構成率(%)	51.3	34.3	11.8	0.1	2.6	100.0
死 者	51	39	8		3	101
傷 者	7,280	4,900	1,693	7	362	14,242

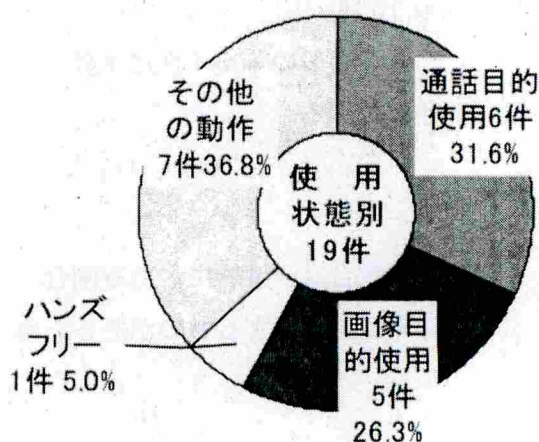
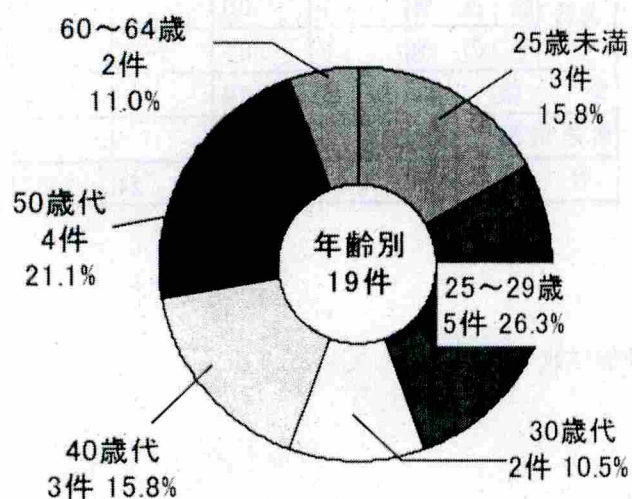
(3) 携帯電話使用中の事故

携帯電話使用中の事故は19件発生し、死者は0人、傷者は29人となっている。

事故類型別にみると、追突が12件で最も多く、63.2パーセントを占め、全事故に占める追突事故の割合の約1.7倍となっている。

(単位：件・%)

態様		携帯電話使用中事故		全 事 故	
区分			構成率(%)		構成率(%)
人 対 車 両		1	5.3	903	8.0
車 両 相 互	追 突	12	63.2	4,284	38.0
	出 会 い 頭	3	15.8	3,151	27.9
	正 面 衝 突		0.0	386	3.4
	そ の 他	3	15.8	2,088	18.5
車 両 単 独		0	0.0	475	4.2
合 計		19	100.0	11,287	100.0



年齢別にみると、25~29歳が5件で26.3パーセントを占め最も多く、50歳代が4件、25未満と40歳代がそれぞれ3件、30歳代と60~64歳がそれぞれ2件となっている。

事故直前の使用状況は、通話目的使用が6件、画像目的使用5件、その他の動作7件となっている。